

NETGEAR®

Nighthawk

ギガビットルーター

R7500

ユーザーマニュアル



2014年11月
202-11493-01

サポート

NETGEAR 製品をお選びいただきありがとうございます。

NETGEAR 製品のインストール、設定、または仕様に関するご質問や問題については、下記の NETGEAR カスタマーサポートまでご連絡ください。無償保証を受けるためには、本製品をご購入後 30 日以内にユーザー登録が必要になります。ユーザー登録方法につきましては、別紙「ユーザー登録のお知らせ」をご確認ください。

電話：フリーコール 0120-921-080（携帯・PHS など、フリーコールが使用できない場合：03-6670-3465）

受付時間：平日 9:00 ～ 20:00、土日祝 10:00 ～ 18:00（年中無休）

E-mail：support@netgear.jp

テクニカルサポートの最新情報は、NETGEAR のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.netgear.jp/support/>

商標

NETGEAR、NETGEAR のロゴは、米国およびその他の国における NETGEAR 社および関連会社の商標または登録商標です。記載されている情報は予告なしに変更される場合があります。

© NETGEAR, Inc. All rights reserved.

適合性

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

各種規格との適合に関する情報は、ネットギアのウェブサイト（<http://www.netgear.com/about/regulatory/>）をご覧ください（英語）。

目次

第 1 章 ハードウェアのセットアップ

同梱物の確認	9
前面	9
背面	11
LED のオン / オフの切り替え	11
アンテナの接続	12
左側面の USB ポート	12
右側面の eSATA ポート	13
eSATA 対応機器の接続	13
ルーターの設置	14
ルーターのケーブル接続	15

第 2 章 ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

ネットワークへの接続	17
有線接続	17
無線 LAN 接続	17
ラベル	18
ログインのタイプ	18
ウェブブラウザからルーター管理画面へのアクセス	18
NETGEAR genie 自動インターネットセットアップ	18
ルーター管理画面 (NETGEAR genie) へのログイン	20
言語の変更	20
デスクトップ NETGEAR genie アプリ	21

第 3 章 インターネットの設定

インターネットセットアップウィザードの使用	23
インターネット接続の手動設定	24
ログインを必要としないインターネット接続の指定	24
ログインを必要とするインターネット接続の指定	25
IPv6 インターネット接続の指定	27
IPv6 アドレスの入力要件	28
自動検出を使用した IPv6 インターネット接続	28
自動設定を使用した IPv6 インターネット接続	30
IPv6 6to4 トンネルインターネット接続の設定	31
IPv6 パススルーインターネット接続の設定	33
IPv6 固定インターネット接続の設定	33
IPv6 DHCP インターネット接続の設定	35
IPv6 PPPoE インターネット接続の設定	36
MTU サイズの変更	38

第 4 章 パフォーマンスの最適化

Dynamic QoS によるインターネットトラフィック管理の最適化	42
Dynamic QoS の有効化	42
自動 QoS データベースアップデートの有効化または無効化	43
Dynamic QoS データベースの手動アップデート	44
Dynamic QoS アナリティクスへの参加	45
Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善	46
Wi-Fi マルチメディアの QoS	47

第 5 章 インターネットアクセスの管理

ペアレンタルコントロールの設定	50
ネットワークへのアクセスの許可または禁止	52
ネットワークのアクセス制御リストの管理	54
キーワードを使用したインターネットサイトのブロック	55
ブロックするキーワードの削除	56
インターネットからのサービスのブロック	56
インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定	58
信頼できる PC でのブロックの回避	59
セキュリティイベントのメール通知の設定	61

第 6 章 ルーターに接続されたストレージドライブの共有

ルーターへの eSATA ドライブの接続	64
USB ドライブの要件	64
ルーターへの USB ドライブの接続	65
ルーターに接続されたストレージドライブへのアクセス	65
Windows ネットワークドライブへの USB ドライブの割り当て	66
ReadySHARE Vault を使用した Windows PC のバックアップ	67
Time Machine を使用した Mac のバックアップ	68
Mac での USB ハードドライブの設定	68
大量のデータのバックアップ準備	68
Time Machine を使用したストレージドライブへのバックアップ	69
ストレージドライブへのアクセスの制御	70
ネットワーク内での FTP の使用	71
ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示	72
ストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加	73
ストレージドライブのネットワークフォルダーの編集	75
USB ドライブの承認	76
USB ドライブの安全な取り外し	77

第 7 章 インターネットからのストレージドライブへのアクセス

インターネットからのストレージドライブへのアクセス	79
インターネットからの FTP アクセスの設定	79
FTP を使用したインターネットからのストレージドライブへのアクセス	80
ダイナミック DNS	80

個人用 FTP サーバー	81
新しいダイナミック DNS アカウントの設定	81
すでに作成した DNS アカウントの指定	82
ダイナミック DNS 設定の変更	83
個人用 FTP サーバーの設定	84

第 8 章 メディアサーバーとしてのルーターの使用

ReadyDLNA メディアサーバーの設定	86
iTunes サーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生	87

第 9 章 USB プリンターの共有

プリンタードライバのインストールとプリンターのケーブル接続	90
ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード	90
ReadySHARE プリントユーティリティのインストール	91
共有プリンターの使用	93
プリンターのステータスの表示または変更	94
多機能 USB プリンターのスキャン機能の使用	95
NETGEAR USB Control Center 設定の変更	96

第 10 章 ネットワークの管理

ルーターファームウェアのアップデート	99
管理者パスワードの変更	100
管理者パスワードの復元	101
ルーターステータスの表示	102
インターネットポート統計の表示	102
インターネット接続ステータスの確認	103
ルーターアクティビティのログの表示と管理	105
トラフィックメーター	106
カスタムの静的ルート	107
静的ルートの設定	108
静的ルートの編集	109
静的ルートの削除	110
ネットワーク上にある機器の表示	110
ルーター設定ファイルの管理	111
設定のバックアップ	111
設定の復元	112
現在の設定の消去	112
リモート管理	113

第 11 章 ネットワーク設定

WAN 設定の表示	116
デフォルト DMZ サーバーの設定	117
ルーター名の変更	118
LAN TCP/IP 設定の変更	118
ルーターが割り当てる IP アドレスの指定	120
ルーターの DHCP サーバー機能の無効化	121

予約 LAN IP アドレスの管理	122
IP アドレスの予約	122
予約 IP アドレスの編集	123
予約 IP アドレスエントリの削除	123
無線 LAN 接続での WPS ウィザードの使用	124
基本ワイヤレス設定	125
ワイヤレス転送速度の変更	126
ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更	127
ビデオネットワークの有効化	128
ゲストネットワークの設定	129
ゲストネットワークでのビデオネットワークの有効化	131
無線 LAN のオン / オフ	132
無線 LAN オン / オフボタンの使用	132
無線 LAN の有効化または無効化	132
無線 LAN スケジュールの設定	133
WPS 設定	134
無線 LAN アクセスポイントとしてのルーターの使用	135
ブリッジモードでのルーターの使用	137

第 12 章 VPN を使用したネットワークへのアクセス

VPN 接続の設定	140
ルーターでの VPN サービスの設定	141
OpenVPN ソフトウェアのインストール	141
VPN トンネルの使用	144
ルーターの USB 対応機器とメディアへの VPN を使用したアクセス	145
VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス	146
VPN クライアントインターネットアクセスの設定	146
ルーターでの VPN クライアントインターネットアクセスの禁止	147
VPN トンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス	148

第 13 章 インターネットポート設定の指定

ローカルサーバーへのポート転送の設定	150
ポート転送の追加	151
ポート転送の編集	152
ポート転送の削除	152
適用例：ローカルウェブサーバーの公開	153
ルーターでのポート転送ルールの実行方法	153
ポートトリガーの設定	154
ポートトリガーの追加	154
ポートトリガーの有効化	155
適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー	156

第 14 章 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント	159
ネットワークを再起動する手順	159
LAN ケーブルの接続の確認	159

ワイヤレス設定	159
ネットワーク設定	159
LEDを使用したトラブルシューティング	160
ルーターの電源を入れたときの LED の動作.....	160
電源 LED が消灯または点滅している.....	160
電源 LED がオレンジのままになっている.....	160
LED が消灯しない	161
インターネットまたは LAN ポートの LED が消灯している	161
無線 LAN LED が消灯している	161
ルーターにログインできない.....	161
インターネットにアクセスできない	162
PPPoE のトラブルシューティング	164
インターネット閲覧のトラブルシューティング.....	164
変更が保存されない	165
無線 LAN 接続.....	165
ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング	166
ルーターへの LAN のパスのテスト.....	166
PC からリモート機器へのパスのテスト	167

付録 A 補足情報

工場出荷時の設定	169
技術仕様.....	171

ハードウェアのセットアップ

1

Nighthawk X4 R7500ギガビットルーターは4本の高性能アンテナとクアッドストリームX4アーキテクチャーを備えており、4つのワイヤレスストリームを結合して5GHzで最大1733Mbpsの無線LAN接続速度を実現します。

- 2.4 GHz 帯で 600 Mbps の無線 LAN 転送速度
- 5 GHz 帯で 1733 Mbps の無線 LAN 転送速度

R7500は、Dynamic QoSによりアプリケーションや機器に基づいてパフォーマンスを最適化し、優先度を割り当てることができるため、ゲームやストリーミングに最適です。

また、USB3.0ポートやeSATAポートに接続したストレージドライブを無線で共有したり、USB3.0ポートにプリンターを接続して無線で印刷することができます。

その他にも、ルーターに接続したストレージドライブにWindows PCの自動バックアップを設定するなど、さまざまな便利な機能が利用できます。

ルーターをまだ設定していない場合には、同梱されたインストールガイドをお読みの上、この章の説明に基づいてセットアップを行ってください。

この章には次の内容が含まれます。

- [同梱物の確認](#)
- [前面](#)
- [背面](#)
- [アンテナの接続](#)
- [左側面のUSBポート](#)
- [右側面のeSATAポート](#)
- [ルーターの設置](#)
- [ルーターのケーブル接続](#)

このマニュアルに掲載されている内容の詳細については、サポートウェブサイト (<http://www.netgear.jp/supportInfo/>) を参照してください。

同梱物の確認

箱を開け、同梱物を取り出します。



図 1. 同梱物の確認

前面

ルーターの前面にはステータス LED とボタンがあります。

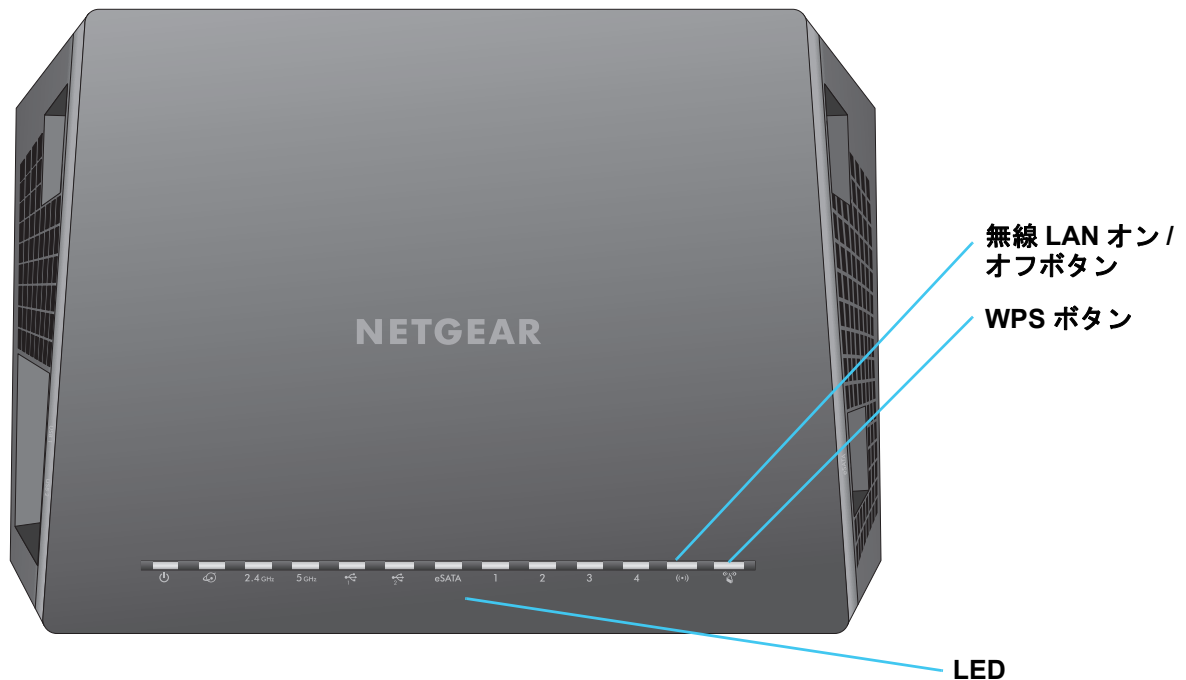


図 2. ルーターの LED とボタン

表 1. LED とボタンの説明

LED	説明
電源 	<ul style="list-style-type: none"> オレンジ点灯：ルーターが起動中です。 オレンジ点滅：ファームウェアのアップグレード中、またはリセットボタンが押されました。 白点灯：ルーターは使用できる状態です。 白点滅：ファームウェアが破損しています。 消灯：ルーターの電源はオフになっています。
インターネット 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：インターネットに接続しています。 オレンジ点灯：ルーターは、モデムへの LAN ケーブル接続を検出しました。 消灯：ルーターとモデムの間に LAN ケーブルが接続されていません。
2.4 GHz 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：2.4 GHz 無線 LAN が動作しています。 点滅：ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯：2.4 GHz 無線 LAN がオフです。
5 GHz 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：5 GHz 無線 LAN が動作しています。 点滅：ルーターは、ワイヤレストラフィックを送信または受信しています。 消灯：5 GHz 無線 LAN がオフです。
USB 3.0ポート 1 と USB 3.0 ポート 2 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：USB 対応機器が接続され、使用できる状態です。 点滅：USB 対応機器が差し込まれ、接続を試みています。 消灯：USB 対応機器が接続されていないか、[ハードウェアの安全な取り外し] ボタンがクリックされて、接続された USB 対応機器を安全に取り外せる状態になっています。
eSATA 	<ul style="list-style-type: none"> 白点灯：eSATA 対応機器が接続され、使用できる状態です。 点滅：eSATA 対応機器が差し込まれ、接続を試みています。 消灯：eSATA 対応機器が接続されていません。
LAN ポート 1~4 	LED の色は速度を示します。ギガビットイーサネット接続は白、10/100 Mbps イーサネット接続の場合はオレンジです。 <ul style="list-style-type: none"> 点灯：電源の入っている機器が LAN ポートに接続されています。 点滅：ポートは、トラフィックを送信または受信しています。 消灯：LAN ポートに機器が接続されていません。
無線 LAN オン / オフボタンと LED 	このボタンを 2 秒間押すと、2.4 GHz および 5 GHz 無線 LAN のオンとオフが切り替わります。この LED が点灯している場合、無線 LAN はオンです。この LED が消灯している場合、無線 LAN はオフであり、無線でルーターに接続できません。
WPS ボタンと LED 	このボタンを使用すると、ネットワークキー（パスワード）を入力しなくても、WPS を使用して無線 LAN 子機をネットワークに接続することができます。WPS 処理中は WPS LED が白で点滅し、その後白で点灯します。

ルーターの背面にある LED オン/オフスイッチを使用して、ルーターの前面にある LED のオン/オフを切り替えることができます。11 ページの [LED のオン/オフの切り替え](#) を参照してください。

背面

背面の接続ポートとボタンを次の図に示します。

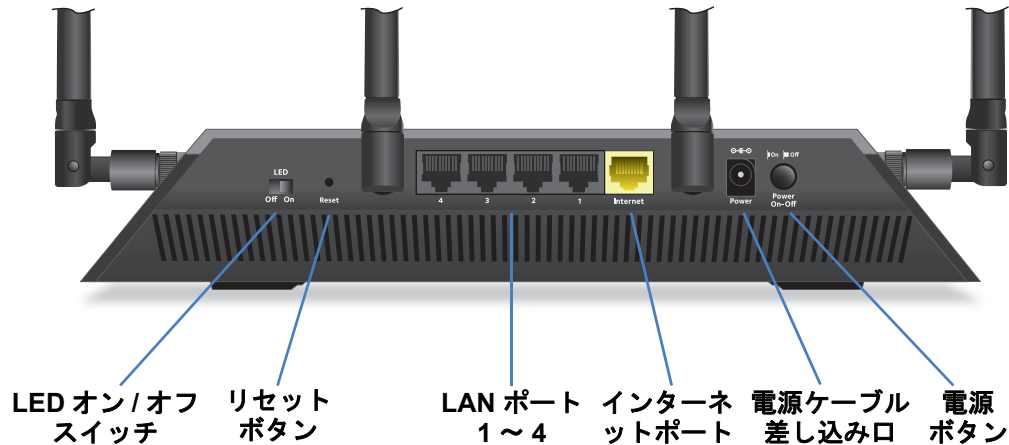


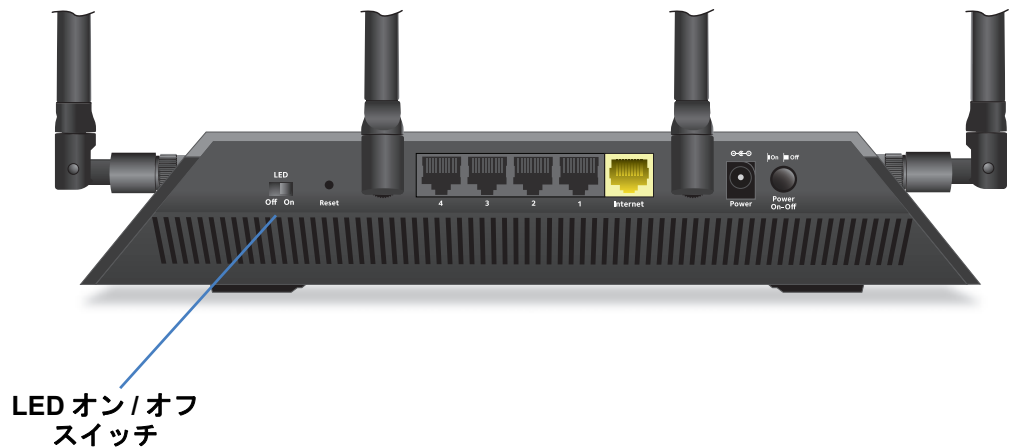
図 3. ルーターの背面

リセットボタンを押すと、工場出荷時の設定に復元されます。169 ページの [工場出荷時の設定](#) を参照してください。

LED のオン / オフの切り替え

- ▶ LED のオン/オフを切り替える :

背面の LED オン/オフスイッチをオンまたはオフの位置にスライドさせます。

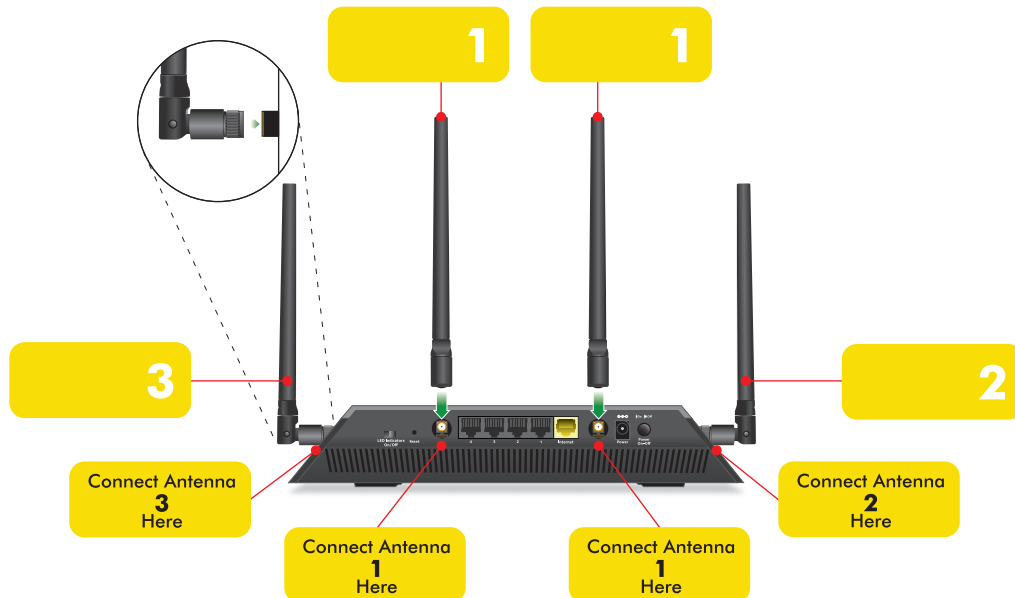


LED オン/オフスイッチがオフの位置にある場合でも、電源 LED は点灯したままになります。

アンテナの接続

▶ アンテナを接続する：

1. アンテナに貼られたシールの番号とルーターに貼られたシールの番号が一致するようにアンテナを接続します。



2. アンテナをルーターのアンテナ差し込み口の位置に合わせます。
3. アンテナをねじ式の差し込み口に接続します。
4. アンテナの角度はワイヤレスの状況を見ながら変更することができます。

図に示すように、すべてのアンテナを垂直にすることを推奨します。

左側面の USB ポート

3.0 USB ポート x2 ポートが左側面にあります。

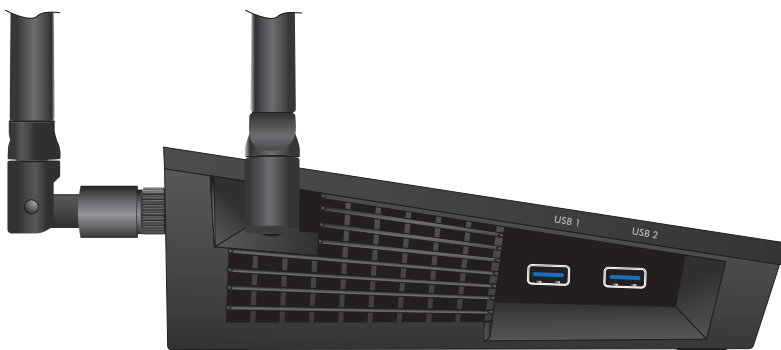


図 4. USB ポート

右側面の eSATA ポート

eSATA ポート x1 ポートが右側面にあります。

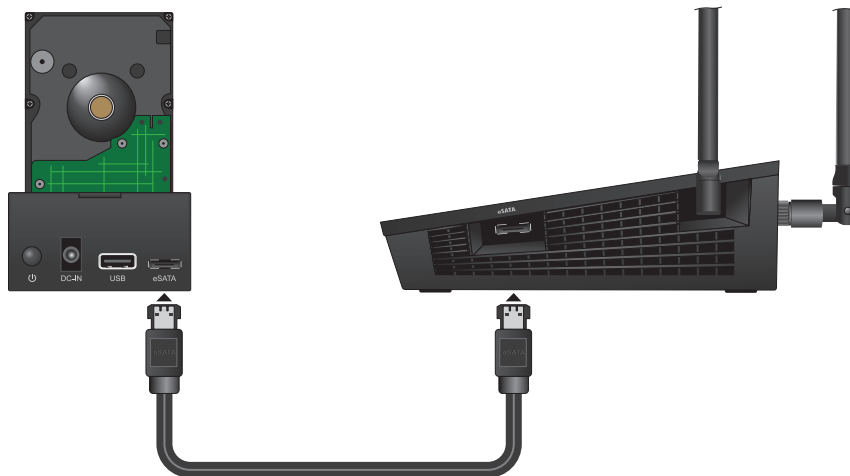


図 5. eSATA ポート

eSATA 対応機器の接続

➤ eSATA 対応機器を接続する：

図に示すように、eSATA ケーブルを使用して、ルーターの側面にある eSATA ポートに対応機器を接続します。



ルーターの設置

ルーターを使用すると、無線の届く範囲であればどこからでもネットワークにアクセスすることができます。ただし、電波の届く範囲や信号強度はルーターの設置場所によって大きく異なります。例えば、厚い壁や複数の壁があると、電波が届きにくくなる場合があります。

また、自宅内や周囲に他の無線 LAN アクセスポイントがあると、ルーターの信号が影響を受ける場合があります。無線 LAN アクセスポイントとは、ルーター、リピーター、ワイヤレスエクステンダー（無線 LAN 中継機）、およびネットワークアクセス用の無線 LAN 信号を放出するその他の機器のことです。

次のガイドラインに従ってルーターを設置します。

- PC やその他の無線 LAN 機器が動作するエリアの中心近くで、無線 LAN 機器から見通しの良い範囲内に、ルーターを設置します。
- 電源コンセントに差し込みやすく、有線で接続する場合はルーターが LAN ケーブルの接続しやすい場所にあることを確認します。
- ルーターを高い場所に設置して、ルーターとその他の機器との間にある壁や天井の数をできるだけ少なくします。
- ルーターを次のような電子機器から離して設置します。
 - 天井のファン
 - ホームセキュリティシステム
 - 電子レンジ
 - PC
 - コードレス電話機の親機
 - 2.4 GHz のコードレス電話機
- ルーターを次のような大きな金属面、大きなガラス面、断熱壁から離して設置します。
 - 金属製のドア
 - アルミニウム製の柱
 - 水槽
 - 鏡
 - レンガ
 - コンクリート

ルーターのケーブル接続

次の図に、ルーターのケーブル接続の方法を示します。

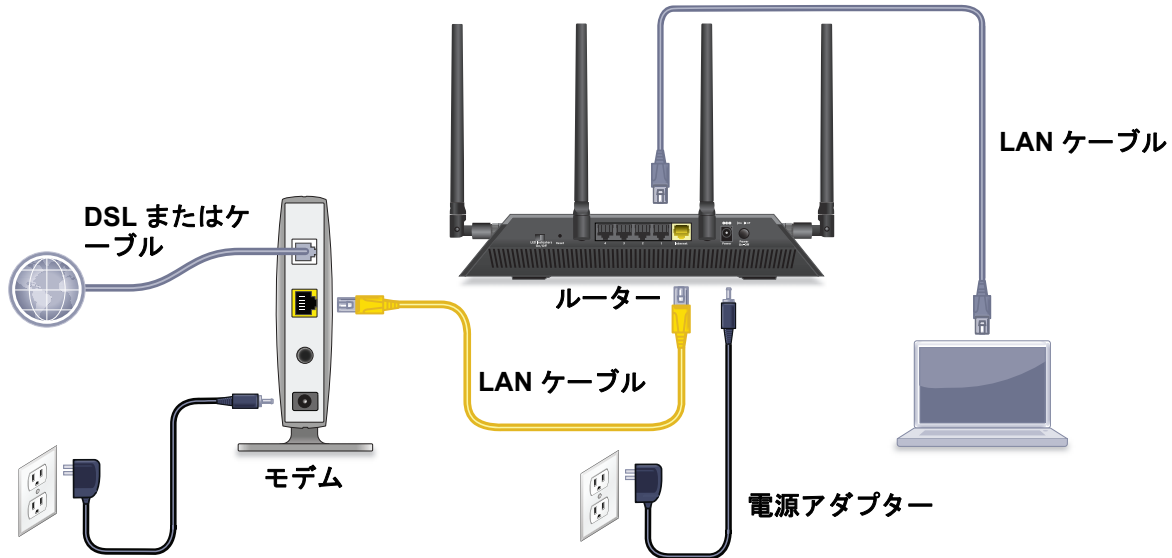


図 6. ルーターのケーブル接続

➤ ルーターのケーブルを接続する：

1. モデムの電源をオフにします。モデムが既に別のルーターに接続されている場合は、モデムとルーターの間に接続されている LAN ケーブルを外します。モデムにはインターネットサービスの壁の差し込み口のみケーブルが接続されているようにします。
2. モデムに電源コードを接続し、電源を入れます。
3. ルーターに同梱の黄色の LAN ケーブルを使用して、モデムとルーターのインターネットポートを接続します。
4. ルーターに電源コードを接続します。
5. 背面の LED オン/オフスイッチをオンの位置にスライドさせます。
6. ルーターの背面にある電源ボタンを押します。

ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

2

子機からルーターへ LAN ケーブルを使って有線で接続するか、無線で接続をすることができます。この章では、接続の方法とルーター管理画面（NETGEAR genie）にアクセスしてログインする方法について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ネットワークへの接続
- ログインのタイプ
- ウェブブラウザからルーター管理画面へのアクセス
- 言語の変更
- デスクトップ NETGEAR genie アプリ

ネットワークへの接続

有線または無線でルーターのネットワークに接続することができます。固定 IP アドレスを使用するように子機を設定している場合は、DHCP を使用するように設定を変更します。

有線接続

子機とルーターを有線で接続し、ルーターのローカルエリアネットワーク（LAN）に接続することができます。

➤ **子機とルーターを有線で接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. LAN ケーブルを子機の LAN ポートに接続します。
3. LAN ケーブルのもう一方の端をルーターの LAN ポートに接続します。

無線 LAN 接続

無線でルーターに接続するには、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を使用するか、または手動でルーターのネットワークを選択して接続します。

➤ **WPS を使用してネットワークに接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. 無線 LAN 子機の WPS 手順を確認します。
3. ルーターの **WPS** ボタンを押します。
4. 2 分以内に、無線 LAN 子機の **WPS** ボタンを押すか、WPS 接続の手順に従います。
無線 LAN 子機が無線 LAN ネットワークに接続されます。

➤ **手動で無線 LAN ネットワークを探して接続する：**

1. ルーターの電源が入っていること（電源 LED が点灯していること）を確認します。
2. 無線 LAN 子機のワイヤレスネットワーク接続から、ルーターの無線 LAN のネットワークを見つけて選択します。
無線 LAN のネットワーク名は、ルーターのラベルに記載されています。
3. ネットワークキー（パスワード）を入力します。
ネットワークキー（パスワード）は、ルーターのラベルに記載されています。
無線 LAN 子機が無線 LAN ネットワークに接続されます。

ラベル

ルーターのラベルには、ログイン情報、無線 LAN のネットワーク名とネットワークキー（パスワード）、MAC アドレス、シリアル番号が記載されています。



図 7. ルーターのラベル

ログインのタイプ

目的に応じて異なるログインの種類があります。それぞれの違いを理解して、いつどのログインを使用するのかを判断することが重要です。

ログインのタイプ：

- **プロバイダーログイン**：プロバイダーから郵送などで送られてくるログイン情報を使用して、インターネットサービスにログインします。ログイン情報が見つからない場合は、プロバイダーに直接問い合わせてください。
- **ネットワークキーまたはパスワード**：ルーターには、無線 LAN アクセスのための固有のネットワーク名（SSID）とパスワードがあらかじめ設定されています。この情報は、ルーターに貼られているラベルに記載されています。
- **ルーターログイン**：これにより、管理者としてウェブブラウザからルーターの管理画面（NETGEAR genie）にログインします。

ウェブブラウザからルーター管理画面へのアクセス

ウェブブラウザから『NETGEAR genie』と呼ばれるルーター管理画面にアクセスし、その設定の確認や変更を行うことができます。ルーターに初めてアクセスするときは、ルーターがインターネットサービスに接続できるかどうかを NETGEAR genie が自動的にチェックします。

NETGEAR genie 自動インターネットセットアップ

ルーターは NETGEAR genie を使用して自動的にセットアップすることも、NETGEAR genie のメニューと画面を使用して手動でセットアップすることもできます。セットアップ手順を開始する前に、プロバイダー情報を入手し、ネットワーク上の無線 LAN 子機がここで説明するとおりの設定であることを確認します。

インターネットサービスを開始するとき、インターネットに接続するために必要なすべての情報は、通常、プロバイダーから提供されます。DSL サービスの場合は、ルーターをセットアップするために次の情報が必要になることがあります。

- DSL アカウントのプロバイダー設定情報
- プロバイダーのログイン名とパスワード
- 固定または静的 IP アドレス設定（プロバイダーによりごく稀に必要になります）

この情報が確認できない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。インターネット接続が有効であれば、インターネットにアクセスするためにプロバイダーのログインプログラムを起動する必要はなくなります。

インストールおよび基本セットアップは完了するまでに 15 分程度かかります。

➤ NETGEAR genie を使用してルーターをセットアップする：

1. 電源ボタンを押して、ルーターの電源を入れます。
2. 無線 LAN 子機が LAN ケーブル（有線）または無線でルーターに接続されていること、また無線接続の場合、ルーターのラベルに記載されているセキュリティ設定が使用されていることを確認します。

注意： ルーターの無線 LAN 設定を変更する場合は、有線接続を使用してください。これは、新しい無線 LAN 設定が有効になるときに無線 LAN 接続が切断されることを避けるためです。

3. ウェブブラウザを起動します。

これまでにルーターにアクセスしたことがあるかどうかによって表示される画面が異なります。

- ルーターのインターネット接続を初めてセットアップするときは、自動的に <http://www.routerlogin.net> に移動して、NETGEAR genie 画面が表示されます。



- ルーターのセットアップが完了している場合は、ブラウザのアドレス欄に「<http://www.routerlogin.net>」と入力して NETGEAR genie 画面を表示します。
4. 画面に表示される指示に従います。
NETGEAR genie に、ルーターをインターネットに接続する方法が順に示されます。

5. ブラウザーに NETGEAR genie が表示されない場合は、次の操作を実行します。
 - 無線 LAN 子機がルーターの LAN ポートに有線で接続しているか、または無線で接続していることを確認します。
 - ルーターの電源が入っていること、および電源 LED が白で点灯していることを確認します。
 - ブラウザーを閉じて開き直すか、またはブラウザのキャッシュをクリアします。
 - ブラウザーのアドレス欄に正しいアドレスが入力されていることを確認します。
 - PC が静的または固定 IP アドレスに設定されている場合（稀です）、IP アドレスをルーターから自動的に取得するように変更します。
6. ルーターがインターネットに接続していない場合は、次の操作を行います。
 - a. 設定を確認します。適切なオプションを選択していて、すべてを正しく入力していることを確認します。
 - b. プロバイダーに問い合わせ、正しい設定情報を使用していることを確認します。
 - c. **第 14 章 トラブルシューティング**を参照します。問題が解決しない場合は、ユーザー登録の上、NETGEAR のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

ルーター管理画面（NETGEAR genie）へのログイン

ルーターを初めてセットアップするときは、ルーターに接続されている無線 LAN 子機でウェブブラウザを起動すると、NETGEAR genie が自動的に開始されます。ルーターの設定を確認または変更する場合は、NETGEAR genie を使用します。

- ルーター管理画面（NETGEAR genie）にログインする：
 1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

言語の変更

NETGEAR genie の言語を変更することができます。

- 言語を変更する：
 1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. 右上隅にあるドロップダウンリストから言語を選択します。
5. メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
選択した言語で画面が更新されます。

デスクトップ NETGEAR genie アプリ

デスクトップ NETGEAR genie アプリは、ルーター管理画面（NETGEAR genie）の簡易版で、ホームネットワークの管理、監視、修復を行う使いやすいダッシュボードです。デスクトップ NETGEAR genie アプリを使うと、次のようなことができます。

- 無線 LAN ネットワークの一般的な問題を自動的に修復する。
- ペアレンタルコントロール、ゲストアクセス、インターネットトラフィックメーター、スピードテストなどのルーター機能に簡単にアクセスする。

▶ デスクトップ NETGEAR genie アプリを使用してルーターにアクセスする：

1. NETGEAR genie のウェブページ <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/> にアクセスします。
2. 画面に表示される指示に従って、スマートフォンやタブレット、PC などにアプリをインストールします。
3. デスクトップ NETGEAR genie アプリを起動します。
デスクトップ NETGEAR genie アプリのダッシュボード画面が表示されます。

インターネットの設定

3

ルーターをインターネットに接続するには、NETGEAR genie のセットアップウィザードを使ってインターネット接続を自動的に検出するのが一番簡単な方法です。また、手動でインターネット設定を行うこともできます。

この章には次の内容が含まれます。

- *インターネットセットアップウィザードの使用*
- *インターネット接続の手動設定*
- *IPv6 インターネット接続の指定*
- *MTU サイズの変更*

インターネットセットアップウィザードの使用

セットアップウィザードを使用してインターネット設定を検出し、ルーターを自動的にセットアップできます。セットアップウィザードはルーターに最初に接続してセットアップするときに表示される NETGEAR genie の画面とは異なります。

▶ セットアップウィザードを使用する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [セットアップウィザード] を選択します。

5. [はい] ラジオボタンを選択します。
[いいえ] を選択した場合は、[インターネット設定] 画面に移動します（24 ページの [インターネット接続の手動設定](#) を参照）。
6. [次へ] ボタンをクリックします。

セットアップウィザードは、サーバーとプロトコルに使用しているインターネット接続を検索し、お使いのインターネット設定を判別します。

ルーターがインターネットに接続されると、無料のデスクトップ NETGEAR genie アプリと無料の ReadySHARE Vault アプリをダウンロードしてインストールするように促すメッセージが表示されます。

インターネット接続の手動設定

ルーターのインターネット接続設定を表示または変更することができます。

ログインを必要としないインターネット接続の指定

▶ インターネット接続設定を指定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [インターネット] を選択します。

さらに設定を表示するにはスクロールします

5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?] の設定では、[いいえ] ラジオボタンを選択したままにします。
6. インターネット接続にアカウント名またはホスト名が必要な場合は、[アカウント名 (必要時のみ)] の欄に入力します。
7. インターネット接続にドメイン名が必要な場合は、[ドメイン名 (必要時のみ)] の欄に入力します。
この画面の別のセクションは、通常はデフォルトの設定を使用できますが、変更することもできます。
8. [インターネット IP アドレス] のラジオボタンを選択します。
 - **プロバイダーから自動取得**：プロバイダーは DHCP を使用して IP アドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。

- **IP アドレスを指定 (固定)** : プロバイダーから割り当てられた IP アドレス、IP サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。
9. [ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] のラジオボタンを選択します。
- **プロバイダーから自動取得** : プロバイダーは DHCP を使用して DNS サーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
 - **DNS サーバーを指定 (固定)** : プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。セカンダリ DNS サーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。
10. [ルーター MAC アドレス] のラジオボタンを選択します。
- **デフォルトのアドレスを使う** : デフォルトの MAC アドレスを使用します。
 - **コンピューターの MAC アドレスを使用** : ルーターは、現在使用中の PC の MAC アドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可された PC を使用する必要があります。
 - **この MAC アドレスを使用** : 使用したい MAC アドレスを入力します。
11. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
12. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。
1 分以内に NETGEAR のウェブサイトが表示されない場合は、[第 14 章 トラブルシューティング](#)を参照してください。

ログインを必要とするインターネット接続の指定

- **インターネット設定を表示または変更する** :
1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [インターネット] を選択します。

さらに設定を
表示するには
スクロールし
ます

5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか？] の設定では、[はい] ラジオボタンを選択します。

画面の表示が変更されます。

6. [インターネットサービスプロバイダー] ドロップダウンリストで、[PPPoE]、または [マルチ PPPoE] を選択します。

7. [ログイン] 欄に、プロバイダーから提供されたログイン名を入力します。

通常、このログイン名はメールアドレスです。

8. [パスワード] 欄に、インターネットサービスへのログインに使用するパスワードを入力します。

9. プロバイダーからサービス名を提供された場合は、[サービス名 (必要時のみ)] 欄に入力します。

10. [接続モード] ドロップダウンリストで、[常時接続]、[要求に応じダイヤル]、または [手動接続] を選択します。

11. インターネットのログインがタイムアウトするまでの時間 (分) を変更するには、[アイドルタイムアウト (分)] 欄に時間 (分) を入力します。

これは、ネットワーク上でだれもインターネット接続を使用していないときにルーターがインターネット接続を維持しておく時間です。0 (ゼロ) の値は、ログアウトしないことを意味します。

12. [インターネット IP アドレス] のラジオボタンを選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：ご利用のプロバイダーが DHCP を使用して IP アドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- **IP アドレスを指定 (固定)**：プロバイダーから割り当てられた IP アドレス、IP サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。

13. [ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] のラジオボタンを選択します。

- **プロバイダーから自動取得**：ご利用のプロバイダーが DHCP を使用して DNS サーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
 - **DNS サーバーを指定（固定）**：プロバイダーが特定のサーバーを必要とすることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。セカンダリ DNS サーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。
14. [ルーターの MAC アドレス] のラジオボタンを選択します。
- **デフォルトのアドレスを使う**：デフォルトの MAC アドレスを使用します。
 - **コンピューターの MAC アドレスを使用**：ルーターは、現在使用中の PC の MAC アドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可された PC を使用する必要があります。
 - **この MAC アドレスを使用**：使用したい MAC アドレスを入力します。
15. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
16. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。
1 分以内に NETGEAR のウェブサイトが表示されない場合は、[第 14 章 トラブルシューティング](#)参照してください。

IPv6 インターネット接続の指定

NETGEAR genie で IPv6 インターネット接続が自動的に検出されない場合は、これを設定することができます。

➤ IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、IPv6 の接続タイプを選択します。
 - プロバイダーから詳細が提供されていない場合は、[6to4 トンネル] を選択します。
 - 不明な場合は、[自動検出] を選択するとルーターが使用中の IPv6 タイプを検出します。

- インターネット接続で PPPoE または DHCP を使用しない、またはインターネット接続が固定されていないが、IPv6 である場合は、**[自動設定]** を選択します。

この情報はご利用のプロバイダーから提供してもらうことができます。IPv6 インターネット接続についての詳細は、次のセクションを参照してください。

- 28 ページの [自動検出を使用した IPv6 インターネット接続](#)
- 30 ページの [自動設定を使用した IPv6 インターネット接続](#)
- 31 ページの [IPv6 6to4 トンネルインターネット接続の設定](#)
- 33 ページの [IPv6 パススルーインターネット接続の設定](#)
- 33 ページの [IPv6 固定インターネット接続の設定](#)
- 35 ページの [IPv6 DHCP インターネット接続の設定](#)
- 36 ページの [IPv6 PPPoE インターネット接続の設定](#)

6. **[適用]** ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

IPv6 アドレスの入力要件

IPv6 アドレスは、4 つの 16 進数を一組とした 8 つのグループをコロンで区切って表されます。IPv6 アドレス内の 4 桁がゼロのグループは、1 つのゼロにまとめたり、すべて省略したりできます。次のエラーがあると IPv6 アドレスは無効になります。

- 4 桁の 16 進数のグループが 9 つ以上ある
- 1 つのグループに 16 進数の英数字が 5 つ以上ある
- 1 行にコロンが 3 つ以上ある

自動検出を使用した IPv6 インターネット接続

➤ 自動検出を使用して IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[IPv6]** を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. **[インターネット接続タイプ]** ドロップダウンリストで、**[自動検出]** を選択します。

画面の表示が変更されます。

以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **接続タイプ**：この欄は、検出された接続タイプを示します。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)**：この欄には、ルーターの WAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン () によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)**：この欄には、ルーターの LAN インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン () によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
6. [IP アドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
- **DHCP サーバーを使う**：この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによっては DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

7. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスを選択し、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。
ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

自動設定を使用した IPv6 インターネット接続

▶ 自動設定を使用して IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[自動設定] を選択します。
画面の表示が変更されます。



以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)：**この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)：**この欄には、ルーターの LAN インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
6. (オプション) [DHCP ユーザークラス (必要時のみ)] 欄に、ホスト名を入力します。

ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。

7. (オプション) [DHCP ドメイン名 (必要時のみ)] 欄に、ドメイン名を入力します。

ご利用の IPv6 プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここには IPv4 プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーが mail.xxx.yyy.zzz である場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、Earthlink Cable ではホームのホスト名が必要であり、Comcast ではドメイン名が提供されることがあります。

8. [IP アドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCP サーバーを使う** : この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定** : これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

9. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスを選択し、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。

ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6 6to4 トンネルインターネット接続の設定

リモートリレールーターとは、ルーターによる 6to4 トンネルの作成先となるルーターです。IPv6 接続に 6to4 トンネル設定を適用する前に、IPv4 インターネット接続が機能していることを確認します。

- **6to4 トンネルを使用して IPv6 インターネット接続を設定する :**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[6to4 トンネル] を選択します。

画面の表示が変更されます。

The screenshot shows the IPv6 configuration page. At the top, there are buttons for 'ステータス更新' (Refresh status), 'キャンセル' (Cancel), and '適用' (Apply). Below that, the 'インターネット接続タイプ' (Internet connection type) is set to '6to4 リレー' (6to4 Relay). The 'リモート 6to4 リレー ルーター' (Remote 6to4 Relay Router) section has '自動' (Automatic) selected, with a '静的 IP アドレス' (Static IP address) field set to 0.0.0.0. The 'LAN 設定' (LAN Settings) section has 'ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)' (Router's IPv6 address (LAN side)) set to '利用不可' (Not available). Under 'IP アドレスの割当て' (IP address assignment), 'DHCPサーバーを使う' (Use DHCP server) is selected, and '自動設定' (Automatic configuration) is also selected. There is an unchecked checkbox for 'このインターフェイス ID を使う' (Use this interface ID) with a field set to 0. The 'IPv6 フィルタ' (IPv6 Filter) section has '安全' (Secure) selected and 'オープン' (Open) unselected.

ルーターは、[ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)] 欄の情報を自動的に検出します。この欄には、ルーターの LAN インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。

6. 次のいずれかのラジオボタンを選択して、リモート 6to4 リレールーターの設定を行います。
 - **自動**: ルーターはインターネット上で利用可能な任意のリモートリレールーターを使用します。これはデフォルトの設定です。
 - **静的 IP アドレス**: リモートリレールーターの静的 IPv4 アドレスを入力します。このアドレスは通常、ご利用の IPv6 プロバイダーから提供されます。
7. [IP アドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。
 - **DHCP サーバーを使う**: この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによっては DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
 - **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

8. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスを選択し、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。
ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6 パススルーインターネット接続の設定

パススルーモードでは、ルーターは、IPv6 パケット用の 2 つのポート（LAN ポートと WAN ポート）を搭載したレイヤー 2 イーサネットスイッチとして機能します。ルーターは、IPv6 ヘッダーパケットを処理しません。

➤ パススルー IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[パススルー] を選択します。
画面の表示が変更されますが、追加の欄は表示されません。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

IPv6 固定インターネット接続の設定

➤ 固定 IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[固定] を選択します。

画面の表示が変更されます。

6. WAN 接続の固定 IPv6 アドレスを設定します。

- **IPv6 アドレス / プレフィックス長** : ルーターの WAN インターフェイスの IPv6 アドレスとプレフィックス長です。
- **デフォルト IPv6 ゲートウェイ** : ルーターの WAN インターフェイスのデフォルト IPv6 ゲートウェイの IPv6 アドレスです。
- **プライマリ DNS サーバー** : ルーターの IPv6 ドメイン名レコードを解決するプライマリ DNS サーバーです。
- **セカンダリ DNS サーバー** : ルーターの IPv6 ドメイン名レコードを解決するセカンダリ DNS サーバーです。

注意 : DNS サーバーを指定しない場合、ルーターは、[インターネット設定] 画面で IPv4 インターネット接続用に設定されている DNS サーバーを使用します。(24 ページの [インターネット接続の手動設定](#) を参照してください。)

7. [IP アドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCP サーバーを使う** : この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによっては DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定** : これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

8. [IPv6 アドレス / プレフィックス長] 欄で、ルーターの LAN インターフェイスの静的 IPv6 アドレスとプレフィックス長を指定します。

ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。

9. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6 DHCP インターネット接続の設定

▶ DHCP サーバーを使用して IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[DHCP] を選択します。
画面の表示が変更されます。

以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)：**この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)：**この欄には、ルーターの LAN インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
6. (オプション) [ユーザークラス (必要時のみ)] 欄に、ホスト名を入力します。

ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。

7. (オプション) [ドメイン名 (必要時のみ)] 欄に、ドメイン名を入力します。

ご利用の IPv6 プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここには IPv4 プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーが mail.xxx.yyy.zzz である場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、Earthlink Cable ではホームのホスト名が必要であり、Comcast ではドメイン名が提供されることがあります。

8. [IP アドレスの割当て] のラジオボタンを選択します。

- **DHCP サーバーを使う**：この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによっては DHCPv6 クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

9. (オプション) [このインターフェイス ID を使う] チェックボックスを選択し、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。

ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

IPv6 PPPoE インターネット接続の設定

- PPPoE IPv6 インターネット接続を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [IPv6] を選択します。
[IPv6] 画面が表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[PPPoE] を選択します。

画面の表示が変更されます。

以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- **ルーターの IPv6 アドレス (WAN 側)** : この欄には、ルーターの WAN (またはインターネット) インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
 - **ルーターの IPv6 アドレス (LAN 側)** : この欄には、ルーターの LAN インターフェイス用に取得した IPv6 アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6 アドレスの下にあるアンダーライン (_) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
6. **[ログイン]** 欄に、プロバイダー接続のログイン情報を入力します。
これは通常、メールアドレスで使用する名前です。例えば、お使いの主要メールアドレスが JerAB@ISP.com である場合は、この欄に「JerAB」と入力します。一部のプロバイダー (Mindspring、Earthlink、T-DSL など) では、ログイン時に完全なメールアドレスを使用する必要があります。ご利用のプロバイダーで完全なメールアドレスが必要な場合は、この欄に入力します。
 7. **[パスワード]** 欄に、プロバイダー接続のパスワードを入力します。
 8. **[サービス名]** 欄に、サービス名を入力します。
プロバイダーからサービス名を提供されていない場合は、この欄を空白のままにします。
- 注意 :** **[接続モード]** 欄のデフォルト設定は、安定した IPv6 接続を保つために **[常時接続]** になっています。ルーターが接続を終了することはありません。例えばモデムの電源が切れて接続が終了した場合、ルーターは、PPPoE 接続が再び使用可能になるとすぐに接続の再確立を試みます。
9. **[IP アドレスの割当て]** のラジオボタンを選択します。

- **DHCP サーバーを使う**：この方法では、LAN 上の機器に詳細情報を渡しますが、IPv6 システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターで IPv6 アドレスを LAN 上の機器に割り当てる方法が指定されます。

10. (オプション) **[このインターフェイス ID を使う]** チェックボックスを選択し、ルーターの LAN インターフェイスの IPv6 アドレスに使用するインターフェイス ID を指定します。

ここで ID を指定しない場合、ルーターは MAC アドレスから自動的に ID を生成します。

11. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

MTU サイズの変更

MTU は、ネットワーク機器が転送する最大データパケットを指します。あるネットワーク機器がインターネットを介して別のネットワーク機器と通信する場合、データパケットは途中多数の機器を経由していきます。この経由点にある機器で使用する MTU 設定が他の機器より低い場合、データパケット分割またはフラグメンテーション化（断片化）され、最小 MTU の機器と通信できるようになります。

ほとんどの NETGEAR の機器に最適な MTU はデフォルト値です。状況によっては、この値を変更するとある問題は解決されますが、別の問題が生じる可能性もあります。次のような状況が発生した場合を除き、MTU は変更しないでください。

- プロバイダーまたは別のインターネットサービスに接続中に問題が発生し、プロバイダーまたは NETGEAR のテクニカルサポートから MTU 設定の変更が推奨された場合。次のようなページを開く際に MTU の変更が必要になることがあります。
 - 安全なウェブサイトが開かない、またはウェブページの一部しか表示されない
 - Yahoo メール
 - MSN ポータル
 - AOL の DSL サービス
- VPN を使用しており、重大なパフォーマンス上の問題が発生している場合。
- パフォーマンス向上のために MTU を最適化するプログラムを使用し、これによって接続またはパフォーマンスに問題が発生した場合。

注意：MTU 設定が正しくないと、インターネットの通信に問題が発生する可能性があります。例えば、特定のウェブサイト、ウェブサイト内のフレーム、セキュリティで保護されたログインページ、FTP または POP サーバーにアクセスできなくなることがあります。

➤ **MTU サイズを変更する：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。

5. [MTU サイズ] 欄に、64 ~ 1500 の値を入力します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

MTU の問題が懸念される場合、一般的な解決策として MTU を 1400 に変更します。試してみる場合は、MTU を最大値の 1500 から問題が解消するまで徐々に下げることができます。次の表に、一般的な MTU サイズと用途を示します。

表 2. 一般的な MTU サイズ

MTU	用途
1500	イーサネットパケットの最大サイズ。この設定は、PPPoE または VPN を使用しない接続で一般的であり、NETGEAR のルーター、アダプター、スイッチのデフォルト値です。
1492	PPPoE 環境で使用。
1472	ping に使用する最大サイズ。(これより大きなパケットは断片化されます。)
1468	一部の DHCP 環境で使用。
1460	大きなメール添付ファイルを送受信しない場合などに、AOL で使用可能。
1436	PPTP 環境で、または VPN で使用。

表 2. 一般的な MTU サイズ (continued)

MTU	用途
1400	AOL DSL の最大サイズ。
576	ダイヤルアップでプロバイダーに接続する際の一般的な値。

パフォーマンスの最適化

4

インターネットゲーム、高精細ビデオストリーミング、VoIP 通信などの用途に合わせてパフォーマンスを最適化するようにルーターを設定することができます。デフォルトでは、ルーターは Wi-Fi マルチメディア QoS (WMM QoS) を使用します。

この章には次の内容が含まれます。

- *Dynamic QoS によるインターネットトラフィック管理の最適化*
- *Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善*
- *Wi-Fi マルチメディアの QoS*

Dynamic QoSによるインターネットトラフィック管理の最適化

Dynamic QoS は、アプリケーションや機器を識別し、帯域幅の割り当てやトラフィックの優先順位付けを行います。

インターネットのダウンロードとアップロードの速度が 250 Mbps 以下で、ゲームや動画のストリーミングを行う場合に Dynamic QoS を有効にします。

注意： ギガビット LAN 接続を使用しているか、インターネットのダウンロードとアップロードの速度が 300 Mbps 以上の場合は、Dynamic QoS を使用する必要はありません。

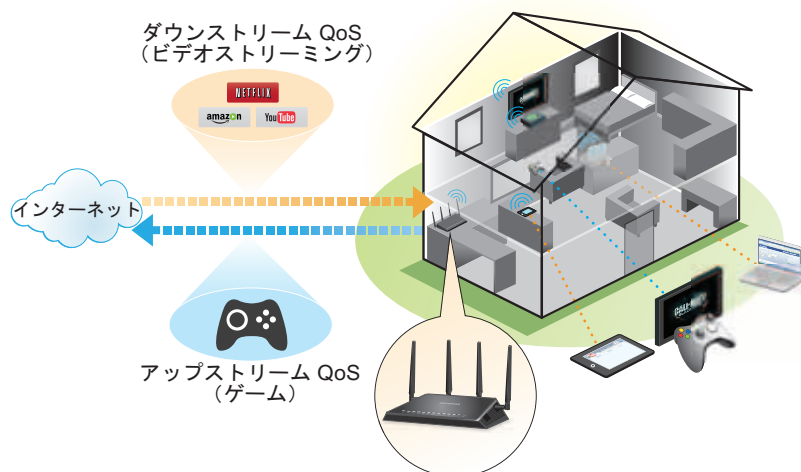


図 8. Dynamic QoS による優先順位付けでインターネットトラフィックを最適化する

注意： ギガビット LAN 接続 (300 Mbps 以上のスループット) を使用している場合は、QoS を使用する必要はありません。

Dynamic QoS の有効化

Dynamic QoS はデフォルトでは無効になっています。

➤ **Dynamic QoS を有効にする：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

- ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

- [Dynamic QoS] を選択します。



- [Dynamic QoS を有効にする] チェックボックスを選択します。

- インターネット帯域幅を指定します。

Dynamic QoSで帯域幅の割り当てとトラフィックの優先順位付けを実行できるようにインターネット帯域幅を指定する必要があります。

速度テストを行いインターネット帯域幅を検出する（推奨）：

- 速度テスト結果の精度を上げるため、ほかの機器がインターネットにアクセスしていないことを確認します。
- [スピードテスト] ボタンをクリックします。

速度テストにより、インターネット帯域幅が判別されます。

- [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

画面の下部に、帯域幅の利用状況を示すリンクが表示されます。リンクをクリックすると、[接続デバイス] 画面が表示されます。詳細については、110 ページの [ネットワーク上にある機器の表示](#) を参照してください。

自動 QoS データベースアップデートの有効化または無効化

ルーターは、最も一般的なアプリケーションやサービスの QoS データベースを使用して Dynamic QoS を実装します。デフォルトでは、ルーターは自動的にこのデータベースをアップデートします。この機能をオフにして、手動でデータベースをアップデートできます。

➤ **Dynamic QoS データベースの自動アップデートを有効または無効にする：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[Dynamic QoS]** を選択します。



Dynamic QoS を使用している場合は、**[Dynamic QoS を有効にする]** チェックボックスが選択されています。

5. **[パフォーマンス最適化データベースを自動的にアップデート]** チェックボックスを選択または選択解除します。
6. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

Dynamic QoS データベースの手動アップデート

ルーターは、最も一般的なアプリケーションやサービスの QoS データベースを使用して Dynamic QoS を実装します。デフォルトでは、Dynamic QoS を有効にするとルーターはこのデータベースを自動的にアップデートしますが、自動アップデート機能をオフにした場合は、手動でデータベースをアップデートできます。

➤ **Dynamic QoS データベースを手動でアップデートする：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **[Dynamic QoS]** を選択します。

Dynamic QoS を使用している場合は、**[Dynamic QoS を有効にする]** チェックボックスが選択されています。

5. **[今すぐアップデート]** ボタンをクリックします。

ルーターはデータベースの最新バージョンを確認してダウンロードします。

6. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

Dynamic QoS アナリティクスへの参加

NETGEAR では、最も一般的なアプリケーションやサービスの QoS データベースを使用して Dynamic QoS を実行します。新しいアプリケーションやサービスが一般的になると、NETGEAR ではこのデータベースをアップデートし、Dynamic QoS が有効になっている場合はルーターを自動的にアップデートします。Dynamic QoS 機能の向上に役立てるため、収集した QoS 情報の共有に参加することができます。

▶ Dynamic QoS アナリティクスに参加する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [Dynamic QoS] を選択します。



5. Dynamic QoS を有効にしていることを確認します。

Dynamic QoS の有効化の詳細については、42 ページの [Dynamic QoS の有効化](#) を参照してください。

6. [アナリティクスを NETGEAR と共有し Dynamic QoS 機能の向上に役立てる] チェックボックスを選択します。

アナリティクスの共有に関する詳細情報がポップアップ画面に表示されます。デフォルトで [はい] ラジオボタンが選択されています。

7. 情報を確認してから、[送信] ボタンをクリックします。

8. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善

UPnP (Universal Plug and Play) は、PC や周辺機器、家電製品などの機器を接続するだけでネットワーク上での利用を可能にするための技術です。UPnP 機器は、ネットワーク上のその他の登録済み UPnP 機器から自動的にサービスを検出することができます。

マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス (Windows XP の機能) といったリアルタイム通信のアプリケーションを使用する場合は、UPnP を有効にしてください。

➤ UPnP を有効にする :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [UPnP] を選択します。

[UPnP] 画面が表示されます。

5. [UPnP 起動] チェックボックスを選択します。

デフォルトではこのチェックボックスは選択されています。UPnP の自動機器設定を有効、または無効に設定することができます。[UPnP 起動] チェックボックスのチェックを外すと、ルーターは他の機器に対し、ルーターのポート転送（マッピング）などのリソース自動制御を許可しません。

6. 通知間隔（分）を入力します。

通知間隔では、ルーターが UPnP 情報をブロードキャストする頻度を指定します。1 ~ 1440 分の間で設定してください。デフォルトは 30 分に設定されています。間隔を短く設定すると、ネットワークトラフィックは増加しますが、機器の状態を最新に保つことができます。間隔を長く設定すると、機器の状態の更新間隔は長くなりますが、ネットワークトラフィックを大幅に削減することができます。

7. 通知の有効期限をホップ数で入力します。

通知の有効期限は各 UPnP パケットが送信するホップ（ステップ）数で表します。ホップ数とは、パケットがルーター間を経由するステップ数です。ホップ数は 1 ~ 255 の間で設定します。デフォルトの通知有効期限は 4 ホップに設定されており、ほとんどのホームネットワークでは問題ありません。一部の機器が正しくアップデートされていない場合は、この値を上げてみてください。

8. [適用] ボタンをクリックします。

UPnP ポートマップテーブルには、ルーターにアクセスしている UPnP 機器の IP アドレスと機器が開いたポート（内部および外部）が表示されます。UPnP ポートマップテーブルにはどのタイプのポートが開いており、ポートが各 IP アドレスに対しアクティブであるかどうかも表示します。

UPnP ポートマップテーブルの情報を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

Wi-Fi マルチメディアの QoS

Wi-Fi マルチメディア QoS（WMM QoS）は、無線接続におけるワイヤレス音声およびビデオトラフィックを優先順位付けします。WMM QoS は、ルーターで自動的に有効になります。

WMM QoS は、音声、ビデオ、ベストエフォート、バックグラウンドという 4 種類のアクセスカテゴリに基づき、さまざまなアプリケーションからのワイヤレスデータパケットを優先順位付けします。WMM QoS を利用するには、アプリケーション自身とそのアプリケーションを実行するクライアントの両方で WMM が有効になっている必要があります。WMM に対応していない従来からのアプリケーションや QoS を必要としないアプリケーションは、ベストエフォートカテゴリに分類され、音声やビデオよりも低い優先度が割り当てられます。

➤ **WMM QoS を無効にする :**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機からインターネットブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度] > [設定] > [QoS 設定]** を選択します。
[QoS] 画面が表示されます。
5. **[WMM]** タブをクリックします。
6. **[WMM (Wi-Fi マルチメディア) 設定を有効にする (2.4 GHz b/g/n)]** チェックボックスのチェックを外します。
7. **[WMM (Wi-Fi マルチメディア) 設定を有効にする (5 GHz b/g/n)]** チェックボックスのチェックを外します。
8. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

インターネットアクセスの管理

5

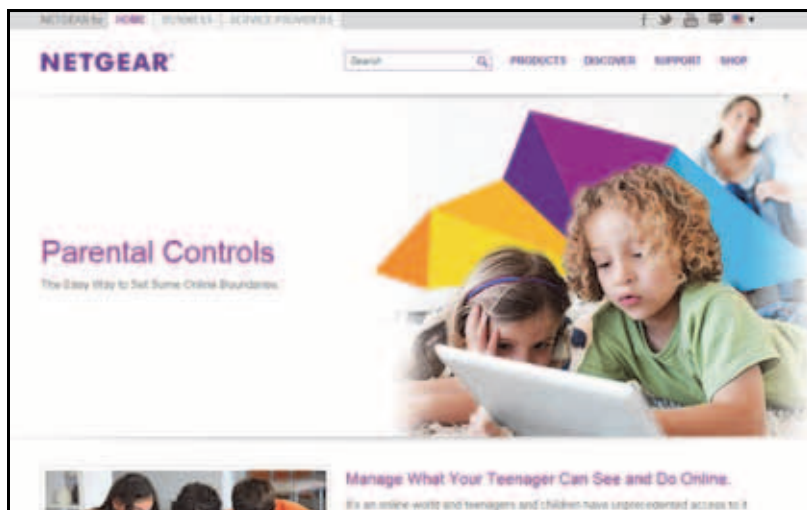
インターネットからの望ましくない侵入からホームネットワークを保護するようにルーターを設定することができます。

この章には次の内容が含まれます。

- *ペアレンタルコントロールの設定*
- *ネットワークへのアクセスの許可または禁止*
- *キーワードを使用したインターネットサイトのブロック*
- *インターネットからのサービスのブロック*
- *インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定*
- *信頼できるPCでのブロックの回避*
- *セキュリティイベントのメール通知の設定*

ペアレンタルコントロールの設定

初めて基本ホーム画面から [ペアレンタルコントロール] を選択すると、ブラウザはライブペアレンタルコントロールのウェブサイトに移動し、そこでライブペアレンタルコントロールの詳細を確認したりアプリケーションをダウンロードすることができます。

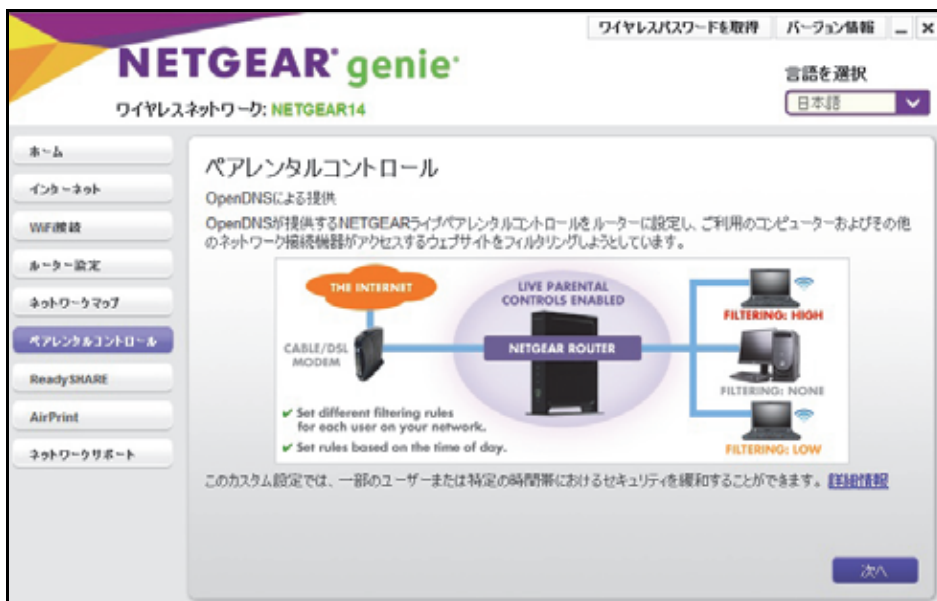


▶ ライブペアレンタルコントロールを設定する :

お使いの PC や無線 LAN 子機にデスクトップ NETGEAR genie アプリをインストールしている場合は、手順 1. ~手順 6. は不要です。デスクトップ NETGEAR genie アプリを起動し、[ペアレンタルコントロール] を選択した後に手順 7. へ進みます。

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [ペアレンタルコントロール] を選択します。
インターネットに接続されている場合は、自動的にライブペアレンタルコントロールのウェブページが表示されます。
5. [Enable Parental Controls And Start Setting Some Boundaries.] からお使いの機器のボタンを選択します。Windows PC をお使いの場合は、[DOWNLOAD PC] を選択します。
6. 画面に表示される指示に従って、デスクトップ NETGEAR genie アプリをダウンロードしてインストールします。

ライブペアレンタルコントロールは、インストール後に自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、デスクトップ NETGEAR genie アプリを起動し、[ペアレンタルコントロール] を選択します。



7. [次へ] ボタンをクリックします。
8. 注記を読み、もう一度 [次へ] ボタンをクリックして続行します。

ライブペアレンタルコントロールでは無料の OpenDNS アカウントを使用するため、ログインするか、無料のアカウントを作成するように求められます。

ライブペアレンタルコントロールのセットアップ

OpenDNS提供のNETGEARライブペアレンタルコントロール設定ウィザードへようこそ。

ライブペアレンタルコントロールを使用するには、無料のOpenDNSアカウントが必要です。すでにアカウントをお持ちですか？

はい、作成済のOpenDNSアカウントを使用します。

いいえ、無料のOpenDNSアカウントを作成します。

9. 該当するラジオボタンを選択します。
 - すでに OpenDNS アカウントを作成している場合は、[はい] ラジオボタンを選択したままにします。
 - まだ OpenDNS アカウントを作成していない場合は、[いいえ] ラジオボタンを選択します。
10. [次へ] ボタンをクリックします。

アカウントを作成する場合は、[無料の OpenDNS アカウントを作成] 画面が表示されます。
11. 入力欄を完成させて [次へ] ボタンをクリックします。

ログオン後、またはアカウントの作成後に、フィルタリングレベルの画面が表示されます。



12. フィルタリングレベルのラジオボタンを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

[設定は完了しました] 画面が表示されます。

13. [ステータス画面を表示] ボタンをクリックします。

これでルーターのペアレンタルコントロールがセットアップされました。デスクトップ NETGEAR genie アプリの「ペアレンタルコントロール」にペアレンタルコントロールが [有効] と表示されます。

ネットワークへのアクセスの許可または禁止

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを禁止または許可することができます。

▶ アクセス制御を設定する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

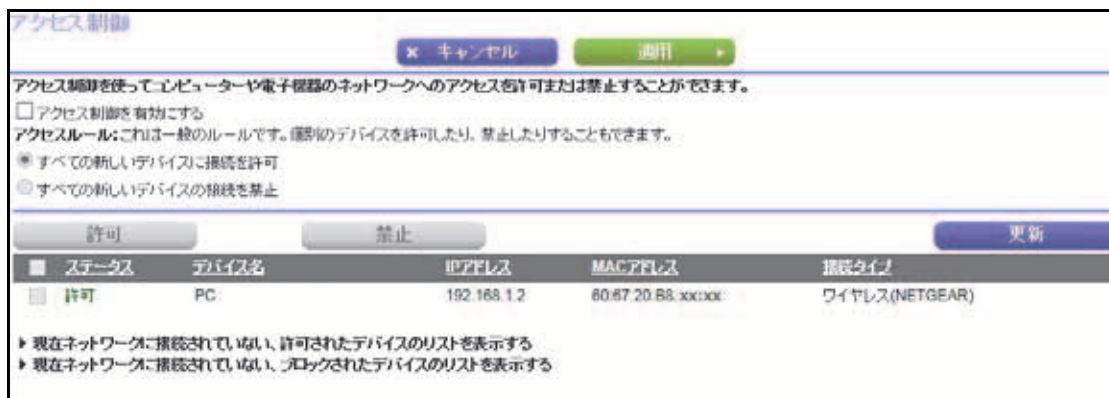
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。



5. [アクセス制御を有効にする] チェックボックスを選択します。

アクセスルールを指定して [許可] ボタンと [禁止] ボタンを使用するには、このチェックボックスを選択する必要があります。このチェックボックスのチェックを外すと、機器が禁止リストに含まれていても、すべての機器に接続が許可されます。

6. アクセスルールを選択します。

- **すべての新しいデバイスに接続を許可**：この設定では、新しく追加した機器はお使いのネットワークにアクセスできます。機器の MAC アドレスをこの画面に入力する必要はありません。このラジオボタンは選択されたままにすることを推奨します。
- **すべての新しいデバイスの接続を禁止**：この設定では、新しい機器を追加した場合、その機器からお使いのネットワークにアクセスするには、有線接続と無線接続の機器の MAC アドレスを許可リストに入力する必要があります。

アクセスルールは、以前に禁止または許可された機器には影響しません。アクセスルールは、これらの設定の適用後に、ネットワークに接続する機器にのみ適用されます。

7. 接続されていない、許可または禁止されている機器を表示するには、以下のリンクをクリックします。

- **現在ネットワークに接続されていない、許可されたデバイスのリストを表示する**
 - **現在ネットワークに接続されていない、ブロックされたデバイスのリストを表示する**
- リストが表示されます。

8. 現在使用している PC や機器のネットワークアクセスを変更するには、該当する PC や機器の横にあるチェックボックスを選択し、[許可] ボタンや [禁止] ボタンをクリックします。

9. [適用] ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

ネットワークのアクセス制御リストの管理

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを禁止または許可することができます。

▶ 許可またはブロックされた機器を管理する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。

5. [現在ネットワークに接続されていない、許可されたデバイスのリストを表示する] リンクをクリックします。

リストが表示されます。

6. 機器のチェックボックスを選択します。
7. 必要に応じて、[追加] ボタン、[編集] ボタン、[リストから削除する] ボタンを使用します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

キーワードを使用したインターネットサイトのブロック

キーワードを使用して、お使いのネットワークで特定のインターネットサイトをブロックすることができます。常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

▶ インターネットサイトをブロックする：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。



5. キーワードでブロックする際のオプションを選択します。
 - **スケジュール指定**：設定したスケジュールに基づいて、キーワードでのブロックをオンにします。(58 ページの [インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定](#) を参照してください。)
 - **常にブロック**：スケジュールとは関係なく、常にキーワードブロックを有効にします。
6. [ここにキーワードまたはドメイン名を入力します] の欄に、ブロックしたいキーワードまたはドメインを入力します。
次に例を示します。

- <http://www.badstuff.com/xxx.html> をブロックする場合は、XXX を指定します。
 - .eduや.govなどのドメインサフィックスがあるサイトだけを許可したい場合は、.com を指定します。
 - すべてのインターネットアクセスをブロックするには、ピリオド (.) を入力します。
7. [キーワードの追加] ボタンをクリックします。
キーワードがキーワードリストに追加されます。キーワードリストは、最大 32 個まで追加することができます。
8. [適用] ボタンをクリックします。
キーワードでのブロックが有効になります。

ブロックするキーワードの削除

▶ ブロックするキーワードをリストから削除する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://routerlogin.net>」または「<http://routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **admin** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサイト] を選択します。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - 1つの単語を削除するには、その単語を選択し、[キーワードの削除] ボタンをクリックします。
キーワードがリストから削除されます。
 - リストのすべてのキーワードを削除するには、[リストの消去] ボタンをクリックします。
すべてのキーワードがリストから削除されます。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

インターネットからのサービスのブロック

インターネットサービスは、サービスのタイプに基づいてネットワークでブロックすることができます。サービスは常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

▶ サービスをブロックする：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [ブロックサービス] を選択します。

5. サービスをブロックするタイミングを指定します。
 - 常にサービスをブロックするには、[常にブロック] ラジオボタンを選択します。
 - スケジュールに基づいてサービスをブロックするには、[スケジュール指定] ラジオボタンを選択します。

スケジュールを指定する方法については、58 ページの [インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定](#) を参照してください。
6. [追加] ボタンをクリックします。

[ブロックサービスの設定] 画面が表示されます。

7. [サービスタイプ] ドロップダウンリストにあるサービスを追加するには、アプリケーションまたはサービスを選択します。

このサービスの設定は、自動的に各欄に表示されます。

8. ドロップダウンリストにないサービスまたはアプリケーションを追加するには、[ユーザー定義] を選択します。
 - a. アプリケーションが TCP か UDP のどちらを使用するか分かる場合は、[プロトコル] のドロップダウンリストでどちらか適切なほうを選択してください。分からない場合は、[TCP/UDP] を選択します。
 - b. 開始ポートと終止ポートの番号を入力します。
サービスで 1 つのポート番号を使用する場合は、その番号を両方の欄に入力します。サービスまたはアプリケーションで使用するポート番号を知るには、アプリケーションの提供者に問い合わせるか、ユーザーグループまたはニュースグループに問い合わせるか、インターネットで調べることができます。
9. ラジオボタンでサービスをブロックする PC を選択します。
 - この IP アドレスのみ：1 台の PC のサービスをブロックします。
 - IP アドレス範囲：ネットワーク上の連続する IP アドレスを持つ、一定の範囲の PC のサービスをブロックします。
 - すべての IP アドレス：ネットワーク上のすべての PC のサービスをブロックします。
10. [追加] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

インターネットのサイトとサービスをブロックするタイミングのスケジュール設定

ブロックのスケジュールを設定する場合は、サイトのブロックとサービスのブロックに同じスケジュールを使用します。ルーターのブロック対象を指定する方法については、55 ページのキーワードを使用したインターネットサイトのブロックと 56 ページのインターネットからのサービスのブロックを参照してください。

➤ ブロックのスケジュールを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [セキュリティ] > [スケジュール] を選択します。

5. キーワードとサービスをブロックするタイミングを指定します。
- **ブロックする曜日**：キーワードをブロックする曜日のチェックボックスを選択するか、[毎日] チェックボックスを選択し、すべての曜日のチェックボックスを自動的に選択します。
 - **ブロックする時間帯**：24 時間表記で開始時刻と終了時刻を選択するか、24 時間ブロックする場合は [終日] を選択します。
6. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
7. 夏時間を適用する地域に住んでいる場合は、[夏時間に自動調整する] チェックボックスを選択します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
- 設定が保存されます。

信頼できる PC でのブロックの回避

1 台の信頼できる PC でのブロックを除外することができます。除外する PC には、固定 IP アドレスを割り当てる必要があります。予約 IP アドレス機能を使用してその IP アドレスを指定できます。122 ページの [予約 LAN IP アドレスの管理](#) を参照してください。

➤ 信頼できる PC を指定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. **【高度】** > **【セキュリティ】** > **【ブロックサイト】** を選択します。
5. 下にスクロールして、**【信頼できる IP アドレスにブロックサイトへのアクセスを許可する】** チェックボックスを選択します。
6. **【信頼できる IP アドレス】** 欄に、信頼できる PC の IP アドレスを入力します。
7. **【適用】** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

セキュリティイベントのメール通知の設定

ルーターアクティビティのログをメールでルーターから受け取ることができます。ログには、ルーターアクティビティと、ブロックされているサイトまたはサービスにアクセスしようとしたセキュリティイベントが記録されます。

➤ メール通知を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [メール] を選択します。

5. [メール通知を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. [送信メールサーバー] 欄に、プロバイダーの送信 (SMTP) メールサーバーの名前を入力します (mail.myISP.com など)。
この情報は、メールソフトの設定画面に表示される場合があります。この欄を空白のままにした場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
7. [このメールアドレスに送る] 欄に、ログと警告の送信先メールアドレスを入力します。
このメールアドレスは、差出人アドレスにも使用されます。この欄が空白の場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
8. 送信メールサーバーで認証が必要な場合は、[メールサーバーの認証] チェックボックスを選択します。
 - a. [ユーザー名] 欄に、送信メールサーバーのユーザー名を入力します。

- b. [パスワード] 欄に、送信メールサーバーのパスワードを入力します。
 - c. (オプション) [送信メールサーバーポート番号] 欄に、ポート番号を入力します。
9. (オプション) [すぐに警告を送信] チェックボックスを選択します。
- 誰かがブロックされているサイトにアクセスしようとする、メールによる警告がすぐに送信されます。
10. スケジュールに基づいてログを送信するには、以下の設定を指定します。
- [スケジュールに基づきログを送信] ドロップダウンリストから、スケジュールタイプを選択します。
 - [日] ドロップダウンリストから、曜日を選択します。
 - [時刻] ドロップダウンリストから時刻を選択し、[am] または [pm] ラジオボタンを選択します。
11. [適用] ボタンをクリックします。
- 設定が保存されます。

設定したスケジュールに基づいて、ログが自動的に送信されます。指定した時刻の前にログがいっぱいになった場合、そのログは送信されます。そのログは送信後にルーターのメモリから消去されます。ルーターがログをメール送信できずにログバッファがいっぱいになった場合、ルーターがログを上書きします。

ルーターに接続されたストレージ ドライブの共有

6

この章では、ルーターに接続されたストレージドライブにアクセスして管理する方法について説明します。ReadySHARE を使用すると、ルーターに接続された USB または eSATA のストレージドライブにアクセスして共有することができます。（専用のドライバーを必要とするストレージドライブとは互換性がなく、使用できません。）

注意：ルーターの USB ポートは、フラッシュドライブやハードドライブといった USB ストレージドライブ、またはプリンターを接続するためにのみ使用できます。PC、USB モデム、CD ドライブ、または DVD ドライブをルーターの USB ポートに接続しないでください。

この章には次の内容が含まれます。

- ルーターへの eSATA ドライブの接続
- USB ドライブの要件
- ルーターへの USB ドライブの接続
- ルーターに接続されたストレージドライブへのアクセス
- Windows ネットワークドライブへの USB ドライブの割り当て
- ReadySHARE Vault を使用した Windows PC のバックアップ
- Time Machine を使用した Mac のバックアップ
- ストレージドライブへのアクセスの制御
- ネットワーク内での FTP の使用
- ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示
- ストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加
- ストレージドライブのネットワークフォルダーの編集
- USB ドライブの承認
- USB ドライブの安全な取り外し

ReadySHARE の機能の詳細については、<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readysare/>を参照してください。

ルーターへの eSATA ドライブの接続

ルーターの右側にある eSATA ポートに eSATA ドライブを接続することができます。

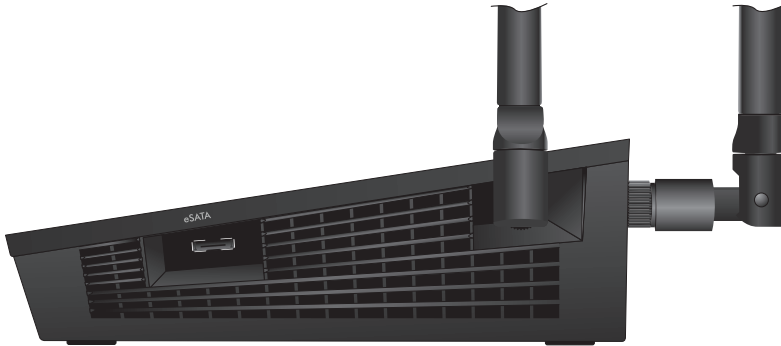


図 9. eSATA ポート

USB ドライブの要件

R7500 ルーターでは、ほとんどの USB 対応の外付けフラッシュドライブおよびハードドライブを使用できます。サポートされる USB ドライブの最新リストについては、<http://kbserver.netgear.com/readlyshare> を参照してください。

一部の USB フラッシュドライブおよびハードドライブは、アクセスするために PC にドライバーをロードする必要があります。そのような USB ドライブは、ルーターで使用できません。

読み書きのフルアクセスは、次のファイルシステムで対応しています。

- FAT16
- FAT32
- NTFS
- NTFS（圧縮形式が有効）
- Ext2
- Ext3
- Ext4
- HFS
- HFS+

ルーターへの USB ドライブの接続

ReadySHARE を使うと、ルーターの USB ポートに接続された USB ドライブにアクセスして共有することができます。(専用のドライバーを使用する USB ドライブとは互換性がなく、使用できません。)

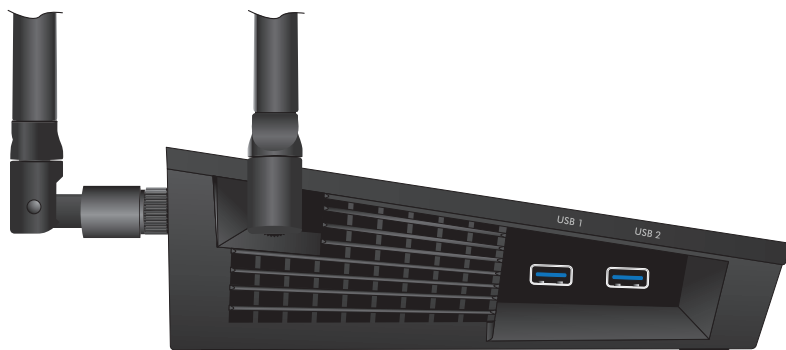


図 10. USB 3.0 ポート x 2 がルーターの側面にある

➤ USB ドライブを接続する：

1. USB ストレージドライブをルーターの側面にある USB ポートに差し込みます。
2. USB ドライブに電源が付属している場合は、電源を接続します。

USB ドライブをルーターの USB ポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分程かかります。デフォルトでは、LAN 上にあるすべての PC から USB ドライブを利用できます。

ルーターに接続されたストレージドライブへのアクセス

ネットワーク上の PC や無線 LAN 子機から、ルーターに接続されたストレージドライブにアクセスできます。

➤ Mac からストレージドライブにアクセスする：

1. USB または eSATA ストレージドライブをルーターの適切なポートに接続します。

ストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

ストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分程かかります。デフォルトでは、LAN 上にあるすべての無線 LAN 子機からストレージドライブを利用できます。

2. ネットワークに接続された Mac で、[移動] > [サーバへ接続] を選択します。
3. [サーバアドレス] 欄に、「smb://readyshare」と入力します。
4. メッセージが表示されたら、[ゲスト] ラジオボタンを選択します。

ルーターでアクセス制御を設定し、Macにネットワークへのアクセスを許可した場合は、[登録ユーザ] ラジオボタンを選択し、名前として「admin」、パスワードとして「password」と入力します。アクセス制御の詳細については、オンラインで <http://www.netgear.jp/supportInfo/> から入手できるユーザーマニュアルを参照してください。

5. [接続] ボタンをクリックします。

自動的にウィンドウが開いて、ストレージドライブ上のファイルとフォルダーが表示されます。

➤ Windows PC からストレージドライブにアクセスする :

1. USB または eSATA ストレージドライブをルーターの適切なポートに接続します。

ストレージドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

ストレージドライブをルーターのポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分程かかります。デフォルトでは、LAN 上にあるすべての PC からストレージドライブを利用できます。

2. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] を選択します。

3. ダイアログボックスに「*readysshare」と入力します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

自動的にウィンドウが開いて、ストレージドライブ上のファイルとフォルダーが表示されます。

Windows ネットワークドライブへの USB ドライブの割り当て

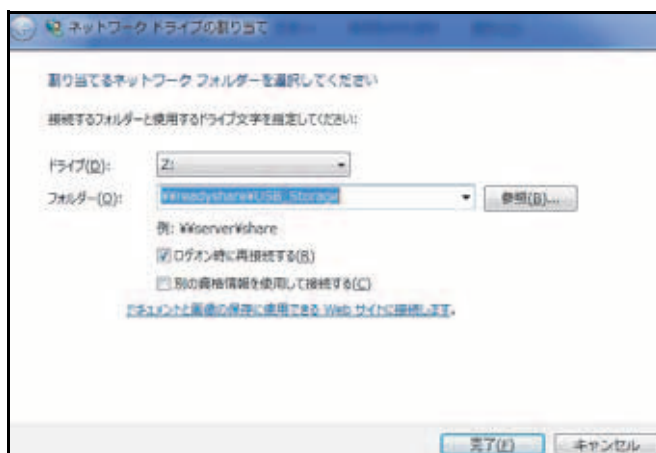
➤ USB ドライブを Windows ネットワークドライブに割り当てる :

1. <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readysshare/> にアクセスします。

2. [ReadySHARE USB ストレージアクセス] のカテゴリで、[Windows 用ユーティリティ] のリンクをクリックします。

画面の指示に従って、readysshareconnect.exe ファイルをダウンロードし、解凍します。

3. readyshareconnect.exe を起動します。



4. ネットワークフォルダーに割り当てるドライブ文字を選択します。
5. 別のユーザーとしてストレージドライブに接続するには、[別の資格情報を使用して接続する] チェックボックスを選択し、以下の操作を実行します。
 - a. ユーザー名とパスワードを入力します。
 - b. [OK] ボタンをクリックします。
6. [完了] ボタンをクリックします。
指定したドライブ文字にストレージドライブが割り当てられます。

ReadySHARE Vaultを使用したWindows PCのバックアップ

R7500 ルーターには Windows PC 対応の無料のバックアップソフトウェア『ReadySHARE Vault』が付属しています。ReadySHARE Vault を使うと、ルーターに接続した USB ドライブ (HDD) または eSATA ドライブにご家庭内の Windows PC をバックアップできます。

ReadySHARE Vault をサポートする OS は次のとおりです。

- Windows XP SP3
- Windows 7
- Windows 8
- Windows 8.1

➤ Windows PC をバックアップする：

1. USB ドライブまたは eSATA ドライブをルーターの適切なポートに接続します。
2. ReadySHARE Vault を <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readyshare/> からダウンロードし、各 Windows PC にインストールします。
3. ReadySHARE Vault を起動します。
4. Dashboard (ダッシュボード) または [Backup (バックアップ)] タブを使用して、バックアップを設定および実行します。

5. (オプション) ReadySHARE Vault は、デスクトップ NETGEAR genie アプリからもアクセスできます。

各 PC にデスクトップ NETGEAR genie アプリをダウンロードするには、
<http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/netgear-genie/> にアクセスしてください。

Time Machine を使用した Mac のバックアップ

Time Machine を使用すると、ルーターの USB ポートに接続されている USB ドライブ、またはルーターの eSATA ポートに接続されている eSATA ドライブに Mac 全体をバックアップできます。ルーターに有線または無線で接続されている Mac から、ストレージドライブにアクセスできます。

Mac での USB ハードドライブの設定

初めて Time Machine バックアップを実行するときは、新しい USB ドライブを使用するか、古い USB ドライブをフォーマットすることを推奨します。空のパーティションを使用すると、Time Machine を使用したバックアップ中に発生する一部の問題を回避することができます。ルーターは、GUID または MBR パーティションをサポートします。

➤ USB ドライブをフォーマットしてパーティションを指定する：

1. USB ドライブを Mac に接続します。
2. Mac のデスクトップで右上の虫眼鏡のマークの欄に「ディスクユーティリティ」と入力して検索します。
3. USB ドライブをフォーマットするには、ディスクユーティリティを開き、[消去] タブをクリックし、[消去] ボタンをクリックします。
4. [パーティション] タブをクリックします。
5. [パーティションのレイアウト] をクリックし、使用するパーティションの数を設定します。
6. [オプション] ボタンをクリックします。
パーティションのオプションが表示されます。
7. [GUID パーティションテーブル] または [マスター・ブート・レコード] ラジオボタンを選択します。
8. フォーマットは [Mac OS 拡張 (ジャーナリング)] を選択します。
9. [OK] ボタンをクリックします。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

大量のデータのバックアップ準備

Time Machine を使用して大量のデータをバックアップする前に、次の手順に従うことを推奨します。

▶ **大量のデータをバックアップする準備をする：**

1. Mac の OS をアップグレードします。
2. バックアップディスクとローカルディスクを確認し修復します。
3. ローカルディスクのアクセス権を検証、修復します。
4. 省エネルギーを設定します。
 - a. アップルメニューで、[システム環境設定] を選択します。
 - b. [表示] メニューで、[省エネルギー] を選択します。
 - c. [電源アダプタ] タブをクリックします。
 - d. [Wi-Fi ネットワークアクセスによるスリープ解除] チェックボックスを選択します。
 - e. 戻る矢印をクリックして変更を保存し、この画面を終了します。
5. セキュリティ設定を変更します。
 - a. Apple メニューで、[システム環境設定] を選択します。
 - b. [表示] メニューで、[セキュリティ] を選択します。
 - c. 画面の下部にある [詳細] ボタンをクリックします。
 - d. [使用しない状態が○分間続いたらログアウト] チェックボックスの選択が解除されたままにします。

Time Machine を使用したストレージドライブへのバックアップ

Time Machine を使用すると、ルーターの USB ポートに接続されている USB ドライブ、またはルーターの eSATA ポートに接続されている eSATA ドライブに Mac をバックアップできます。

▶ **Mac を USB ドライブにバックアップする：**

1. フォーマットとパーティションに互換性がある USB ドライブを用意します。
68 ページの *Mac での USB ハードドライブの設定* を参照してください。
大量のデータをバックアップする予定がある場合は、68 ページの *大量のデータのバックアップ準備* を参照してください。
2. USB ドライブをルーターの USB ポートに差し込みます。

注意： USB ドライブに電源が付属している場合は、ルーターに接続するときに電源を使用する必要があります。

USB ドライブをルーターの USB ポートに接続すると、共有の準備が整うまでに最大で 2 分程かかります。デフォルトでは、LAN 上にあるすべての PC から USB ドライブを利用できます。

3. Mac で [移動] > [サーバへ接続] を選択します。
4. 「`afp://routerlogin.net`」と入力します。
5. 名前とパスワードを入力するように求めるメッセージが表示されたら、[ゲスト] ラジオボタンを選択します。

6. [接続] ボタンをクリックします。

接続されている機器のリストが表示されます。admin としてログインしているときは、このリストに名前「admin」が含まれます。

7. **Apple** メニューで、[システム環境設定] を選択します。
8. [Time Machine] を開きます。
9. [ディスクを選択] ボタンをクリックし、リストから USB ドライブを選択します。
10. [ディスクを使用] ボタンをクリックします。

注意： Time Machine のディスクリストに USB パーティションが表示されない場合は、Mac の Finder に移動し、その USB パーティションをクリックしてください。Time Machine のリストに表示されるようになります。

11. 名前とパスワードを入力するように求めるメッセージが表示されたら、[ゲスト] ラジオボタンを選択し、[接続] ボタンをクリックします。

設定が完了すると、フルバックアップが自動的にスケジュール設定されます。必要に応じて、すぐにバックアップすることもできます。

ストレージドライブへのアクセスの制御

ルーターの USB ポートと eSATA ポートに接続されているストレージドライブの機器名、ワークグループ、ネットワークフォルダーを指定することができます。

➤ ストレージドライブのアクセス設定を指定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。



5. ストレージドライブへのアクセスを指定します。

- **USB デバイスへのアクセス**：ルーターに接続されているドライブへのアクセスに使用する名前です。
- **ワークグループ**：ドメインではなく Windows ワークグループを使用している場合は、ここにワークグループ名が表示されます。この名前は、Microsoft Windows などの NetBIOS をサポートする OS のみで使用されます。
- **アクセス方法**：希望するアクセス方法のチェックボックスを選択します。
 - **ネットワーク接続**：デフォルトで有効です。
 - **HTTP**：デフォルトで有効です。「http://readyshare.routerlogin.net/shares」と入力することで、ストレージドライブにアクセスできます。
 - **HTTP (インターネット経由)**：デフォルトで無効です。この機能を有効にした場合、リモートユーザーは「http://<public IP address/shares>」(例えば「http://1.1.10.102/shares」) または URL ドメイン名を入力することで、ストレージドライブにインターネット経由でアクセスできます。この機能では、ファイルのアップロードのみをサポートします。
 - **FTP**：デフォルトで無効です。
 - **FTP (インターネット経由)**：デフォルトで無効です。このチェックボックスを選択した場合、リモートユーザーはインターネット経由の FTP でストレージドライブにアクセスできます。この機能では、ファイルのダウンロードとアップロードの両方に対応しています。

6. 設定を変更した場合は、[適用] ボタンをクリックします。

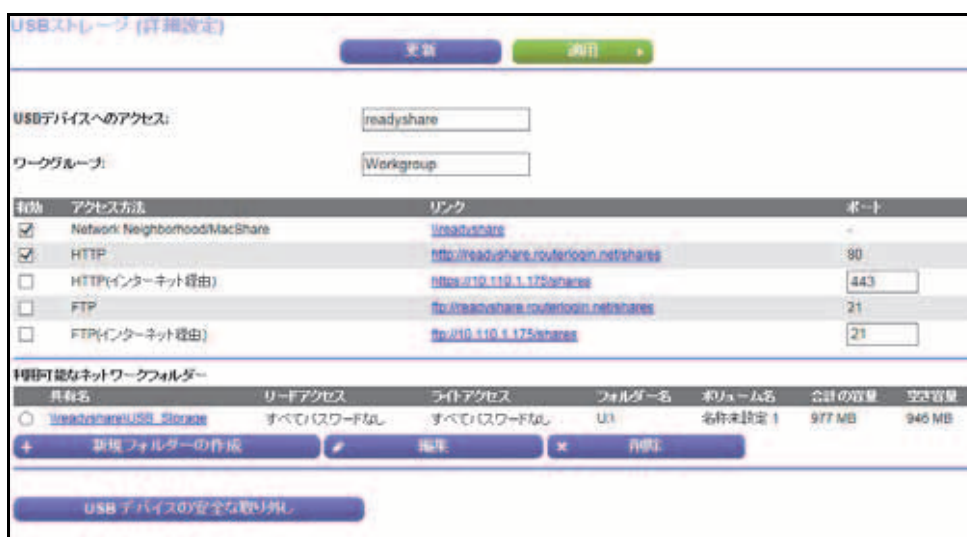
変更内容が保存されます。

ネットワーク内での FTP の使用

ファイル転送プロトコル (FTP) を使用すると、容量の大きなファイルを高速で送受信できます。

➤ FTP アクセスを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。



5. [FTP] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ストレージドライブのネットワークフォルダーの表示

ルーターに接続されている eSATA ドライブまたは USB ドライブ上のネットワークフォルダーを表示または変更することができます。

➤ ネットワークフォルダーを表示する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。

5. 画面の [利用可能なネットワークフォルダー] のセクションまでスクロールし、以下の設定を調整します。

- **共有名** : USB 機器が 1 台だけしか接続されていない場合、デフォルトの共有名は USB_Storage です。eSATA 機器のデフォルト共有名は、External_Disk です。

名前をクリックするか、ウェブブラウザのアドレス欄に名前を入力します。[共有しない] が表示される場合は、デフォルトの共有が削除され、ルートフォルダーにその他の共有が存在しないことを意味します。この設定を変更するには、リンクをクリックします。

- **リーダクセス/ライトアクセス** : ネットワークフォルダーのアクセス権とアクセス制御を示します。[すべてパスワードなし] (デフォルト) は、すべてのユーザーがネットワークフォルダーにアクセスできます。admin のパスワードは、ルーターへのログインに使用するパスワードと同じです。
- **フォルダー名** : ネットワークフォルダーのフルパスです。
- **ボリューム名** : ストレージドライブのボリューム名です。
- **[合計の容量]** と **[空き容量]** : ストレージドライブの現在の利用状況を示します。

ストレージドライブへのネットワークフォルダーの追加

ルーターの USB ポートと eSATA ポートに接続されているストレージドライブにネットワークフォルダーを追加することができます。

➤ ネットワークフォルダーを追加する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。

有効	アクセス方法	リンク	ポート
<input checked="" type="checkbox"/>	Network Neighborhood/MacShare	readyshare	-
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	http://readyshare.routerlogin.net/shares	80
<input type="checkbox"/>	HTTP(インターネット経由)	http://192.168.1.175/shares	443
<input type="checkbox"/>	FTP	ftp://readyshare.routerlogin.net/shares	21
<input type="checkbox"/>	FTP(インターネット経由)	ftp://192.168.1.175/shares	21

共有名	リーダアクセス	ライトアクセス	フォルダ名	ボリューム名	合計の容量	空き容量
<input type="radio"/> readyshare\USB_Storage	すべてパスワードなし	すべてパスワードなし	U3	名称未設定 1	977 MB	946 MB

5. ストレージドライブを選択します。
6. [新規フォルダーの作成] ボタンをクリックします。

USBデバイス	U:(名称未設定 1) ▼
フォルダー	<input type="text"/> 参照
共有名	<input type="text"/>
リーダアクセス	すべてパスワードなし ▼
ライトアクセス	すべてパスワードなし ▼

適用 ▶

x ウィンドウを閉じる

この画面が表示されない場合は、ウェブブラウザでポップアップブロック機能が有効になっている可能性があります。その場合は、ポップアップを許可するようにブラウザ設定を変更してください。

7. 入力欄を完成させます。

[すべてパスワードなし] のユーザー名（アカウント名）は **guest** です。admin のパスワードは、ルーターへのログインに使用するパスワードと同じです。デフォルトは **password** です。

8. [適用] ボタンをクリックします。

フォルダーがストレージドライブに追加されます。

ストレージドライブのネットワークフォルダーの編集

ルーターの USB ポートと eSATA ポートに接続されているストレージドライブのネットワークフォルダーを編集することができます。

▶ ネットワークフォルダーを編集する：

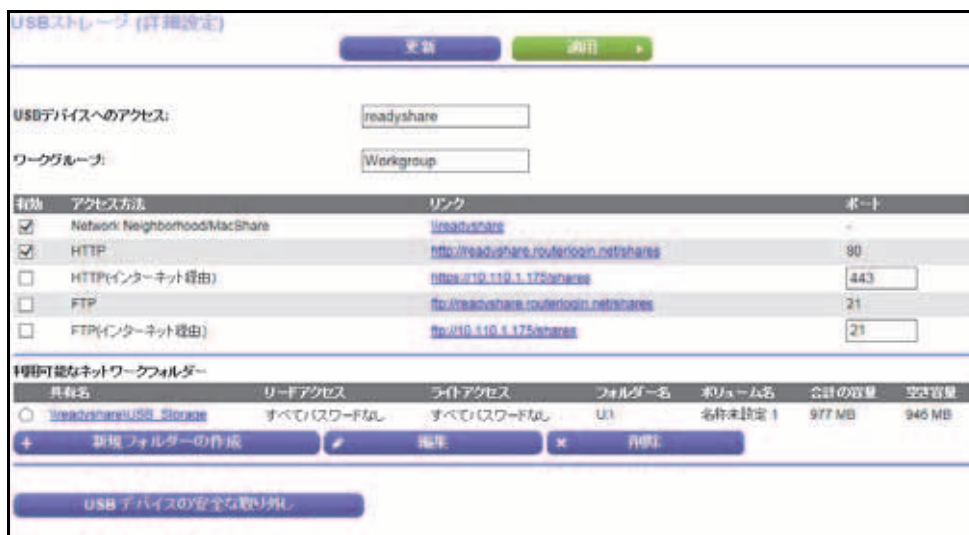
1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。



5. ストレージドライブを選択し、[編集] ボタンをクリックします。

[ネットワークフォルダーの編集] 画面が表示されます。

6. 必要に応じて設定を変更します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

USB ドライブの承認

セキュリティを高めるため、承認した USB ドライブのみを共有するようにルーターを設定できます。

▶ USB ドライブを承認する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [USB 設定] を選択します。



デフォルトで、[USB ポートに接続されている USB 機器を有効にする] ラジオボタンが [はい] になっています。この設定により、すべての USB ドライブに接続し、アクセスできます。

5. [いいえ] ラジオボタンを選択します。
6. [承認済みの機器] ボタンをクリックします。



この画面には承認済みで利用可能な USB ドライブが表示されます。

7. [利用可能な USB 機器] リストで、承認するストレージドライブを選択します。
8. [追加] ボタンをクリックします。
USB ドライブが [承認済みの USB 機器] リストに追加されます。
9. [承認済み機器のみ許可] チェックボックスを選択します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます
11. 別の USB ドライブを使用するには、まず、[USB デバイスの安全な取り外し] ボタンをクリックし、現在接続されている USB ドライブを取り外してください。他の USB ドライブを接続し、このプロセスを繰り返します。

USB ドライブの安全な取り外し

USB ドライブをルーターの USB ポートから物理的に取り外す場合は、まずルーターにログインし、ドライブをオフラインにします。

➤ USB ディスクドライブを安全に取り外す：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [ReadySHARE] を選択します。
[USB 設定] 画面が表示されます。
5. [USB デバイスの安全な取り外し] ボタンをクリックします。
ドライブがオフラインになります。
6. ルーターから USB ドライブを取り外します。

インターネットからのストレージ ドライブへのアクセス

7

ダイナミック DNS を使用すると、外出先でも、ルーターの eSATA ポートに接続されている eSATA ドライブやルーターの USB ポートに接続されている USB ドライブにインターネットを使用してアクセスできます。この章には次の内容が含まれます。

- [インターネットからのストレージドライブへのアクセス](#)
- [ダイナミック DNS](#)
- [個人用 FTP サーバー](#)
- [個人用 FTP サーバーの設定](#)

機器を接続してその設定を指定する方法については、[第 6 章 ルーターに接続されたストレージドライブの共有](#)を参照してください。

インターネットからのストレージドライブへのアクセス

外出先にいるときでも、インターネットから eSATA ドライブや USB ドライブにアクセスできます。

▶ リモート PC からストレージドライブにアクセスする：

1. ホームネットワーク上にない PC やモバイル端末からウェブブラウザを起動します。
2. 自宅のルーターに接続します。
 - ダイナミック DNS を使用して接続するには、DNS 名を入力します。
ダイナミック DNS アカウントを使用するには、[ダイナミック DNS] 画面にアカウント情報を入力する必要があります。80 ページの [ダイナミック DNS](#) を参照してください。
 - ダイナミック DNS を使用せずに接続するには、ルーターのインターネットポートの IP アドレスを入力します。

ルーターのインターネット IP アドレスは、基本ホーム画面で確認できます。

FTP を使用して、ルーターに接続されている USB ドライブ上のファイルを共有できます。

インターネットからの FTP アクセスの設定

▶ FTP アクセスを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [詳細設定] を選択します。
[USB ストレージ (詳細設定) 画面] が表示されます。
5. [FTP (インターネット経由)] チェックボックスを選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。
7. アクセスを admin ユーザーに制限するには、[編集] ボタンをクリックします。
8. [リードアクセス] ドロップダウンリストで、[ルーター管理者] を選択します。
9. [ライトアクセス] ドロップダウンリストで、[ルーター管理者] を選択します。
10. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

FTP を使用したインターネットからのストレージドライブへのアクセス

あらかじめ79 ページの [インターネットからのFTPアクセスの設定](#) で説明したインターネットアクセス経由の FTP を設定しておく必要があります。

➤ リモート PC から FTP を使用してストレージドライブにアクセスする：

1. ダウンロードするには、ウェブブラウザを起動します。
2. アップロードするには、FTP クライアント（FileZilla など）を使用します。
3. ブラウザーのアドレス欄に「**ftp://**」とインターネットポートの IP アドレスを入力します。
 例えば「**ftp://10.1.65.4**」と入力します。
 ダイナミック DNS を使用している場合は、DNS 名を入力します。
 例えば、「**ftp://MyName.mynetgear.com**」と入力します。
4. メッセージが表示されたら、ログインします。
 - admin としてログインするには、**ユーザー名**の欄に「**admin**」と入力し、**パスワード**の欄にルーターへのログインに使用するパスワードと同じものを入力します。
 - guest としてログインするには、**ユーザー名**の欄に「**guest**」と入力します。
 guest ユーザー名にパスワードは必要ありません。admin ユーザーのみがアクセスできるように設定し、USB ドライブへのアクセスを制限することができます。70 ページの [ストレージドライブへのアクセスの制御](#) を参照してください。

お使いのアカウントでアクセスできるこのUSBドライブ上のファイルとフォルダーが表示されます。例えば、share/partition1/directory1 のように表示されます。

ダイナミック DNS

プロバイダーは、各インターネットアカウントを識別するために、IP アドレスと呼ばれる番号を割り当てます。ほとんどのプロバイダーは動的に割り当てられた IP アドレスを使用します。つまり、IP アドレスはいつでも変更される可能性があるということです。IP アドレスを使用してネットワークにリモートアクセスすることはできませんが、大半のユーザーは、自分の IP アドレスが何か、いつこの番号が変更されるかを知りません。

より簡単に接続できるように、ドメイン名を使用してホームネットワークにアクセスできるようにするダイナミック DNS サービスの無料アカウントを取得することができます。このアカウントを使用するには、ダイナミック DNS を使用するようにルーターを設定します。これで、ルーターの IP アドレスが変更されたときには必ずダイナミック DNS サービスプロバイダーに通知されるようになります。ダイナミック DNS アカウントにアクセスすると、ホームネットワークの現在の IP アドレスが検索され、自動的に接続されます。

プロバイダーがプライベート WAN IP アドレス（192.168.x.x、10.x.x.x など）を割り当てる場合、プライベートアドレスはインターネット上でルーティングされないため、ダイナミック DNS サービスを使用できません。

個人用 FTP サーバー

カスタマイズされた無料の URL を使用すると、外出先からでもダイナミック DNS 経由で FTP を使用してネットワークにアクセスできます。FTP サーバーを設定するには、NETGEAR ダイナミック DNS (DDNS) サービスアカウントに登録してアカウント設定を指定する必要があります。81 ページの [新しいダイナミック DNS アカウントの設定](#) を参照してください。

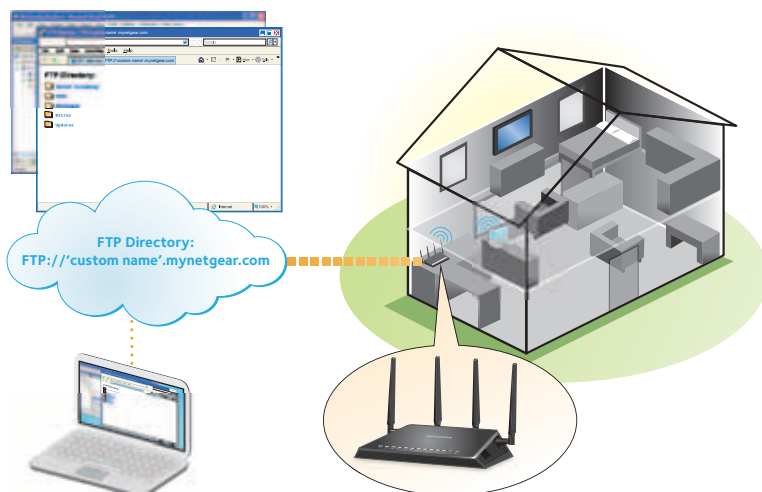


図 11. 外出先からでもインターネット経由でネットワークにアクセス

注意：基本 DDNS とログイン、パスワードのみに対応するルーターは安全でない可能性があります。接続をセキュリティ保護するには、DDNS と VPN トンネルを併用することができます。VPN の詳細については、[第 12 章 VPN を使用したネットワークへのアクセス](#) を参照してください。

新しいダイナミック DNS アカウントの設定

▶ **ダイナミック DNS を設定し、無料の NETGEAR アカウントに登録する：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミック DNS] を選択します。

5. [ダイナミック DNS サービスを利用する] チェックボックスを選択します。
6. [サービスプロバイダ] ドロップダウンリストで、[NETGEAR] を選択します。
7. [NETGEAR DDNS アカウントまたは NO-IP DDNS アカウントをお持ちですか?] ラジオボタンで [いいえ] を選択します。
8. [ホスト名] の欄に、URL に使用する名前を入力します。
ホスト名は、ドメイン名と呼ばれることもあります。無料の URL は、指定したホスト名を含み、mynetgear.com で終わります。例えば、MyName.mynetgear.com と指定します。
9. [メール] の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
10. [パスワード (6 ~ 32 文字)] の欄に、アカウントのパスワードを入力します。
11. [登録] ボタンをクリックします。
12. 画面に表示される指示に従って、NETGEAR ダイナミック DNS サービスを登録します。

すでに作成した DNS アカウントの指定

すでにダイナミック DNS アカウントを NETGEAR No-ip または Dyn に作成した場合は、そのアカウントを使用するようにルーターを設定できます。

➤ すでにアカウントを作成した場合にダイナミック DNS を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミック DNS] を選択します。

5. [ダイナミック DNS サービスを利用する] チェックボックスを選択します。
6. [サービスプロバイダ] ドロップダウンリストで、プロバイダーを選択します。
7. [サービスプロバイダ] ドロップダウンリストで [NETGEAR] を選択した場合は [NETGEAR DDNS アカウントまたは NO-IP DDNS アカウントを持っていますか?] ラジオボタンで [はい] を選択します。

画面が変更され、[状態を表示]、[キャンセル]、[適用] ボタンが表示されます。

8. [ホスト名] の欄に、アカウントのホスト名（ドメイン名と呼ばれることもあります）を入力します。
9. No-IP または Dyn のアカウントの場合は、[ユーザー名] の欄に、アカウントのユーザー名を入力します。
10. No-IP の NETGEAR アカウントの場合は、[メール] の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
11. [パスワード (6 ~ 32 文字)] の欄に、DDNS アカウントのパスワードを入力します。
12. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

13. ルーターでダイナミック DNS サービスが有効であることを確認するには、[状態を表示] ボタンをクリックします。

メッセージにダイナミック DNS のステータスが表示されます。

ダイナミック DNS 設定の変更

➤ 設定を変更する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ダイナミック DNS] を選択します。
[ダイナミック DNS] 画面が表示されます。
5. 必要に応じて DDNS アカウント設定を変更します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

個人用 FTP サーバーの設定

▶ 個人用アカウントを設定し、FTP を使用する：

1. NETGEAR ダイナミック DNS ドメイン名を取得します。
79 ページの [インターネットからの FTP アクセスの設定](#) を参照してください。
2. インターネットに接続していることを確認します。
ルーターがインターネットへの直接接続を使用している必要があります。インターネットにアクセスするために別のルーターに接続することはできません。
3. eSATA ドライブをルーターの eSATA ポートに接続、または USB ドライブを USB ポートに接続します。
4. ルーターで FTP アクセスを設定します。
79 ページの [インターネットからの FTP アクセスの設定](#) を参照してください。
5. インターネットに接続された PC を使って、FTP 経由で `ftp://yourname.mynetcgear.com` を使用してルーターに接続できます。

メディアサーバーとしてのルーター の使用

8

ルーターは、ReadyDLNA メディアサーバーとして機能するように設定されています。ルーターを設定して、iTunes サーバーの音楽を再生することができます。

この章には次の内容が含まれます。

- *ReadyDLNA メディアサーバーの設定*
- *iTunes サーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生*

ReadyDLNA メディアサーバーの設定

デフォルトでは、ルーターは ReadyDLNA メディアサーバーとして動作するよう設定されています。ReadyDLNA メディアサーバーを使用すると、Xbox360、Playstation、NETGEAR メディアプレイヤーなどの DLNA/UPnP AV 対応メディアプレイヤーで動画や写真を表示することができます。

▶ メディアサーバー設定を指定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [ReadySHARE] > [ReadySHARE ストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。
[メディアサーバー (設定)] 画面が表示されます。
5. 設定を指定します。
 - **メディアサーバーを有効にする**：ルーターをメディアサーバーとして有効にするには、このチェックボックスを選択します。
 - **メディアサーバー名**：メディアプレイヤーに表示されるメディアサーバーの名前を指定します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

iTunesサーバーを使用したストレージドライブからの音楽再生

iTunes サーバーを使用すると、Windows や Mac の iTunes アプリを使用して、ルーターに接続されたストレージドライブから音楽を再生できます。iPhone または iPad から Apple Remote アプリを使用して、Apple TV や AirPlay 対応レシーバーなどの AirPlay 対応機器で音楽を再生することもできます。



図 12. iTunes を使用して USB ドライブから音楽を再生

対応している音楽ファイルの形式は MP3、AAC、FLAC です。最大で 10,000 の音楽ファイルをサポートします。

➤ iTunes サーバー設定を指定する：

1. iPhone または iPad で、ワイヤレスネットワークを探して接続します。
2. Remote アプリを起動します。
3. [デバイスを追加] をタップします。
パスコードが表示されます。
4. ルーターでパスコードを指定します。
 - a. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 - b. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 - c. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

- d. [高度] > [ReadySHARE ストレージ] > [メディアサーバー] を選択します。



- e. [iTunes サーバー (音楽のみ) を有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
- f. パスコードを入力します。
- g. [コントロールを許可] ボタンをクリックします。
- h. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

iPhone または iPad の Remote アプリに、ReadySHARE 音楽ライブラリが表示されます。
この音楽を AirPlay 対応機器で再生できます。

USB プリンターの共有

9

ReadySHARE プリントユーティリティを使うと、ルーターのUSBポートに接続されているUSBプリンターを共有できます。このUSBプリンターは、ネットワーク上のWindows PCやMacの間で共有できます。

この章には次の内容が含まれます。

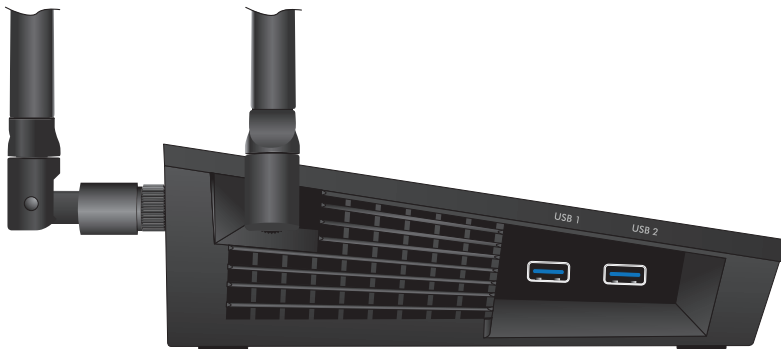
- [プリンタードライバーのインストールとプリンターのケーブル接続](#)
- [ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード](#)
- [ReadySHARE プリントユーティリティのインストール](#)
- [共有プリンターの使用](#)
- [プリンターのステータスの表示または変更](#)
- [多機能USBプリンターのスキャン機能の使用](#)
- [NETGEAR USB Control Center 設定の変更](#)

プリンタードライバーのインストールとプリンターのケーブル接続

一部の USB プリンターの製造元（HP や Lexmark など）では、インストール用ソフトウェアから指示があるまでは、USB ケーブルを接続しないよう要求されることがあります。

▶ **ドライバーをインストールしてプリンターのケーブルを接続する：**

1. USB プリンターを共有するネットワーク上の各 PC に、USB プリンターのドライバーソフトウェアをインストールします。
プリンタードライバーがない場合は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
2. USB プリンターケーブルを使用して、USB プリンターをルーターの USB ポートに接続します。



ReadySHARE プリントユーティリティのダウンロード

ユーティリティは Windows PC と Mac で動作します。

➤ ユーティリティをダウンロードする：

1. <http://www.netgear.jp/solutions/homesolutions/readystatechange/> にアクセスします。



2. [ReadySHARE プリント] のカテゴリで、[Windows 用ユーティリティ] または [Mac 用ユーティリティ] のリンクをクリックします。
3. 画面に表示される指示に従って、ファイルをダウンロードします。

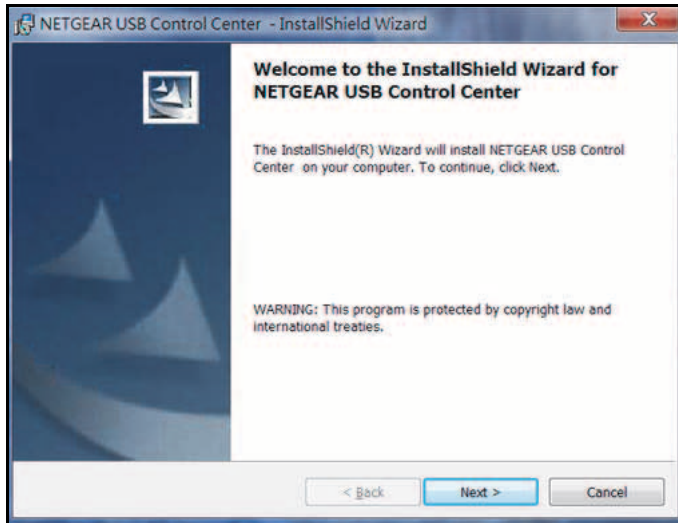
ReadySHARE プリントユーティリティのインストール

ReadySHARE プリントユーティリティは、プリンターを共有する各 PC にインストールする必要があります。インストール後に、ユーティリティが [NETGEAR USB Control Center] として PC 上に表示されます。

➤ ユーティリティをインストールする：

1. USB プリンターを共有するネットワーク上の各 PC で、ダウンロードした ReadySHARE プリントユーティリティのセットアップファイルをダブルクリックします。

ウィザードが表示されます。



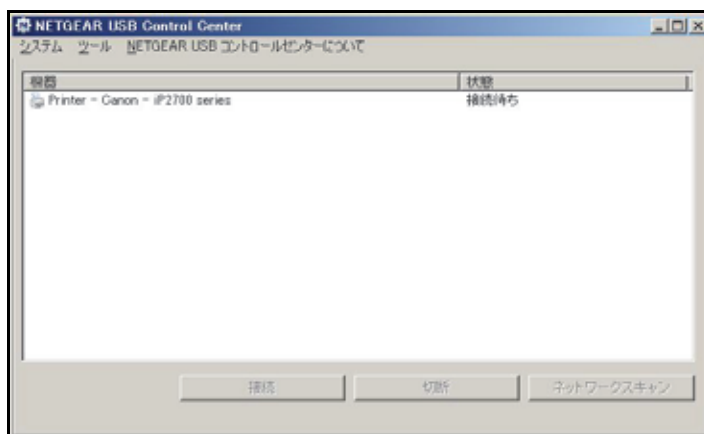
2. ウィザードに表示される指示に従って、NETGEAR USB Control Center をインストールします。

ウィザードでインストールを完了すると、[NETGEAR USB Control Center] で言語を選択するように求められます。



3. ドロップダウンリストから言語を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[NETGEAR USB Control Center] のメイン画面が表示されます。




Comodo などの一部のファイアウォールソフトウェアでは、NETGEAR USB Control Center から USB プリンターへのアクセスがブロックされることがあります。USB プリンターが画面に表示されない場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして、ユーティリティが機能できるようにします。

4. プリンターを選択して [接続] ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが、[Manually connected by (PC 名)] に変わります。これで、お使いの PC でのみプリンターを使用できるようになります。
5. [切断] ボタンをクリックします。
ステータスが [使用可] に変わります。これで、ネットワーク上のすべての PC がプリンターを使用できます。
6. ユーティリティを終了するには、[システム] > [終了] を選択します。

共有プリンターの使用

各 PC で、一度 [接続] ボタンや [切断] ボタンをクリックすると、ユーティリティが印刷キューと処理を自動的に管理します。デフォルトでは、Windows にログオンすると、ユーティリティはバックグラウンドで自動的に開始されます。

▶ 手動で接続して印刷する：

1. NETGEAR USB Control Center のアイコン  をクリックします。
メイン画面が表示されます。
2. [接続] ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが、[Manually connected by (PC 名)] に変わります。これで、お使いの PC でのみこのプリンターを使用できます。
3. アプリケーションの印刷機能を使用してドキュメントを印刷します。
4. プリンターを開放してネットワーク上のすべての PC が使用できるようにするには、[切断] ボタンをクリックします。

➤ 印刷し、ネットワーク上のすべての PC にプリンターを開放する：

1. ドキュメントを印刷するには、アプリケーションの印刷機能を使用します。
NETGEAR USB Control Center は、自動的に PC を USB プリンターに接続してドキュメントを印刷します。すでに別の PC がプリンターに接続されている場合、印刷ジョブはキューに入って印刷を待ちます。
2. ドキュメントが印刷されない場合は、NETGEAR USB Control Center を使用してステータスを確認します。94 ページの [プリンターのステータスの表示または変更](#) を参照してください。

プリンターのステータスの表示または変更

➤ ステータスを表示または変更する：

1. NETGEAR USB Control Center のアイコン  をクリックします。

メイン画面が表示されます。

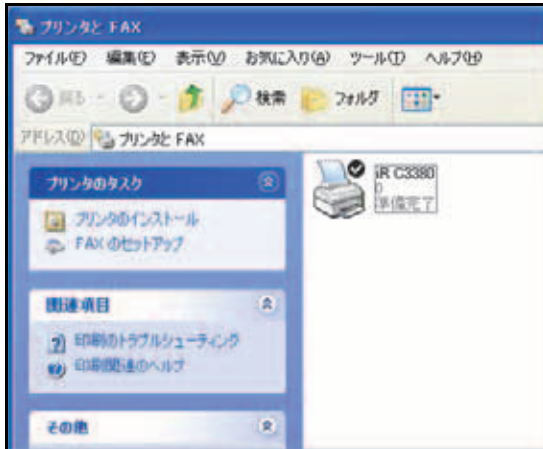


[状態] の項目に、各機器の状態が表示されます。

- **使用可**：進行中の印刷ジョブはありません。ネットワーク上の任意の PC から USB プリンターを使用できます。
 - **接続済み**：PC がプリンターに接続されていて、印刷ジョブが完了すると開放されます。
 - **Manually connected by (PC 名)**：接続されている PC だけがプリンターを使用できます。
 - **接続待ち**：PC はまだ共有プリンターに接続されていません。
2. 状態表示が [Manually connected by (別の PC)] の場合にお使いの PC から印刷するには、[切断] ボタンをクリックします。
プリンターが接続から開放され、状態が [使用可] に変わります。
 3. 状態表示が [接続待ち] の場合にお使いの PC から印刷するには、次の操作を実行します。
 - a. [接続] ボタンをクリックします。
プリンターのステータスが、[Manually connected by (PC 名)] に変わります。これで、お使いの PC からのみプリンターを使用できるようになります。
 - b. プリンターの共有を許可するには、[切断] ボタンをクリックします。
プリンターが接続から開放され、状態が [使用可] に変わります。

多機能 USB プリンターのスキャン機能の使用

USB プリンターがスキャン機能に対応している場合は、USB プリンターをスキャンに使用することもできます。例えば、Windows の [プリンターと FAX] ウィンドウに表示される USB プリンターは、印刷ジョブの準備が整っています。



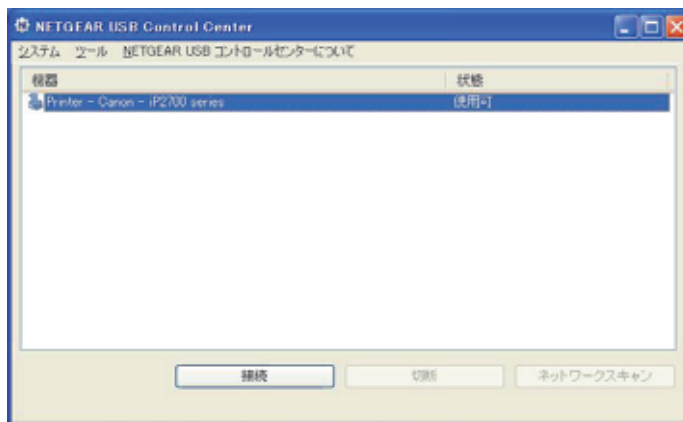
▶ 多機能 USB プリンターのスキャン機能を使用する：

1. NETGEAR USB Control Center のアイコン  をクリックします。

メイン画面が表示されます。



2. プリンターの状態が [使用可] と表示されていることを確認します。
3. [ネットワークスキャン] ボタンをクリックします。



スキャナーの画面が表示されて、USB プリンターをスキャンに使用できます。

NETGEAR USB Control Center 設定の変更

Windows にログインしたときに NETGEAR USB Control Center が自動的に起動しないようにできます。また、言語を変更したり、プリンターの接続を開放するまでのタイムアウトを指定することもできます。

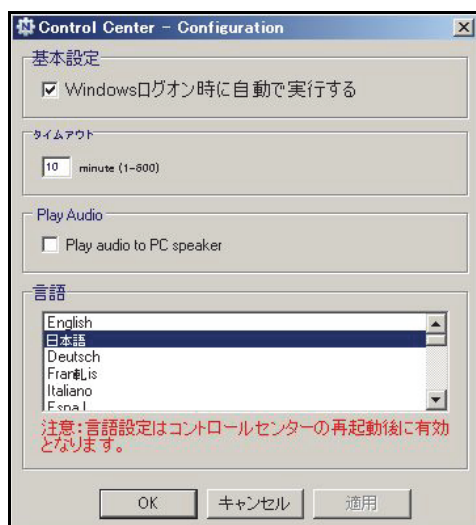
➤ NETGEAR USB Control Center の自動起動をオフにする :

1. NETGEAR USB Control Center のアイコン  をクリックします。

メイン画面が表示されます。



2. [ツール] > [設定] を選択します。



3. [Windows ログオン時に自動で実行する] チェックボックスの選択を解除します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

➤ 言語を変更する :

1. [ツール] > [設定] を選択します。
2. [言語] リストで、言語を選択します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

次回 NETGEAR USB Control Center が起動するときに、言語が変更されます。

▶ タイムアウトを指定する：

1. [ツール] > [設定] を選択します。
2. [タイムアウト] の欄に、時間（分）を入力します。

タイムアウトは、接続が使用されないときに PC がプリンターへの接続を維持する時間（分）です。

3. [OK] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

この章では、ルーターとホームネットワークを管理し、保守するためのルーター設定について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ルーターファームウェアのアップデート
- 管理者パスワードの変更
- 管理者パスワードの復元
- ルーターステータスの表示
- ルーターアクティビティのログの表示と管理
- トラフィックメーター
- カスタムの静的ルート
- ネットワーク上にある機器の表示
- ルーター設定ファイルの管理
- リモート管理

ルーターファームウェアのアップデート

ルーターの新しいファームウェアが利用可能になると、NETGEAR genie（ルーター管理画面）の上部にメッセージが表示されることがあります。そのメッセージをクリックしてファームウェアをアップデートすることも、手動で新しいファームウェアが利用可能かどうかを確認してアップデートすることもできます。

▶ **新しいファームウェアを確認して、ルーターをアップデートする：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [ファームウェア更新] を選択します。
ファームウェア更新が表示されます。
5. [確認] ボタンをクリックします。
使用可能なファームウェアがある場合は、ルーターに新しいファームウェアをダウンロードするかどうか確認するメッセージが表示されます。
6. [はい] ボタンをクリックします。
ルーターがファームウェアを見つけてダウンロードし、アップデートを開始します。



警告：

ファームウェアの破損を回避するため、アップデートを中断しないでください。たとえば、ブラウザを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを読み込んだりしないでください。ルーターの電源を切らないでください。

アップロードが完了すると、ルーターが再起動します。アップデートプロセスは通常、約 1 分かかります。新しいファームウェアのリリースノートを読み、アップデート後にルーターの再設定が必要かどうかを確認してください。

管理者パスワードの変更

この機能では、ルーター管理者のユーザー名 **admin** を使用して、NETGEAR genie (ルーター管理画面) にログインするためのデフォルトのパスワードを変更できます。このパスワードは、ワイヤレスアクセスに使用するパスワードとは異なります。

注意：ユーザー名 **admin** の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で 30 文字です。

➤ ユーザー名 **admin** のパスワードを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。

5. 古いパスワードを入力し、新しいパスワードを 2 か所に入力します。
6. パスワードを復元できるように、[パスワード復元を有効にする] チェックボックスを選択することができます。

パスワード復元を有効にすることを推奨します。

7. [適用] ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

管理者パスワードの復元

NETGEAR は、ルーター管理者のパスワードを変更した場合にパスワードの復元を有効にすることを推奨します。この復元プロセスは、Internet Explorer、Firefox、Chrome のブラウザでサポートされますが、Safari ブラウザーではサポートされません。

➤ パスワードの復元を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。
[新しいパスワード] 画面が表示されます。
5. [パスワード復元を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. セキュリティに関する 2 つの質問を選択し、それらの回答を入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

➤ パスワードを復元する：

1. ブラウザーのアドレス欄に「www.routerlogin.net」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
2. [キャンセル] ボタンをクリックします。
パスワード復元が有効な場合は、ルーターのシリアル番号の入力が求められます。
シリアル番号は、製品ラベルに記載されています。
3. ルーターのシリアル番号を入力します。
4. [続ける] ボタンをクリックします。
セキュリティの質問への回答を求める画面が表示されます。
5. セキュリティの質問に対する保存済みの回答を入力します。
6. [続ける] ボタンをクリックします。
復元されたパスワードが画面に表示されます。
7. [もう一度ログイン] ボタンをクリックします。
ログイン画面が表示されます。

8. 復元されたパスワードを使って、ルーターにログインします。

ルーターステータスの表示

▶ ルーターステータスと使用状況の情報を表示する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] タブをクリックします。



← ゲストネットワーク情報を見るためにはスクロールします

インターネットポート統計の表示

▶ インターネットポート統計を表示する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

4. NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. [高度] タブをクリックします。
NETGEAR genie の高度なホーム画面が表示されます。
6. [インターネットポート] のカテゴリで、[統計を表示] ボタンをクリックします。

システムの稼働時間 01:46:43							
ポート	ステータス	送信パケット数	受信パケット数	コリジョン	送信速度	受信速度	稼働時間
WAN	1000Mフル	1303	146272	0	14	2681	01:44:48
LAN 1	リンクダウン	12383	0	0	0	0	00:00:00
LAN 2	リンクダウン						00:00:00
LAN 3	リンクダウン						00:00:00
LAN 4	リンクダウン						00:00:00
WLAN b/g/n	600M	77147	52972	0	5013	1099	01:45:14
WLAN a/n/ac	1733M	0	0	0	0	0	01:44:49

サンプリング間隔: (secs) [間隔の設定] [停止]

以下の情報が表示されます。

- **システムの稼働時間**：ルーターが最後に再起動されてからの経過時間です。
 - **ポート**：WAN（インターネット）ポートとLAN（イーサネット）ポートの統計です。各ポートについて、画面に以下の情報が表示されます。
 - **ステータス**：ポートのリンクステータスです。
 - **送信パケット数**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで送信されたパケットの数です。
 - **受信パケット数**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで受信されたパケットの数です。
 - **コリジョン**：リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで発生したコリジョンの数です。
 - **送信速度**：WAN ポートやLAN ポートで使用された現在の送信速度です。
 - **受信速度**：WAN ポートやLAN ポートで使用された現在の受信速度です。
 - **稼働時間**：このポートが接続されてからの経過時間です。
 - **サンプリング間隔**：この画面で統計が更新される間隔です。
7. サンプリングの周期を変更するには、[サンプリング間隔] 欄に時間を秒単位で入力し、[間隔の設定] ボタンをクリックします。
完全にサンプリングを停止するには、[停止] ボタンをクリックします。

インターネット接続ステータスの確認

- ▶ インターネット接続ステータスを確認する：
 1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] タブをクリックします。

NETGEAR genie の高度なホーム画面が表示されます。

5. [インターネットポート] のカテゴリで、[接続ステータス] ボタンをクリックします。

接続ステータス	
IPアドレス	10.110.1.175
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.110.1.13
DHCP サーバー	10.110.1.2
DNS サーバー	10.1.1.7 10.1.1.6
リース取得	8日, 0時, 0分
リース期限	7日, 22時, 12分

以下の情報が表示されます。

- **IP アドレス**：ルーターに割り当てられている IP アドレスです。
 - **サブネットマスク**：ルーターに割り当てられているサブネットマスクです。
 - **デフォルトゲートウェイ**：ルーターが通信するデフォルトゲートウェイの IP アドレスです。
 - **DHCP サーバー**：ルーターに接続されているすべての PC に対して TCP/IP 設定を提供する DHCP サーバーの IP アドレスです。
 - **DNS サーバー**：ネットワーク名から IP アドレスへの変換機能を提供する DNS サーバーの IP アドレスです。
 - **リース取得**：リースが取得された日付と時刻です。
 - **リース期限**：リースが期限切れになる日付と時刻です。
6. 全項目のステータスを 0 に戻すには、[リリース] ボタンをクリックします。
7. 画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。
8. この画面を終了するには、[ウィンドウを閉じる] ボタンをクリックします。

ルーターアクティビティのログの表示と管理

ログは、アクセスしたサイトやアクセスしようとしたサイト、その他のルーターアクティビティの詳細な記録です。ログには最大 256 のエントリが保存されます。

▶ ログを表示および管理する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

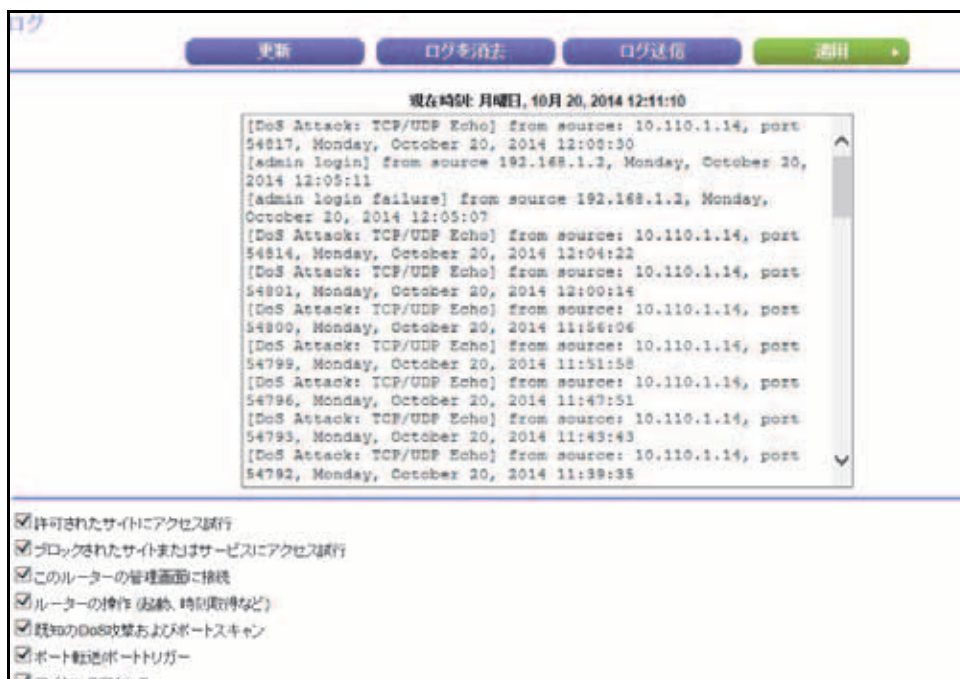
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [ログ] を選択します。



[ログ] 画面には以下の情報が表示されます。

- **アクション**：インターネットアクセスがブロックされた、または許可されたなどの、発生したアクションです。
- **ソース IP**：このログの発生元の機器の IP アドレスです。
- **ターゲットアドレス**：アクセスしたウェブサイトやニュースグループの名前または IP アドレスです。
- **日付と時刻**：ログエントリが記録された日付と時刻です。

5. ログをカスタマイズするには、下にスクロールして、チェックボックスを選択するか選択を解除します。

ログ画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

ログを消去するには、[ログを消去] ボタンをクリックします。

ログを直ちにメールで送信するには、[ログ送信] ボタンをクリックします。

トラフィックメーター

トラフィックメーターを使用すると、ルーターのインターネットポートを通過するインターネットトラフィックの量を監視したり、ラフィック量の制限を設定したりできます。

▶ インターネットトラフィックを監視する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [トラフィックメーター] を選択します。

トラフィックメーター

インターネットトラフィックメーター

トラフィックメーターを有効にする

単一トラフィック容量の制御: [制限なし] ▼

月次制限: [0] (MiB)

各接続のデータ容量をアップ/ダウン

月次制限: [0] (MiB)

接続時間制限

月次制限: [0] (時)

トラフィックカウンター

トラフィックカウンターのリセット: [0] : [00] [am ▼] [1st ▼] 日 (毎月)

カウンターリセットする

トラフィック制限

警告メッセージを表示

0 制限分で月次制限に達します

月次制限に達した時の対応

インターネット接続の色を赤に点滅させる

インターネット接続を切断し、無効にする

インターネットトラフィック統計

現在の日時: 水曜日, 10月 2014 00:00 午前

現在の日時: 月曜日, 20 10月 2014 10:23 午前

昨日のトラフィック容量: 0 MiB

期間	経過時間 (時:分)	アップロード平均	トラフィック容量 (MiB)	ダウンロード平均	合計平均

← さらに設定を表示するにはスクロールします

5. [トラフィックメーターを有効にする] チェックボックスを選択します。
6. (オプション) インターネットトラフィックの容量を制御します。
トラフィック容量の制御または接続時間制御のいずれかを使用できます。

- **【トラフィック容量の制御：】** ラジオボタンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **制限なし：** トラフィック容量の限度に達しても制限を適用しません。
 - **ダウンロードのみ：** 制限は受信トラフィックにのみ適用されます。
 - **双方向：** 制限は受信と送信双方のトラフィックに適用されます。
 - **【接続時間制御】** ラジオボタンを選択し、許可する時間数を **【月次制限】** 欄に入力します。
7. (オプション) 新しい接続を作成するとプロバイダーが追加のデータ容量に対して課金する場合は、**【各接続のデータ容量をラウンドアップ】** 欄に、その追加データ容量を MB 単位で入力します。
 8. **【トラフィックカウンター】** 欄で、特定の日時に始まるようにトラフィックカウンターを設定します。
 トラフィックカウンターを直ちに始めたい場合は、**【カウンターをリセットする】** ボタンをクリックします。
 9. **【トラフィック制御】** セクションで、月次制限の MB 数または時間数に達する前に、ルーターから警告メッセージを発行する必要があるかどうかを指定します。
 デフォルトの値は 0 で、警告メッセージは発行されません。制限に達したときに以下のいずれかを行うように選択できます。
 - インターネット LED を白またはオレンジで点滅させる。
 - インターネット接続を切断し、無効にする。
 10. **【適用】** ボタンをクリックします。
【インターネットトラフィック統計】 セクションは、データトラフィックの監視に役立ちます。
 11. **【インターネットトラフィック統計】** セクションを更新するには、**【更新】** ボタンをクリックします。
 12. ルーター上のデータトラフィックに関する詳細情報を表示したり、サンプリング間隔を変更するには、**【トラフィックステータス】** ボタンをクリックします。

カスタムの静的ルート

通常は、ネットワーク上でルーターや IP サブネットを複数使用する場合を除き、静的ルートを追加する必要はありません。

静的ルートが必要とされる例として、次の場合が考えられます。

- 主要なインターネットアクセスが、プロバイダーへのケーブルモデム経由である。
- ホームネットワークに、勤務先企業に接続するための ISDN ルーターが組み込まれている。このルーターの LAN 上のアドレスは 192.168.1.100 である。
- 勤務先企業のネットワークアドレスは 134.177.0.0 である。

ルーターをセットアップしたときに、絶対的な静的ルートが 2 つ作成されました。デフォルトのルートは、プロバイダーによりゲートウェイとして作成され、2 つ目の静的ルートは、

すべての 192.168.1.x アドレスのローカルネットワークに対して作成されました。この設定では、134.177.0.0 ネットワーク上の機器にアクセスしようとする、ルーターはリクエストをプロバイダーに転送します。プロバイダーはリクエストを勤務先企業に転送し、このリクエストは企業のファイアウォールでおそらく拒否されます。

この場合、静的ルートを定義し、192.168.1.100 にある ISDN ルーター経由で 134.177.0.0 にアクセスする必要があることをルーターに伝える必要があります。以下に例を示します。

- [ターゲット IP アドレス] 欄と [サブネットマスク] 欄で、この静的ルートをすべての 134.177.x.x アドレスに適用することを指定します。
- [ゲートウェイ IP アドレス] 欄で、これらのアドレスに対するすべてのトラフィックを 192.168.1.100 にある ISDN ルーターに転送するよう指定します。
- ISDN ルーターは LAN 上にあるため、メトリック値として 1 を指定すれば正しく機能します。
- [プライベート] は、RIP が有効になっている場合のセキュリティ対策としてのみ選択します。

静的ルートの設定

➤ 静的ルートを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面の表示が変更されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
[静的ルート] 画面が表示されます。
5. [追加] ボタンをクリックします。
画面の表示が変更されます。

6. [ルート名] 欄に、この静的ルートの名前を入力します（識別目的のみ）。

7. アクセスを LAN のみに制限したい場合は、**[プライベート]** チェックボックスを選択します。
[プライベート] チェックボックスが選択されている場合、この静的ルートは RIP で報告されません。
8. **[アクティブ]** チェックボックスを選択し、このルートを有効にします。
9. 目的地の **[ターゲット IP アドレス]** を入力します。
10. この目的地の IP サブネットマスクを入力します。
目的地がシングルホストの場合は、**255.255.255.255** と入力します。
11. **[ゲートウェイ IP アドレス]** を入力します。このアドレスは、ルーターと同じ LAN セグメント上にある必要があります。
12. **[メトリック]** の欄に 1 ~ 15 の数字を入力します。
この値は、現在のネットワークと目的地の間にあるルーターの数を表します。通常は 2 または 3 に設定すれば正しく機能しますが、直接接続の場合は 1 に設定します。
13. **[適用]** ボタンをクリックします。
静的ルートが追加されます。

静的ルートの編集

➤ 静的ルートを編集する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[静的ルート]** を選択します。
[静的ルート] 画面が表示されます。
5. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. **[編集]** ボタンをクリックします。
[静的ルート] 画面の内容が変わります。
7. ルート情報を編集します。
8. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

静的ルートの削除

➤ 静的ルートを削除する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [静的ルート] を選択します。
[静的ルート] 画面が表示されます。
5. 表で、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. [削除] ボタンをクリックします。
表からルートが削除されます。

ネットワーク上にある機器の表示

現在ネットワークに接続されているすべての PC や機器を表示できます。

➤ ネットワーク上にある機器を表示する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [接続デバイス] を選択します。

接続デバイス				
アドレス		アクセス制御: オフ		更新
	接続タイプ	デバイス名	IPアドレス	MACアドレス
<input type="radio"/>	2.4Gワイヤレス	SANAEHIRAWA-PC	192.168.1.2	60:67:20:88:C8:1C

[有線機器] セクションに、LAN ケーブルでルーターに接続されている機器のリストが表示されます。その他のセクションには、ワイヤレスネットワークの各ワイヤレス帯に接続されている機器のリストが表示されます。無線 LAN 機器の以下の情報が表示されます。

- **接続タイプ**：有線か、または無線 (ワイヤレス) の接続です。
- **デバイス名**：機器の名前が認識されている場合は、ここに表示されます。
- **IP アドレス**：この機器がネットワークに接続したときにルーターから割り当てられた IP アドレスです。この数値は、機器がネットワークから切断され、再度接続すると変わることがあります。
- **MAC アドレス**：各機器の一意の MAC アドレスで、変更されることはありません。MAC アドレスは通常、製品ラベルに記載されています。

5. 画面を更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

ルーター設定ファイルの管理

ルーターの設定は、ルーター内の設定ファイルに保存されます。このファイルは、PC にバックアップ (保存) したり、復元したり、工場出荷時の初期設定に戻したりすることができます。

設定のバックアップ

▶ ルーターの設定をバックアップする：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。



5. [バックアップ] ボタンをクリックします。
6. ネットワーク上の場所を指定し、現在の設定のコピーを保存します。

設定の復元

➤ バックアップした設定を復元する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
[設定のバックアップ] 画面が表示されます。
5. [参照] ボタンをクリックし、.cfg ファイルを見つけて選択します。
6. [復元] ボタンをクリックします。
ファイルがルーターにアップロードされ、ルーターが再起動します。



警告：

再起動プロセスを中断しないでください。

現在の設定の消去

現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定に復元することができます。この操作は、ルーターを別のネットワークに移動した場合にも実行することもできます。(169 ページの [工場出荷時の設定](#) を参照してください。)

➤ 設定を消去する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。
[設定のバックアップ] 画面が表示されます。

5. [消去] ボタンをクリックします。

工場出荷時の初期設定に復元されます。ユーザー名は admin、パスワードは password、LAN IP アドレスは 192.168.1.1 になります。DHCP が有効になります。

リモート管理

インターネット経由でルーターにアクセスして、ルーターの設定を表示または変更することができます。この機能を使用するには、ルーターの WAN IP アドレスを知っている必要があります。ダイナミック DNS を使用したリモートアクセスについては、[第 7 章 インターネットからのストレージドライブへのアクセス](#)を参照してください。

注意：ユーザー名 admin の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で 30 文字です。100 ページの [管理者パスワードの変更](#) を参照してください。

➤ リモート管理を設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [リモート管理] を選択します。

5. [リモート管理を有効にする] チェックボックスを選択します。
6. [次のリモートアクセスを許可] セクションで、ルーターのリモート管理にアクセスすることを許可する外部 IP アドレスを指定します。

注意： 安全性を高めるためには、アクセスをできるだけ限られた外部 IP アドレスのみに限定することを推奨します。

以下のいずれかを選択します。

- **このコンピューターのみ：** インターネットの 1 つの IP アドレスからのアクセスを許可します。アクセスを許可する IP アドレスを入力します。
- **IP アドレス範囲：** インターネットの一定の範囲の IP アドレスからのアクセスを許可します。開始 IP アドレスと終止 IP アドレスを入力し、許可する範囲を定義します。
- **全員：** インターネットのすべての IP アドレスからのアクセスを許可します。

7. NETGEAR genie（ルーター管理画面）にアクセスするためのポート番号を指定します。

通常のウェブブラウザアクセスでは、標準 HTTP サービスのポート 80 が使用されません。安全を高めるためには、リモートウェブ管理画面用のカスタムポート番号を入力してください。1024 から 65535 までの番号を選択してください。ただし、共通サービスポートの番号は使用しないでください。デフォルトは 8080 です。これは、HTTP 用の一般的な代替ポート番号です。

8. [適用] ボタンをクリックします。

変更が有効になります。

➤ **リモートアクセスを使用する：**

1. ホームネットワーク上にない PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを起動します。
2. ルーターの WAN IP アドレスをブラウザのアドレス欄や場所の欄に入力し、コロン (:) で区切ってからカスタムポート番号を入力します。

例えば、外部アドレスが 134.177.0.123 で、ポート番号 8080 を使用する場合、ブラウザには **http://134.177.0.123:8080** と入力します。

ルーターには、ワイヤレス、イーサネット、USB の接続が用意されています。ルーターのネットワーク設定はカスタマイズすることができます。ルーターのネットワーク設定を変更する前に、ルーターを設置してインターネットに接続することを推奨します。

この章には次の内容が含まれます。

- [WAN 設定の表示](#)
- [デフォルト DMZ サーバーの設定](#)
- [ルーター名の変更](#)
- [LAN TCP/IP 設定の変更](#)
- [ルーターが割り当てる IP アドレスの指定](#)
- [ルーターの DHCP サーバー機能の無効化](#)
- [予約 LAN IP アドレスの管理](#)
- [無線 LAN 接続での WPS ウィザードの使用](#)
- [基本ワイヤレス設定](#)
- [ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更](#)
- [ビデオネットワークの有効化](#)
- [ゲストネットワークの設定](#)
- [ビデオネットワークの有効化](#)
- [無線 LAN のオン/オフ](#)
- [無線 LAN スケジュールの設定](#)
- [WPS 設定](#)
- [無線 LAN アクセスポイントとしてのルーターの使用](#)
- [ブリッジモードでのルーターの使用](#)

WAN 設定の表示

WAN 設定を表示または設定できます。非武装地帯（DMZ）サーバーの設定、MTU サイズの変更、WAN（インターネット）ポートに対するルーターの ping への応答有効化などを行うことができます。

▶ WAN 設定を表示する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。

次の設定が表示されます。

- **ポートスキャンと DoS 保護を無効にする**：DoS 保護では、SYN flood 攻撃、Smurf 攻撃、Ping of Death (PoD)、その他多くの攻撃から LAN を保護します。特殊な状況でのみ、このチェックボックスを選択してください。
- **デフォルト DMZ サーバー**：この機能は、オンラインゲームまたはビデオ会議で役立つことがあります。ファイアウォールのセキュリティが低下します。117 ページの [デフォルト DMZ サーバーの設定](#) を参照してください。
- **インターネットポートへの Ping にตอบสนองする**：ルーターの検出を許可します。診断ツールとしてのみ、または特別な理由がある場合のみ、この機能を使用してください。
- **IGMP プロキシを無効にする**：IGMP プロキシを使用すると、ローカルエリアネットワーク（LAN）上の PC が、対象となるマルチキャストトラフィックをインターネットから受信できるようになります。この機能が必要ない場合は、このチェックボックスを選択して無効にすることができます。
- **MTU サイズ (バイト)**：ほとんどのイーサネットネットワークの場合、通常の MTU 値は 1500 バイト、PPPoE 接続の場合は 1492 バイトです。プロバイダー接続で必要

なことが確実な場合のみ、MTU を変更してください。38 ページの [MTU サイズの変更](#) を参照してください。

- **NAT フィルタ**：ネットワークアドレス変換 (NAT) は、ルーターが受信トラフィックを処理する方法を決定します。[安全] な NAT は、LAN 上の PC をインターネットからの攻撃から保護しますが、一部のインターネットゲーム、ポイントツーポイントアプリケーション、マルチメディアアプリケーションが動作しなくなることがあります。[オープン] な NAT は、ファイアウォールの安全性が大幅に低下しますが、ほぼすべてのインターネットアプリケーションが動作できます。

5. [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。

デフォルト DMZ サーバーの設定

デフォルト DMZ サーバー機能は、NAT と互換性のないオンラインゲームやビデオ会議アプリケーションを使用しているときに便利です。ルーターは、このようなアプリケーションの一部を認識して正しく処理するようにプログラムされていますが、正しく機能しないアプリケーションもあります。ローカル PC の IP アドレスをデフォルト DMZ サーバーとして入力していれば、その PC でアプリケーションを正しく実行できる場合もあります。



警告：

DMZ サーバーにはセキュリティ上のリスクがあります。デフォルト DMZ サーバーとして指定された PC は、ファイアウォールの保護を失い、インターネットの危険にさらされることとなります。万が一障害が発生すると、DMZ サーバーの PC はネットワーク上の他の PC を攻撃するために使われる可能性もあります。

通常、インターネットからの受信トラフィックがローカル PC や、[ポート転送 / ポートトリガー] 画面で設定したサービスに反応しない限り、ルーターはそのトラフィックを検出して破棄します。トラフィックを破棄する代わりに、トラフィックをネットワーク上の PC に転送するように指定できます。そのような PC は、デフォルト DMZ サーバーと呼ばれます。

▶ デフォルト DMZ サーバーを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [WAN 設定] を選択します。

[WAN 設定] 画面が表示されます。

5. [デフォルト DMZ サーバー] チェックボックスを選択します。
6. IP アドレスを入力します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
変更が有効になります。

ルーター名の変更

ルーターのデフォルトの機器名は R7500 です。この名前は変更することができます。

▶ ルーター名を変更する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
[LAN 設定] 画面が表示されます。
5. [デバイス名] の欄に、新しい名前を入力します。
6. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

LAN TCP/IP 設定の変更

ルーターは、LAN 側でプライベート IP アドレスを使用し、DHCP サーバーとして動作するようにあらかじめ設定されています。ルーターのデフォルト LAN IP 設定は次のとおりです。

- LAN IP アドレス : 192.168.1.1
- サブネットマスク : 255.255.255.0

これらのアドレスは、プライベートネットワーク内で使用する指定プライベートアドレスの範囲内であり、ほとんどのアプリケーションに適しています。ネットワークで別の IP アドレス指定スキームが必要な場合は、設定を変更できます。

ネットワーク上の 1 台以上の機器で使用する特定の IP サブネットが必要な場合、または同じ IP スキームを使用する競合サブネットを使用する場合、これらの設定を変更できます。

➤ LAN TCP/IP 設定を変更する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。

5. [IP アドレス] の欄に、IP アドレスを入力します。
6. [サブネットマスク] の欄に、ルーターのサブネットマスクを入力します。
IP アドレスと組み合わせて、サブネットマスクはどのアドレスがローカルであり、どのアドレスがゲートウェイやルーターを通さなければならないかを機器に知らせることができます。
7. RIP 設定を変更します。
RIP は、ルーター同士のルーティング情報のやり取りを可能にします。
 - a. RIP の方向を選択します。
 - **両方**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストし、受信する情報を追加します。
 - **送信のみ**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストします。
 - **受信のみ**：ルーターは、受信する RIP 情報を追加します。
 - b. RIP のバージョンを選択します。
 - **無効**：これはデフォルトの設定です。
 - **RIP バージョン 1**：この形式は、ユニバーサルにサポートされています。正常なネットワーク設定を使用している場合、ほとんどのネットワークで利用できます。

- **RIP バージョン 2** : この形式では、より多くの情報を伝送します。RIP バージョン 2 (ブロードキャスト) と RIP バージョン 2 (マルチキャスト) はどちらも RIP バージョン 2 形式でルーティングデータを送信します。RIP バージョン 2 (ブロードキャスト) はサブネットブロードキャストを使用します。RIP-2M はマルチキャストを使用します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。
ルーターの LAN IP アドレスを変更した場合は、この変更が有効になると接続が切断されます。
 9. 再接続するには、ブラウザを閉じてから再起動し、ルーターにログインします。

ルーターが割り当てる IP アドレスの指定

デフォルトで、ルーターは DHCP サーバーとして動作します。ルーターは、LAN に接続しているすべての PC に対して、IP アドレス、DNS サーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

これらのアドレスは、ルーターの LAN IP アドレスと同じ IP アドレスサブネットに属している必要があります。デフォルトのアドレス割り当て方式を使用した場合は 192.168.1.2 から 192.168.1.254 の範囲を指定しますが、固定アドレスを使用する機器用に範囲の一部を確保しておくことができます。

- **ルーターが割り当てる IP アドレスのプールを指定する :**
 1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。

5. [ルーターを DHCP サーバーとして使用する] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ルーターが割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。
- [開始 IP アドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内で IP アドレスプールの開始アドレスを入力します。
この IP アドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。
 - [終了 IP アドレス] の欄に、ルーターと同じサブネット内で IP アドレスプールの終了アドレスを入力します。
この IP アドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ルーターは、DHCP を要求するすべての LAN 機器に対して、次のパラメーターを配信します。

- 指定した範囲内の IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイの IP アドレス (ルーターの LAN IP アドレス)
- DNS サーバーの IP アドレス (ルーターの LAN IP アドレス)

ルーターの DHCP サーバー機能の無効化

デフォルトで、ルーターは DHCP サーバーとして動作します。ルーターは、LAN に接続しているすべての PC に対して、IP アドレス、DNS サーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターの LAN アドレスです。

ネットワーク上の別の機器を DHCP サーバーとして使用したり、すべての PC のネットワーク設定を指定したりすることもできます。

- ルーターの DHCP サーバー機能を無効にする：
1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
 4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
 5. [ルーターを DHCP サーバーとして使用する] チェックボックスのチェックを外します。
 6. [適用] ボタンをクリックします。
 7. (オプション) このサービスが無効のときに、ネットワーク上に他の DHCP サーバーがない場合は、PC の IP アドレスを手動で設定して PC がルーターにアクセスできるようにします。

予約 LAN IP アドレスの管理

LAN 上で PC に予約 IP アドレスを指定した場合、その PC はルーターの DHCP サーバーにアクセスするたびに同じ IP アドレスを受信します。予約 IP アドレスは永久 IP 設定の必要な PC またはサーバーに割り当てます。

IP アドレスの予約

- IP アドレスを予約する：
1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
 2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
 3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
 4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
[LAN 設定] 画面が表示されます。
 5. 画面の [予約アドレステーブル] のカテゴリで、[追加] ボタンをクリックします。
 6. [IP アドレス] の欄に、PC またはサーバーに割り当てる IP アドレスを入力します。
IP アドレスはルーターの LAN サブネット（192.168.1.x など）から選択してください。

7. PC またはサーバーの MAC アドレスを入力します。

メモ :すでに PC がネットワーク上にある場合は、その MAC アドレスを [接続デバイス] 画面からコピーしてここに貼り付けることができます。

8. [適用] ボタンをクリックします。
予約アドレスが表に入力されます。

予約アドレスは、この PC がルーターの DHCP サーバーに次回アクセスするまで割り当てられません。PC を再起動するか、または PC の IP 設定にアクセスして強制的に DHCP をリリースして更新します。

予約 IP アドレスの編集

▶ 予約アドレスエントリを編集する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。
[LAN 設定] 画面が表示されます。
5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
6. [編集] ボタンをクリックします。
7. 設定を変更します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

予約 IP アドレスエントリの削除

▶ 予約アドレスエントリを削除する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [設定] > [LAN 設定] を選択します。

[LAN 設定] 画面が表示されます。

5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。

6. [削除] ボタンをクリックします。

アドレスが削除されます。

無線 LAN 接続での WPS ウィザードの使用

WPS ウィザードを使用すると、無線 LAN のパスワードを入力しなくても、PC や無線 LAN 子機を無線 LAN のネットワークに追加できます。

▶ WPS ウィザードを使用する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。

2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [WPS ウィザード] を選択します。

WPS に関する説明が表示されます。

5. [次へ] ボタンをクリックします。

6. 設定方法を選択します。

- **プッシュボタン**：画面に表示される [WPS] ボタンをクリックします。

- **PIN**：画面が調整されます。クライアントセキュリティ PIN を入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

7. 2 分以内に、無線 LAN 子機で WPS ソフトウェアを使用してワイヤレスネットワークに接続します。

接続すると、WPS プロセスによって無線 LAN 子機にネットワークパスワードが自動的に設定されます。ルーターの WPS 画面に、確認メッセージが表示されます。

基本ワイヤレス設定

ルーターには、セキュリティがあらかじめ設定されています。つまり、ネットワーク名 (SSID)、ネットワークキー (パスワード)、セキュリティオプションが工場出荷時に設定されています。デフォルトの SSID とパスワードは、ルーターのラベルで確認できます。

注意：セキュリティを高めるため、デフォルトの SSID とパスワードは、機器ごとに一意です。

NETGEAR では、デフォルトのセキュリティ設定は変更しないことを推奨します。デフォルトのセキュリティ設定を変更する場合は、新しい設定をメモしておき、簡単に探せる安全な場所に保管してください。

無線 LAN 子機から SSID またはその他のセキュリティ設定を変更する場合、[適用] ボタンをクリックすると無線 LAN 接続が切断されます。この問題を回避するため、有線接続でルーターにアクセスしてください。

➤ 基本ワイヤレス設定を指定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ワイヤレス] を選択します。

2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の設定を指定できます。

5. **[地域]** は、ルーターが使われている場所を示します。
この項目は変更できません。
6. SSID ブロードキャストを管理するには、**[SSID ブロードキャストを有効にする]** チェックボックスを選択、または選択を解除します。
このチェックボックスが選択されている場合、ルーターはネットワーク名をブロードキャストします。PC や無線 LAN 子機で無線 LAN のネットワークをスキャンしたときにネットワーク名 (SSID) が表示されるようになります。
7. ネットワーク名 (SSID) はデフォルトのままにしておくことを推奨します。変更するには、新しい名前を **[ネットワーク名 (SSID)]** の欄に入力します。
名前は 32 文字までで、大文字と小文字を区別します。デフォルトの SSID はランダムに生成され、ルーターのラベルに記載されています。名前を変更する場合は、新しい名前を書き留めて、安全な場所に保管してください。
8. 無線 LAN チャンネルを変更するには、番号を **[チャンネル]** ドロップダウンリストで選択します。
一部の地域では、利用できないチャンネルがあります。干渉（接続が失われたり、データ転送速度が低下したりする）が発生しない限り、チャンネルを変更しないでください。干渉が発生する場合は、別のチャンネルを試してみてください。
複数のアクセスポイントを使用する場合は、干渉を抑えるために近隣のアクセスポイントで異なるチャンネルを使用することを推奨します。近隣のアクセスポイント間で推奨されるチャンネル間隔は、4 チャンネルです（例えば、チャンネル 1 と 5 や、6 と 10 を使用します）。
9. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
ネットワークに無線で接続していて SSID を変更した場合は、ネットワークから切断されます。
10. ネットワークに新しい設定で無線接続できることを確認します。
無線接続できない場合は、次の点を確認してください。
 - ご利用の無線 LAN 子機がエリア内の別のワイヤレスネットワークに接続していませんか？一部の無線 LAN 子機は、最初に検出されたネットワークに自動的に接続します。
 - ご利用の無線 LAN 子機が（設定を変更する前の）古い設定でネットワークに接続していませんか？その場合は、無線 LAN 子機の接続情報を更新し、ネットワークの現在の設定と一致させます。

ワイヤレス転送速度の変更

高速送信のデータ転送速度は通常、メガビット / 秒 (Mbps) で示されます。デフォルトでは、ルーターは、2.4 GHz ワイヤレス帯で最大 600 Mbps、5 GHz ワイヤレス帯で最大 1,733 Mbps で動作するように設定されています。それより遅い設定を選択することができます。

▶ **ワイヤレス転送速度を変更する：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ワイヤレス]** を選択します。

5. 2.4 GHz ワイヤレス帯の場合は、画面の **[ワイヤレスネットワーク (2.4 GHz b/g/n)]** セクションで、**[モード]** ドロップダウンリストから設定を選択します。
[最大 600 Mbps] がデフォルト設定です。その他に **[最大 289 Mbps]** と **[最大 54 Mbps]** を選択できます。
6. 5GHz ワイヤレス帯の場合は、**[モード]** ドロップダウンリストから設定を選択します。
[最大 1733 Mbps] がデフォルト設定で、802.11ac と 802.11a 無線 LAN 子機がネットワークに接続できます。その他に **[最大 800 Mbps]** と **[最大 347 Mbps]** を選択できます。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ワイヤレスパスワードまたはセキュリティレベルの変更

ルーターには、WPA2 または WPA セキュリティがデフォルトで設定されています。ネットワークに接続するために入力するパスワードは、ルーターごとに一意で、ルーターのラベル

に記載されています。NETGEAR ではデフォルトのセキュリティを使用することを推奨しますが、その設定は変更することができます。セキュリティは無効にしないことを推奨します。

➤ **WPA 設定を変更する：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[ワイヤレス]** を選択します。
[ワイヤレス設定] 画面が表示されます。
5. **[セキュリティオプション]** で、WPA オプションを選択します。
WPA2 は最も強力なセキュリティの規格で、これがデフォルトの設定になっています。
[パスワード] の欄が表示されます。
6. **[パスワード]** 欄に、ネットワークキー（パスワード）を入力します。
8 ～ 63 文字のテキスト文字列です。
7. 新しいパスワードをメモしておき、将来参照できるように安全な場所に保管します。
8. **[適用]** ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ビデオネットワークの有効化

ゲストネットワークを使用すると、ゲストユーザーに、無線 LAN のセキュリティキーを知らせずにインターネットを使用してもらうことができます。最適な HD ストリーミングパフォーマンスをゲストに提供するには、5 GHz ゲストビデオネットワークを有効にすることができます。このビデオネットワーク機能を有効にすると、ルーターはビデオ信頼性アルゴリズムを使用して、ビデオストリーミング時の不安定さとパケット損失を軽減します。

➤ **ビデオネットワークを有効にする：**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ワイヤレス] を選択します。
[ワイヤレス設定] 画面が表示されます。
5. 画面の [ワイヤレスネットワーク (5 GHz 802.11a/n/ac)] セクションまでスクロールします。
6. [ビデオネットワークを有効にする] チェックボックスを選択します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

ゲストネットワークの設定

ゲストネットワークを使用すると、ゲストユーザーに、無線 LAN のセキュリティキーを知らせずにインターネットを使用してもらうことができます。ゲストネットワークは、2.4 GHz ワイヤレス帯と 5 GHz ワイヤレス帯で追加できます。

▶ ゲストネットワークを設定する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ゲストネットワーク] を選択します。

5. 設定したいゲストワイヤレスネットワークの画面セクションまでスクロールします。
デフォルトのゲストワイヤレスネットワーク名（SSID）は次のとおりです。

- [NETGEAR-Guest] は、2.4 GHz ワイヤレス帯用です。
- [NETGEAR-5G-Guest] は、5 GHz ワイヤレス帯用です。

6. [SSIDブロードキャストを有効にする] チェックボックスは選択したままにします。

ルーターがネットワーク名（SSID）をブロードキャストできるようにすると、ネットワークを見つけて接続するのが容易になります。このチェックボックスのチェックを外した場合は、ネットワーク名（SSID）が非表示になります。

7. ゲストネットワークの名前を指定します。

ゲストネットワーク名は、大文字と小文字を区別し、最大 32 文字使用できます。メインの SSID だけでなくゲストネットワーク名を使用するようにネットワーク内の無線 LAN 子機を手動で設定します。

8. ワイヤレスのチャンネルとモードは、デフォルトの設定を選択したままにします。

9. セキュリティオプションを選択します。

WPA2 は最も強力なセキュリティの規格で、これがデフォルトの設定になっています。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ゲストネットワークでのビデオネットワークの有効化

ゲストネットワークを使用すると、ゲストユーザーに、無線 LAN のセキュリティキーを知らせずにインターネットを使用してもらうことができます。最適な HD ストリーミングパフォーマンスをゲストに提供するには、5 GHz ゲストビデオネットワークを有効にすることができます。このビデオネットワーク機能を有効にすると、ルーターはビデオ信頼性アルゴリズムを使用して、ビデオストリーミング時の不安定さとパケット損失を軽減します。

▶ ゲストネットワークを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [ゲストネットワーク] を選択します。

The screenshot shows the 'Guest Network Settings' page with the following details:

- Wireless Settings (2.4GHz b/g/n):**
 - Guest Network enabled
 - SSID broadcast enabled
 - Guest visibility: Allow local network access
 - Guest Wireless Network Name (SSID): NETGEAR-Guest
- Security Profile:**
 - None (selected)
 - WPA2-PSK [AES]
 - WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]
 - WPA/WPA2 Enterprise
- Wireless Settings (5GHz 802.11a/n/ac):**
 - Guest Network enabled
 - SSID broadcast enabled
 - Video Network enabled
 - Guest visibility: Allow local network access
 - Guest Wireless Network Name (SSID): NETGEAR-5G-Guest
- Security Profile:**
 - None (selected)
 - WPA2-PSK [AES]
 - WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]

5. 画面の [ワイヤレス設定 (5 GHz 802.11a/n/ac)] セクションまでスクロールします。
6. [ビデオネットワークを有効にする] チェックボックスを選択します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

無線 LAN のオン / オフ

ルーターの 2.4 GHz と 5 GHz 無線 LAN シグナルはデフォルトではオンになっていますが、無線 LAN をオフにして、LAN ケーブルを使用してルーターに有線接続することもできます。

ルーターの無線 LAN のオン / オフを切り替えるには、ルーター前面の**無線 LAN オン / オフ** ボタンを使用するか、またはルーターにログインして無線 LAN を有効化または無効化します。**無線 LAN のオン / オフ**は、スケジュールに基づいて切り替えることもできます(133 ページの**無線 LAN スケジュールの設定**を参照してください)。

無線 LAN オン / オフボタンの使用

- ▶ **無線 LAN オン / オフボタンを使用して無線 LAN のオン / オフを切り替える :**

ルーターの前面にあるワイヤレスオン / オフボタンを 2 秒間押します。

無線 LAN をオフにすると、無線 LAN オン / オフ LED と WPS LED が消灯します。無線 LAN をオンにすると、無線 LAN オン / オフ LED と WPS LED が点灯します。

無線 LAN の有効化または無効化

無線 LAN オン / オフボタンを使用して無線 LAN をオフにした場合は、オンに戻すためにルーターにログインすることはできません。もう一度**無線 LAN オン / オフボタン**を 2 秒間押して、無線 LAN をオンに戻す必要があります。

- ▶ **ルーターにログインして無線 LAN を有効化または無効化する :**

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。

5. 画面の 2.4 GHz と 5 GHz のセクションで、[ワイヤレスルーターの無線を有効にする] チェックボックスを選択または選択解除します。

これらのチェックボックスの選択を解除すると、2.4GHz/5GHzそれぞれのルーターの無線機能がオフになります。

6. [適用] ボタンをクリックします。

2.4 GHz と 5 GHz 両方の無線 LAN をオフにすると、無線 LAN オン/オフ LED と WPS LED の両方が消灯します。無線 LAN をオンにすると、無線 LAN オン/オフ LED と WPS LED が点灯します。

無線 LAN スケジュールの設定

無線 LAN 接続が必要ない時間にルーターからの無線信号をオフにすることができます。例えば、週末不在にする間にオフにすることができます。

➤ 無線 LAN スケジュールを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。
5. [新しい期間を追加] ボタンをクリックします。

6. ドロップダウンリスト、ラジオボタン、チェックボックスを使用して、無線 LAN 信号をオフにする期間を設定します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。
8. [スケジュールに基づいてワイヤレス信号をオフにする] チェックボックスを選択してスケジュールを有効にします。
9. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

WPS 設定

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用すると、無線 LAN のパスワードを入力しなくても無線 LAN ネットワークに参加できます。

▶ WPS 設定を指定する :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定] を選択します。
[ルーターの PIN] の欄に、WPS を利用してルーターの無線 LAN 設定を行うためにレジストラ (例 : Windows Vista のマイネットワーク) で使用する PIN 番号が表示されます。

5. (オプション) [ルーターの PIN を有効にする] チェックボックスを選択、またはチェックを外します。

WPS 経由でルーターの PIN を使用して、ルーターの無線 LAN 設定に侵入しようとする疑いがルーターで検出されると、PIN 機能は一時的に無効になります。PIN 機能を手動で有効にするには、[ルーターの PIN を有効にする] チェックボックスを選択します。

6. (オプション) [既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスを選択、または選択を解除します。

デフォルトでは、[既存のワイヤレス設定を適用する] チェックボックスが選択されています。このチェックボックスは選択されたままにすることを推奨します。

このチェックボックスの選択を解除した場合、次に新しい無線 LAN 子機が WPS を使用してルーターに接続すると、ルーターの無線 LAN 設定が変更されて、自動的に生成されたランダムな SSID とネットワークキー (パスワード) になります。

7. [適用] ボタンをクリックします。

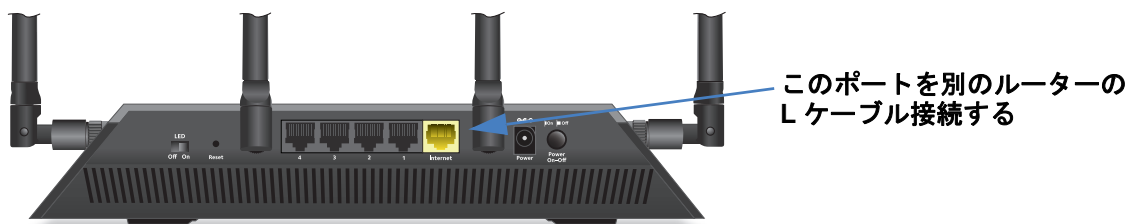
変更内容が保存されます。

無線 LAN アクセスポイントとしてのルーターの使用

ルーターを別のルーターと同じローカルネットワークのアクセスポイント (AP) として動作するように設定できます。

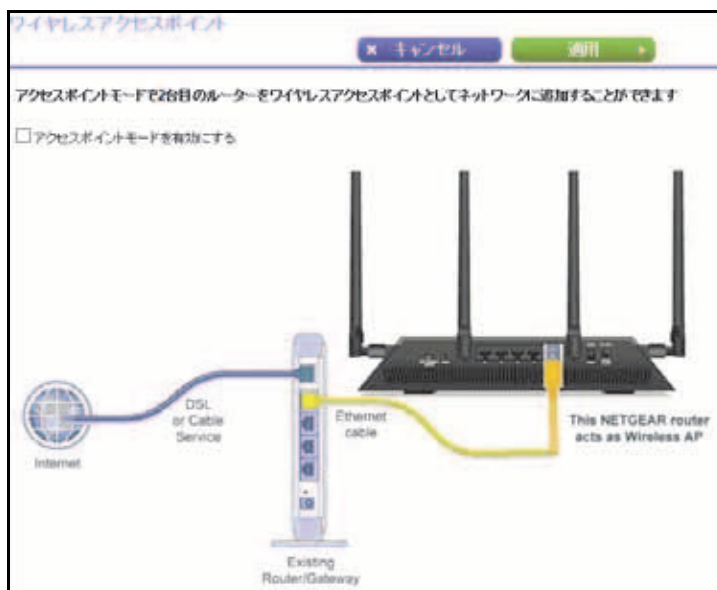
▶ ルーターを AP として設定する :

1. LAN ケーブルを使用して、このルーターのインターネットポートを別のルーターの LAN ポートに接続します。



2. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

5. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス AP] を選択します。



6. [アクセスポイントモードを有効にする] チェックボックスを選択します。
7. 下にスクロールして、IP アドレス設定を選択します。
- **既存のルーターから自動的に取得**：このルーターが AP モードのときに、ネットワーク上の別のルーターがこのルーターに IP アドレスを割り当てます。
 - **固定 IP アドレスを使用 (推奨しません)**：このルーターが AP モードのときに特定の IP アドレスを手動で割り当てる場合は、この設定を使用します。このオプションを使用するには、ネットワークに関する詳しい知識が必要です。

注意： ネットワーク上の他のルーターやゲートウェイとの干渉を避けるため、ルーターごとに異なる無線 LAN 設定を使用することを推奨します。他のルーターやゲートウェイの無線 LAN をオフにし、無線 LAN 子機のアクセス用には R7500 ルーターのみを使用することもできます。

8. [適用] ボタンをクリックします。
- ルーターの IP アドレスが変更され、切断されます。
9. 再接続するには、ブラウザを閉じてから再起動し、「<http://www.routerlogin.net>」と入力します。

ブリッジモードでのルーターの使用

ルーターをブリッジモードで使用すると、高速な 802.11ac スピードで複数の無線 LAN 子機を無線接続することができます。これを行うには 2 台のワイヤレスルーターが必要で、1 台はルーターとして、もう 1 台はブリッジとして設定します。

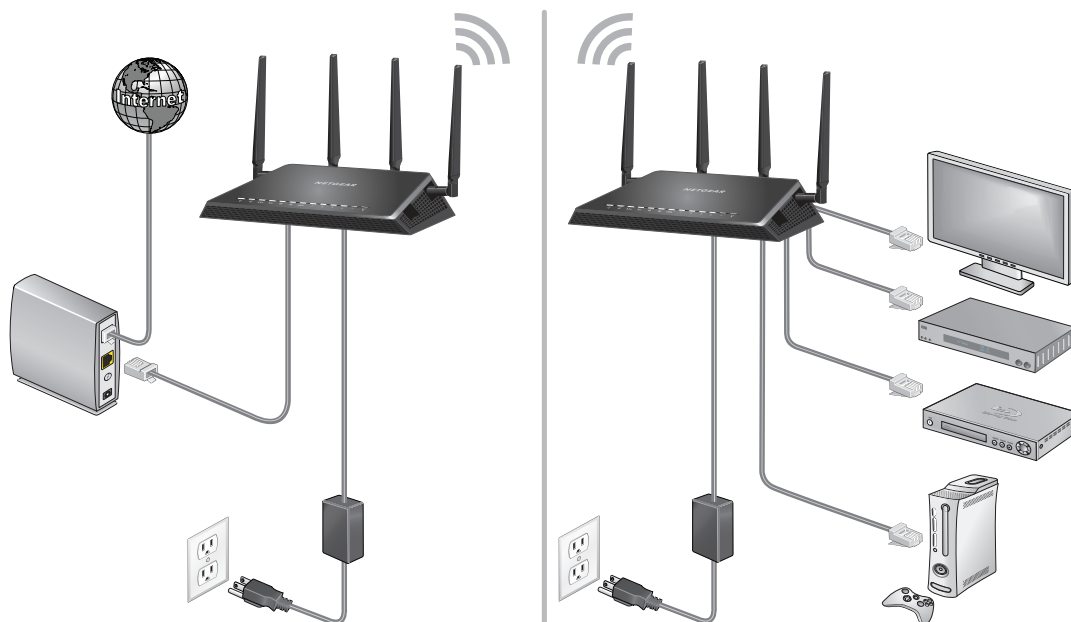


図 13. 802.11ac ワイヤレス接続を使用したブリッジモードのルーター

お使いのルーターをブリッジとして設置するメリットは次のとおりです。

- お使いの機器でギガビット無線 LAN 速度を利用できます。
- ビデオやゲームなどのアプリケーションでギガビット無線 LAN を使用できます。
- ワイヤレスリンクを使用して NAS、Smart TV、NeoTV、Blu-ray プレイヤー、ゲームコンソールなどの複数の機器をギガビット無線 LAN 速度で接続できます。
- 機器ごとに個別の無線 LAN アダプターを用意する必要がなくなります。

例えば、1 台目のルーターは、インターネット接続があるホームオフィスなどの部屋に設置します。

次に、2 台目のルーターをブリッジモードで設定します。続いてこのブリッジモードのルーターをホームエンターテインメントの設備の整った別の部屋に設置します。ブリッジモードのルーターを Smart TV、DVR、ゲーム本体、Blu-ray プレイヤーなどに有線接続し、そのルーターから 802.11ac 無線 LAN 接続を使用して 1 台目のルーターに接続します。

➤ ブリッジモードを設定する：

1. このルーターが接続する相手のルーターの無線 LAN 設定をメモします。

SSID、セキュリティモード、ネットワークキー（パスワード）、動作周波数（2.4 GHz または 5 GHz）が必要になります。

2. ブリッジモードで動作するルーターのネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ワイヤレスブリッジ] を選択します。
[ワイヤレスブリッジ] 画面が表示されます。
6. [ブリッジモードを有効にする] チェックボックスを選択します。
画面の表示が変更されます。



7. [ブリッジモードワイヤレス設定をセットアップする] ボタンをクリックします。
8. 相手のルーターの設定を入力します。
 - a. ネットワークワイヤレス周波数 (**2.4 GHz** または **5 GHz**) を選択します。
 - b. 802.11ac モードの場合は、**5 GHz** を選択します。
 - c. [ネットワーク名 (SSID)] の欄に、無線 LAN のネットワーク名 (SSID) を入力します。
 - d. [セキュリティオプション] セクションで、ラジオボタンを選択します。
 - e. メッセージが表示されたら、パスワード (相手のルーターに無線 LAN 接続するとき使用する無線 LAN パスワード) を入力します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
相手のルーターの設定が保存され、高度なワイヤレス設定の画面が表示されます。
10. 高度なワイヤレス設定の画面の [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

12 VPNを使用したネットワークへのアクセス 12

OpenVPN ソフトウェアを使用すると、VPN（Virtual Private Networking）を介してルーターにリモートアクセスすることができます。この章では、VPN アクセスを設定して使用方法について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- *VPN 接続の設定*
- *ルーターでの VPN サービスの設定*
- *OpenVPN ソフトウェアのインストール*
- *ルーターの USB 対応機器とメディアへの VPN を使用したアクセス*
- *VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス*

VPN 接続の設定

VPN (Virtual Private Network) を利用すると、家にいないときにインターネットを使用して自宅のネットワークに安全にアクセスできます。

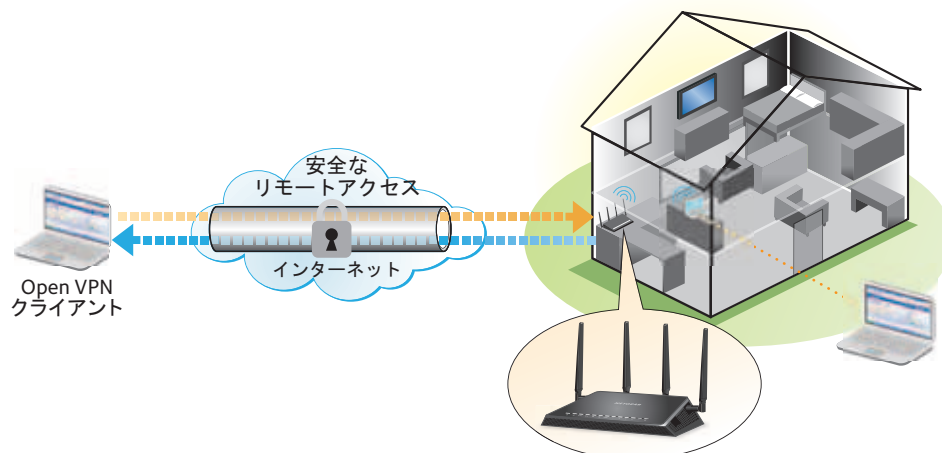


図 14. VPN はホームネットワークとリモート PC の間に安全なトンネルを提供

このタイプの VPN アクセスは、クライアントとゲートウェイ間のトンネルと呼ばれます。PC がクライアントで、ルーターがゲートウェイです。VPN 機能を使用するには、ルーターにログインして VPN を有効にする必要があります。また、PC に VPN クライアントソフトウェアをインストールして実行する必要があります。

注意 : iOS または Android の VPN クライアントソフトウェアには対応していません。

VPN はダイナミック DNS (DDNS) または静的 IP アドレスを使用してルーターに接続します。

DDNS サービスを使用するには、ホスト名 (ドメイン名と呼ばれる場合があります) を指定してアカウントを登録します。このホスト名を使用して、ネットワークにアクセスします。ルーターは、NETGEAR、No-IP、Dyn のアカウントをサポートしています。

ご利用のプロバイダー (ISP) から、お使いのインターネットアカウントに静的 WAN IP アドレス (50.196.x.x や 10.x.x.x など) が割り当てられている場合、VPN では、その IP アドレスを使用してホームネットワークに接続することができます。

ルーターでの VPN サービスの設定

VPN 接続を使用する前に、ルーターで VPN サービスを設定する必要があります。

➤ VPN サービスを設定する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPN サービス] を選択します。
[VPN サービス] 画面が表示されます。
5. [VPN サービスを有効にする] チェックボックスを選択します。
デフォルトで、VPN は UDP サービスタイプを使用し、ポート 12974 を使用します。サービスタイプとポートをカスタマイズする場合、NETGEAR は、これらの設定を変更してから OpenVPN ソフトウェアをインストールすることを推奨します。
6. サービスタイプを変更するには、下にスクロールして、[TCP] ラジオボタンを選択します。
7. ポートを変更するには、[サービスポート] の欄まで下にスクロールして、使用したいポート番号を入力します。
8. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。ルーターで VPN が有効になりますが、VPN 接続を使用する前に、OpenVPN ソフトウェアを PC にインストールして設定する必要があります。

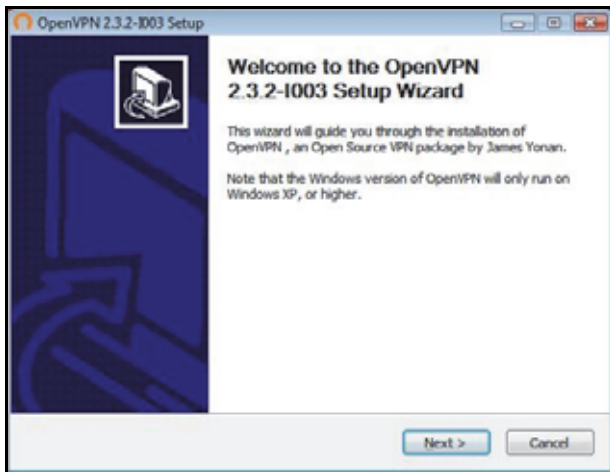
OpenVPN ソフトウェアのインストール

OpenVPN ソフトウェアは、ルーターへの VPN 接続に使用する予定の各 PC にインストールする必要があります。

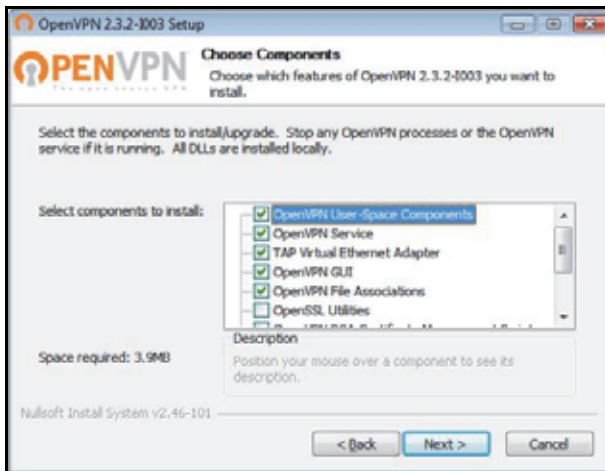
➤ VPN クライアントソフトウェアをインストールする：

1. <http://openvpn.net/index.php/download/community-downloads.html> にアクセスします。
2. 画面の [Windows Installer (Windows インストーラー)] のカテゴリで、**openVPN-install-xxx.exe** リンクをダブルクリックします。
3. ファイルをダウンロードし、各 PC に保存します。
4. 各 PC で Open VPN ソフトウェアをダブルクリックしてインストールします。

OpenVPN の [Setup Wizard (セットアップウィザード)] が表示されます。



5. [次へ] ボタンをクリックします。
6. 使用許諾契約書を読み、[I Agree (同意する)] ボタンをクリックします。
[Choose Components (コンポーネントの選択)] 画面が表示されます。



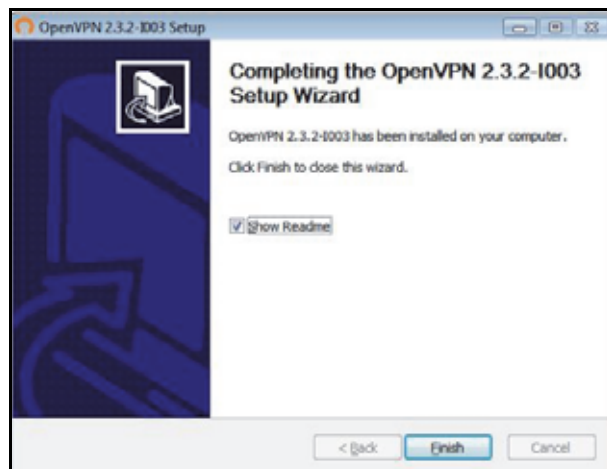
7. 図に示すようにチェックボックスを選択した状態にして、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。
8. インストール先フォルダーを指定するには、[Browse (参照)] ボタンをクリックし、インストール先フォルダーを選択します。

次の画面が表示されます。



9. [Install (インストール)] ボタンをクリックします。

画面にインストールの進行状況が表示され、その次に、最後のインストール画面が表示されます。



10. [Finish (完了)] ボタンをクリックします。

11. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。

Windows 64 ビットシステムのクライアント機器の場合、VPN クライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。

12. Windows のクライアント機器の場合は、VPN インターフェイス名を **NETGEAR-VPN** に変更します。

- a. Windows で、[コントロールパネル] > [ネットワークとインターネット] > [ネットワーク接続] を選択します。
- b. ローカルエリア接続のリストで、機器名が **TAP-Windows Adapter** であるローカルエリア接続を見つけます。
- c. そのローカルエリア接続を選択し、接続の名前（機器名とは異なります）を **NETGEAR-VPN** に変更します。

VPN インターフェイス名を変更しないと、VPN トンネル接続が失敗します。

VPN トンネルの使用

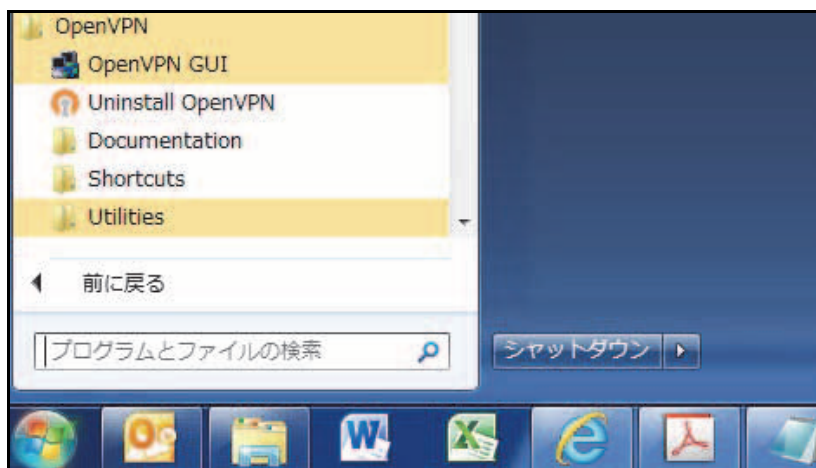
VPN を使用するようにルーターを設定し、PC に OpenVPN アプリケーションをインストールしたら、インターネット経由で PC からルーターまで VPN トンネルを開くことができます。

VPN トンネルが正しく機能するためには、リモートの R7500 ルーターのローカル LAN IP アドレスで使われている LAN IP 方式が、VPN クライアント PC が接続されているローカル LAN の LAN IP 方式とは異なっている必要があります。両方のネットワークが同じ LAN IP 方式を使用していると、VPN トンネルが確立されたときに OpenVPN ソフトウェアで家庭のルーターやホームネットワークにアクセスすることができません。

R7500 ルーターのデフォルトの LAN IP アドレス方式は、192.x.x.x です。最もよく使われる IP 方式は、192.x.x.x、172.x.x.x、および 10.x.x.x です。競合が発生する場合は、ホームネットワークの IP 方式、または VPN クライアント PC が属するネットワークの IP 方式のいずれかを変更してください。これらの設定の変更については、118 ページの [LAN TCP/IP 設定の変更](#) を参照してください。

➤ VPN トンネルを開く：

1. 管理者権限を使用して OpenVPN アプリケーションを起動します。



Windows タスクバーに **[OpenVPN]** アイコンが表示されます。

メモ :VPN プログラムへのショートカットを作成してから、そのショートカットを使用して設定にアクセスし、**[管理者として実行]** チェックボックスを選択します。こうすると、このショートカットを使用するたびに、OpenVPN が管理者権限で自動的に実行されます。

2. **[OpenVPN]** アイコンを右クリックします。

メニューが表示されます。



3. [接続] を選択します。

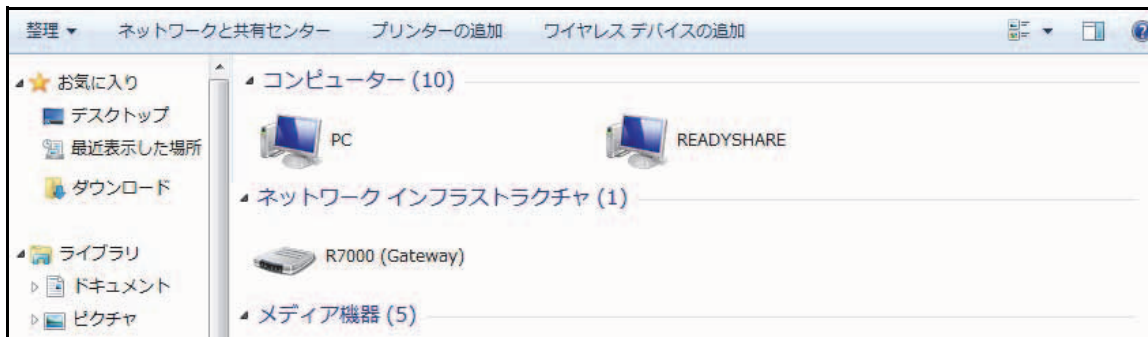
VPN 接続が確立されます。次のことを実行できます。

- ウェブブラウザを起動し、ルーターにログインする。
- Windows ファイルマネージャーを使用してルーターの USB 対応機器にアクセスし、ファイルをダウンロードする。

ルーターの USB 対応機器とメディアへの VPN を使用したアクセス

➤ USB 対応機器にアクセスしてファイルをダウンロードする：

1. Windows ファイルマネージャーで、[ネットワーク] フォルダーを選択します。



ネットワークリソースが表示されます。**ReadySHARE** のアイコンは [コンピューター] のセクションにあり、リモート **R7500** のアイコンは [メディア機器] のセクション（ルーターで DLNA が有効になっている場合）にあります。

2. アイコンが表示されていない場合は、[更新] ボタンをクリックして画面を更新します。

ローカル LAN とリモート LAN が同じ IP 方式を使用していると、リモート **R7500** のアイコンは [メディア機器] や [ネットワークインフラストラクチャ] のセクションに表示されません。

3. USB ドライブにアクセスするには、[ReadySHARE] アイコンをクリックします。

4. ルーターのネットワーク上にあるメディアにアクセスするには、[R7500] アイコンをクリックします。

VPN を使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

外出先でインターネットにアクセスするときには、通常、ローカルのインターネットサービスプロバイダーを使用します。例えば、コーヒーショップでは、その店のインターネットサービスアカウントを使用してウェブページを閲覧できるようにするコードが提供されることがあります。

R7500 では、外出しているときに、VPN 接続を使用して、自分が利用中のインターネットサービスにアクセスできます。家で使用しているインターネットサービスが利用できない場所に旅行する場合などでも使えます。

VPN クライアントインターネットアクセスの設定

デフォルトでは、ルーターはホームネットワークに対する VPN 接続のみを許可するように設定されていますが、インターネットアクセスを許可するように設定を変更できます。VPN 経由でリモートからインターネットにアクセスすると、インターネットに直接アクセスするより速度が遅い場合があります。

➤ VPN クライアントに自宅のホームネットワークの使用を許可する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [VPN サービス] を選択します。
[VPN] 画面が表示されます。
5. [VPN サービスを有効にする] ラジオボタンを選択します。
6. [クライアントはアクセスにこの VPN 接続を使用します。] セクションまで下にスクロールして、[インターネットおよびホームネットワーク上のすべてのサイト] ラジオボタンを選択します。
ローカルのインターネットサービスを使用する代わりに VPN 接続を使用してインターネットにアクセスするときには、ホームネットワークからインターネットサービスを使用します。
7. [適用] ボタンをクリックします。
設定が保存されます。

8. **[For Windows (Windows 用)]** ボタンまたは **[For non-Windows (Windows 以外)]** ボタンをクリックし、VPN クライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPN クライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。

Windows 64 ビットシステムのクライアント機器の場合、VPN クライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。

ルーターでの VPN クライアントインターネットアクセスの禁止

デフォルトでは、ルーターは、ホームネットワークへの VPN 接続だけを許可し、ホームネットワーク用のインターネットサービスへの VPN 接続は許可しないように設定されています。この設定は、インターネットアクセスを許可するように変更しても、元に戻すことができます。

▶ VPN クライアントにホームネットワークへのアクセスのみを許可する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[VPN サービス]** を選択します。
[VPN] 画面が表示されます。
5. **[VPN サービスを有効にする]** ラジオボタンを選択します。
6. [クライアントはアクセスにこの VPN 接続を使用します。] セクションまで下にスクロールして、**[ホームネットワークのみ]** ラジオボタンを選択します。
これはデフォルトの設定です。VPN 接続は、ホームネットワークに対してのみで、ホームネットワーク用のインターネットサービスに対しては許可されません。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。
設定が保存されます。
8. **[For Windows (Windows 用)]** ボタンまたは **[For non-Windows (Windows 以外)]** ボタンをクリックし、VPN クライアント用の設定ファイルをダウンロードします。
9. 設定ファイルを解凍し、VPN クライアントがインストールされている、機器上のフォルダーにコピーします。

Windows 64 ビットシステムのクライアント機器の場合、VPN クライアントはデフォルトでは C:\Program files\OpenVPN\config\ にインストールされています。

VPN トンネルを使用した自宅のホームネットワークへのアクセス

➤ 自宅のホームネットワークにアクセスする：

1. 自宅のホームネットワークへの VPN アクセスを許可するようにルーターを設定します。
146 ページの [VPN クライアントインターネットアクセスの設定](#) を参照してください。
2. PC で、OpenVPN アプリケーションを起動します。
Windows タスクバーに **[OpenVPN]** アイコンが表示されます。
3. アイコンを右クリックし、**[接続]** をクリックします。
4. VPN 接続が確立されたら、インターネットブラウザを開きます。

インターネットポート設定の指定

13

ポート転送とポートトリガーを使用して、インターネットトラフィックのルールを設定できます。これらの機能を設定するには、ネットワークの知識が必要です。

この章には次の内容が含まれます。

- ローカルサーバーへのポート転送の設定
- ポートトリガーの設定

ローカルサーバーへのポート転送の設定

ホームネットワークにサーバーが含まれている場合、特定のタイプの受信トラフィックがサーバーに到達することを許可できます。例えば、ローカルのウェブサーバー、FTP サーバー、ゲームサーバーをインターネットから表示でき、使用できるようにすることもできます。

ルーターは、特定のプロトコルを使用する受信トラフィックを、ローカルネットワーク上の PC に転送できます。アプリケーション用のサーバーの指定が可能で、ルーターがその他の受信プロトコルすべてを転送する宛先となるデフォルト DMZ サーバーを指定することもできます。

▶ 特定の受信プロトコルを転送する：

1. どのタイプのサービス、アプリケーション、またはゲームを提供するかを決めます。
2. サービスを提供する、ネットワーク上の PC のローカル IP アドレスを調べます。

この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。

サーバーコンピューターは常に同じ IP アドレスを使用する必要があります。サーバーコンピューターに予約 IP アドレスを割り当てます。122 ページの [予約 LAN IP アドレスの管理](#) を参照してください。

3. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
4. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。

ログイン画面が表示されます。

5. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

6. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。

7. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
8. [サービス名] ドロップダウンリストで、サービス名を選択します。

追加するサービスがドロップダウンリストに含まれていない場合は、カスタムサービスを作成します。151 ページの [ポート転送の追加](#) を参照してください。

9. [サーバー IP アドレス] の欄に、サービスを提供する PC の IP アドレスを入力します。
10. [追加] ボタンをクリックします。
リストにサービスが表示されます。

ポート転送の追加

▶ ポート転送を追加する：

1. アプリケーションが使用するポート番号または番号の範囲を確認します。
この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。
2. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送 / ポートトリガー] 画面が表示されます。
6. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
7. [カスタムサービスの追加] ボタンをクリックします。

	IPアドレス	デバイス名
<input checked="" type="radio"/>	192.168.1.2	SANAHEIRAWA-PC

8. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
9. [プロトコル] 欄で、プロトコルを選択します。
不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
10. [外部開始ポート] と [外部終了ポート] 欄にポート番号を入力します。
11. 次のどちらかの方法で、内部ポートを指定します。
 - [内部ポートに同じポート範囲を使用] チェックボックスを選択した状態にします。

- 内部ポート番号を入力します。
12. [サーバー IP アドレス] 欄に IP アドレスを入力するか、表に示されている接続機器のラジオボタンを選択します。
 13. [適用] ボタンをクリックします。
これでサービスが [ポート転送 / ポートトリガー] 画面のリストに表示されるようになります。

ポート転送の編集

▶ ポート転送を編集する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送 / ポートトリガー] 画面が表示されます。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの編集] ボタンをクリックします。
[ポート転送 - カスタムサービス] 画面が表示されます。
8. 必要に応じて設定を変更します。
9. [適用] ボタンをクリックします。
変更内容が保存されます。

ポート転送の削除

▶ ポート転送を削除する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送 / ポートトリガー] 画面が表示されます。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択します。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの削除] ボタンをクリックします。
サービスが削除されます。

適用例：ローカルウェブサーバーの公開

ローカルネットワークでウェブサーバーをホストしている場合、ポート転送を使用して、インターネット上の任意のユーザーからのウェブリクエストがウェブサーバーに到達できるようにします。

▶ ローカルウェブサーバーを公開する：

1. ウェブサーバーに、固定 IP アドレスを割り当てるか、DHCP アドレス予約を使用して動的 IP アドレスを割り当てます。

この例では、ルーターは常に、ウェブサーバーに対して IP アドレス 192.168.1.33 を指定します。

2. [ポート転送 / ポートトリガー] 画面で、**192.168.1.33** にあるウェブサーバーのローカルアドレスに HTTP サービスを転送するようにルーターを設定します。

HTTP (ポート 80) は、ウェブサーバーの標準プロトコルです。

3. (オプション) ダイナミック DNS サービスを使用してホスト名を登録し、ルーターの [ダイナミック DNS] 画面でその名前を指定します。

ダイナミック DNS によって、インターネットブラウザに名前を入力可能になるため、インターネットからサーバーへのアクセスが大幅に容易になります。この方法を使用しない場合は、プロバイダーが割り当てた IP アドレスを知っておく必要があり、一般に、このアドレスは変化します。

ルーターでのポート転送ルールの実行方法

次の手順は、ポート転送ルールを設定する効果を説明しています。

1. ブラウザーに URL として「www.example.com」と入力すると、ブラウザは以下の宛先情報とともにウェブページリクエストメッセージを送信します。
 - **ターゲットアドレス**：www.example.com の IP アドレスで、これはルーターのアドレスです。
 - **ターゲットポート番号**：80 です。これがウェブサーバープロセスの標準ポート番号です。
2. ルーターはメッセージを受信し、受信ポート 80 のトラフィックに関するポート転送ルールを見つけます。

3. ルーターはメッセージ内の宛先を IP アドレス 192.168.1.123 に変更し、メッセージをその PC に送信します。
4. IP アドレス 192.168.1.123 にあるウェブサーバーがリクエストを受信し、ルーターに応答メッセージを送信します。
5. ルーターがソース IP アドレスに対するネットワークアドレス変換 (NAT) を実行し、ウェブページリクエストを送信した PC または無線 LAN 子機に、インターネット経由で応答を送信します。

ポートトリガーの設定

ポートトリガーは、以下の場合に役立つ動的なポート転送の拡張機能です。

- アプリケーションがポート転送を複数のローカル PC に対して使用する必要がある (ただし同時には使用しない)。
- アプリケーションが、送信ポートとは異なる受信ポートを開く必要がある。

ポートトリガーの使用時に、ルーターはユーザーが指定した送信“トリガー”ポートからインターネットに向かうトラフィックを監視します。そのポートからの送信トラフィックについて、ルーターはトラフィックを送信した PC の IP アドレスを保存します。ルーターは、受信ポートまたはユーザーがルールで指定したポートを一時的に開き、その受信トラフィックを宛先に転送します。

ポート転送では、ポート番号またはポートの範囲から、単一のローカル PC への静的なマッピングが作成されます。ポートトリガーは、必要なときに任意の PC に対して動的にポートを開き、必要でなくなったときにポートを閉じることができます。

注意： マルチプレイヤーゲーム、ピアツーピア接続、またはインスタントメッセージングやリモートアシスタンス (Windows XP の機能) といったリアルタイムコミュニケーションのアプリケーションを使用する場合は、UPnP (Universal Plug and Play) を有効にしてください。46 ページの *Universal Plug and Play によるネットワーク接続の改善* を参照してください。

ポートトリガーの追加

▶ ポートトリガーサービスを追加する：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。
[ポート転送 / ポートトリガー] 画面が表示されます。
5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。
6. [サービスの追加] ボタンをクリックします。

7. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
8. [サービスユーザー] ドロップダウンリストから、ユーザーオプションを選択します。
 - [すべて] (デフォルト) を選択すると、インターネット上のどの PC もこのサービスの使用を許可されます。
 - [単一アドレス] を選択すると、サービスは特定の PC に限定されます。
9. [サービスタイプ] ドロップダウンリストから、[TCP] または [UDP] または [TCP/UDP] (両方) を選択します。
不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
10. [トリガーポート] 欄に、受信ポートを開く送信トラフィックのポート番号を入力します。
11. [接続タイプ]、[開始ポート]、[終了ポート] 欄に、受信接続情報を入力します。
12. [適用] ボタンをクリックします。

これでサービスがポートマップ表に表示されるようになります。ルーターがポートトリガーを使用する前に、ポートトリガーを有効にする必要があります。155 ページの [ポートトリガーの有効化](#) を参照してください。

ポートトリガーの有効化

▶ ポートトリガーを有効にする :

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送 / ポートトリガー] を選択します。

[ポート転送 / ポートトリガー] 画面が表示されます。

5. [ポートトリガー] ラジオボタンを選択します。

6. [ポートトリガーを無効にする] チェックボックスのチェックを外します。

このチェックボックスが選択されていると、ポートトリガーの設定を指定した場合でも、ルーターはポートトリガーを使用しません。

7. [ポートトリガーのタイムアウト時間] 欄に、最大 9999 分の値を入力します。

ルーターでアクティビティが検出されないときに受信ポートが開いたままになる時間をここで設定できます。ルーターはアプリケーションがいつ終了したかを検出できないため、この値を必ず指定する必要があります。

適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー

FTP サーバーや IRC サーバーなどの一部のアプリケーションサーバーは、複数のポート番号に応答を送信します。ポートトリガーを使用すると、特定の送信ポートのセッション開始後に、より多くの受信ポートを開くようにルーターに指示できます。

例となるのはインターネットリレーチャット（IRC）です。PC は宛先ポート 6667 で IRC サーバーに接続します。IRC サーバーはソースポートに回答するだけでなく、ポート 113 で PC に“識別”メッセージも送信します。ポートトリガー使用時には、ルーターに、“ユーザーが宛先ポート 6667 でセッションを開始したら、ポート 113 上の受信トラフィックが発信元 PC に到達することも許可しなければならない”と指示できます。次の手順は、このポートトリガールールを設定する効果を説明しています。

1. PC で、IRC クライアントプログラムを開いてチャットセッションを開始します。
2. IRC クライアントは、宛先ポート番号として、IRC サーバープロセスの標準ポート番号である 6667 を使用して、IRC サーバーに対するリクエストメッセージを作成します。次に、PC がこのリクエストメッセージをルーターに送信します。
3. ルーターは、内部セッションテーブルに、PC と IRC サーバー間の通信セッションについて記述するエントリを作成します。ルーターは元の情報を保存し、ソースのアドレス

とポートについてネットワークアドレス変換（NAT）を実行して、このリクエストメッセージをインターネット経由で IRC サーバーに送信します。

4. ルーターは、ユーザーのポートトリガールールを認識し、宛先ポート番号 6667 を観察して、ポート 113 の受信トラフィックをすべて PC に送信する別のセッションエントリを作成します。
5. IRC サーバーは、NAT に割り当てられたソースポート（例：ポート 33333）を宛先ポートとして使用してルーターに応答メッセージを送信し、宛先ポート 113 を使用してルーターに“識別”メッセージを送信します。
6. ルーターは、宛先ポート 33333 へのメッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号 33333 のセッションがアクティブかどうかを確認します。アクティブなセッションを見つけたら、ルーターは NAT によって置き換えられた元のアドレス情報を復元し、この応答メッセージを PC に送信します。
7. ルーターは、宛先ポート 113 への受信メッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号 113 で PC と関連付けられているアクティブセッションを検出します。ルーターはメッセージの宛先 IP アドレスを、PC の IP アドレスで置き換えて、メッセージを PC に転送します。
8. ユーザーがチャットセッションを終了すると、ルーターは最終的に、通信中にアクティビティのない時間を検出します。ルーターは次に、セッションテーブルからそのセッションの情報を削除し、ポート番号 33333 や 113 では、受信トラフィックが受け入れられなくなります。

この章では、ルーターで発生する可能性のある問題の診断と解決に役立つ情報を提供します。この章で解決策が見つからない場合は、<http://www.netgear.jp/supportInfo/>にある NETGEAR サポートサイトで製品や連絡先の情報をご確認ください。

この章には次の内容が含まれます。

- [トラブルシューティングのヒント](#)
- [LED を使用したトラブルシューティング](#)
- [ルーターにログインできない](#)
- [インターネットにアクセスできない](#)
- [変更が保存されない](#)
- [無線 LAN 接続](#)
- [ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング](#)

トラブルシューティングのヒント

このセクションでは、一般的ないくつかのトラブルシューティングのヒントを示します。

ネットワークを再起動する手順

ネットワークを再起動する必要がある場合は、以下の手順に従います。

1. モデムの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. ルーターの電源をオフにします。
3. モデムの電源コードを接続し、電源を入れます。2 分間待ちます。
4. ルーターの電源を入れ、2 分間待ちます。

LAN ケーブルの接続の確認

機器の電源が入らない場合は、LAN ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。ルーターとモデムを接続している LAN ケーブルがしっかり差し込まれ、モデムとルーターの電源が入っている場合は、ルーターのインターネット LED が点灯します。電源が入っている PC が LAN ケーブルでルーターに接続されている場合、対応する番号の LAN ポート LED が点灯します。

ワイヤレス設定

無線 LAN 子機とルーターのワイヤレス設定が一致していることを確認します。ルーターと PC などの無線 LAN 子機のネットワーク名 (SSID) とセキュリティ設定が、一致している必要があります。

[高度なワイヤレス設定] 画面でアクセスリストを設定した場合は、各無線 LAN 子機の MAC アドレスを、ルーターのアクセスリストに追加する必要があります。

ネットワーク設定

子機のネットワーク設定が正しいことを確認します。有線や無線で接続される子機は、ルーターと同じネットワーク上のネットワーク (IP) アドレスを使用する必要があります。最も簡単な方法は、DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得するようにそれぞれの子機を設定することです。


一部のプロバイダーでは、最初にアカウントに登録された子機の MAC アドレスを使用する必要があります。MAC アドレスは、[接続デバイス] 画面で参照できます。

LED を使用したトラブルシューティング

デフォルトでは、ルーターは LED をオンにするよう設定されています。電源 LED を除く LED をオフにした場合、トラブルシューティングを行うには、LED をオンにする設定に戻す必要があります。LED 設定の制御については、11 ページの [LED のオン/オフの切り替え](#) を参照してください。

ルーターの電源を入れたときの LED の動作

ルーターの電源を入れた後、LED は以下のように動作します。

1. 最初に電源を入れたときに、電源 LED  が点灯することを確認します。
2. 約 2 分経過したら、以下のことを確認します。
 - 電源 LED が白色点灯である。
 - インターネット LED が点灯している。
 - 無線 LAN をオフにしていなければ無線 LAN LED が点灯している。

ルーター前面の LED をトラブルシューティングに使用できます。

電源 LED が消灯または点滅している

これは以下の状況が原因であることが考えられます。

- 電源アダプターがルーターにしっかりと接続されていて、コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 製品本体に同梱の電源アダプターを使用していることを確認します。
- 電源 LED がゆっくり続けて点滅する場合、ルーターファームウェアが破損しています。これは、ファームウェアアップグレードが中断された場合や、ルーターがファームウェアの問題を検出した場合に発生することがあります。エラーが解決されない場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。復元の手順やハードウェアの問題に関するサポートについては、<http://www.netgear.jp/supportInfo/> でテクニカルサポートにお問い合わせください。

電源 LED がオレンジのままになっている

ルーターの電源を入れると、電源 LED は最大 2 分間オレンジになり、その後白になります。LED が白にならない場合は、ルーターに問題があることを示しています。

ルーターの電源をオンにした後 3 分たっても電源 LED がオレンジのままの場合、以下を実行してください。

1. 電源をオフにしてから再度オンにして、ルーターが正常に起動するかどうかを確認します。
2. [リセット] ボタンを長押しして、ルーターを工場出荷時の設定に戻します。

169 ページの [工場出荷時の設定](#) を参照してください。

エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が原因である可能性があります。<http://www.netgear.jp/supportInfo/> にアクセスしてテクニカルサポートにお問い合わせください。

LED が消灯しない

ルーターの電源を入れると、LED は約 10 秒間点灯し、その後消灯します。すべての LED が点灯したままの場合、ルーター内部の障害を示しています。

電源をオンにした後 1 分たってもすべての LED が点灯している場合は、以下を実行してください。

- ルーターの電源をオフにしてから再度オンにして、ルーターが正常に戻るかどうかを確認します。
- **[リセット]** ボタンを長押しして、ルーターを工場出荷時の設定に戻します。詳細については、169 ページの [工場出荷時の設定](#) を参照してください。

エラーが解決されない場合は、ハードウェアの問題が原因である可能性があります。<http://www.netgear.jp/supportInfo/> にアクセスしてテクニカルサポートにお問い合わせください。

インターネットまたは LAN ポートの LED が消灯している

イーサネット接続が行われたときに LAN ポート LED またはインターネット LED が点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ルーターとモデムまたは PC が LAN ケーブルでしっかり接続されていることを確認します。
- 接続したモデムや PC の電源が入っていることを確認します。
- 正しいケーブルを使っていることを確認します。

ルーターのインターネットポートをケーブルモデムや DSL モデムに接続するときには、ケーブルモデムまたは DSL モデムに付属していたケーブルを使用してください。このケーブルは、標準のストレート LAN ケーブルまたはイーサネットクロスケーブルです。

無線 LAN LED が消灯している

無線 LAN LED が消灯したままの場合、ルーター上の **無線 LAN オン/オフ** ボタンが押されていないか確認してください。このボタンは、ルーターの無線 LAN をオン/オフします。無線 LAN がオンのときに無線 LAN LED が点灯します。

ルーターにログインできない

ローカルネットワーク上の PC や無線 LAN 子機から NETGEAR genie (ルーター管理画面) にログインできない場合、以下のことを確認してください。

- 有線で接続している場合は、子機とルーターの間のケーブルを確認します。

- 子機の IP アドレスが、ルーターと同じサブネット上にあることを確認します。推奨されるアドレス方式を使用している場合、PC のアドレスは 192.168.1.2 から 192.168.1.254 までの範囲内になります。
- 子機の IP アドレスが 169.254.x.x のように表示される場合、新しいバージョンの Windows OS や Mac OS では、子機が DHCP サーバーに到達できないときに IP アドレスを生成し、割り当てます。これらの自動生成されたアドレスは 169.254.x.x の範囲内になります。IP アドレスがこの範囲内にある場合、子機からルーターへの接続を確認し、子機を再起動してください。
- ルーターの IP アドレスが変更されており、現在の IP アドレスが分からない場合は、ルーターの設定を消去し、工場出荷時の設定に戻します。これでルーターの IP アドレスは 192.168.1.1 に設定されます。詳細については、169 ページの [工場出荷時の設定](#) を参照してください。
- ブラウザーで Java、JavaScript、または ActiveX が有効になっていることを確認します。Internet Explorer を使用している場合は、[更新] ボタンをクリックして、Java アプレットが確実に読み込まれるようにします。
- ブラウザーを終了し、もう一度起動してみてください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認します。ユーザー名は **admin** で、デフォルトパスワードは **password** です。この情報を入力するときに Caps Lock がオフになっていることを確認してください。
- ネットワーク上で、ADSL ゲートウェイの代替としてルーターを設定しようとしている場合、ルーターは多くのゲートウェイサービスを実行することができません。例えば、ルーターは ADSL データやケーブルデータをイーサネットネットワーク情報に変換できません。NETGEAR はそのような設定をサポートしていません。

インターネットにアクセスできない

ルーターにアクセスできてもインターネットにはアクセスできない場合は、ルーターがインターネットサービスプロバイダー (ISP) から IP アドレスを取得できるかどうかを確認してください。プロバイダーが固定 IP アドレスを提供している場合以外、ルーターはプロバイダーからの IP アドレスを要求します。NETGEAR genie の高度なホーム画面を使用して、リクエストが成功したかどうかを判断できます。

➤ WAN IP アドレスを調べるには：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. www.netgear.com などの外部サイトを選択します。
3. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
4. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。

5. [高度] タブをクリックします。

NETGEAR genie の高度なホーム画面が表示されます。

6. インターネットポートの IP アドレスが表示されることを確認します。0.0.0.0 が表示される場合、ルーターはプロバイダーから IP アドレスを取得していません。

ルーターがプロバイダーから IP アドレスを取得できない場合は、ネットワークを再起動することで、ケーブルモデムや DSL モデムに新しいルーターを強制的に認識させる必要が生じることがあります。詳細については、159 ページの [ネットワークを再起動する手順](#) を参照してください。

それでもルーターがプロバイダーから IP アドレスを取得できない場合、問題は以下のいずれかである可能性があります。

- ご利用のプロバイダーではログインプログラムが必要な可能性があります。プロバイダーに、PPPoE (PPP over Ethernet) やその他のタイプのログインが必要かどうかをお問い合わせください。
- プロバイダーでログインが必要な場合、ログイン名とパスワードが正しく設定されていない可能性があります。
- プロバイダーがご利用の PC のホスト名を調べている可能性があります。[インターネット設定] 画面で、プロバイダーアカウントの PC ホスト名をアカウント名として割り当ててください。
- プロバイダーで許可される、インターネットに接続するためのイーサネット MAC アドレスが 1 つだけで、PC の MAC アドレスを調べている場合は、以下のいずれかを実行します。
 - 新しいネットワーク機器を購入したことをプロバイダーに連絡し、ルーターの MAC アドレスを使用するように依頼します。
 - PC の MAC アドレスのクローンを作成するようにルーターを設定します。

ルーターが IP アドレスを取得していても、ウェブページが表示できない場合、以下の 1 つ以上の原因による可能性があります。

- PC がどの DNS サーバーのアドレスも認識していない可能性があります。

DNS サーバーは、インターネット名 (www アドレスなど) を数値の IP アドレスに変換するインターネット上のホストです。一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1 台または 2 台の DNS サーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中に DNS アドレスを入力した場合は、PC を再起動し、DNS アドレスを確認します。OS のマニュアルで説明されているように、手動で PC に DNS アドレスを設定できます。

- お使いの PC でルーターが TCP/IP ゲートウェイとして設定されていない可能性があります。

PC が DHCP によってルーターから情報を取得する場合、PC を再起動し、ゲートウェイアドレスを確認します。

- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。

インターネットにログインするためのプログラム (WinPoET など) がプロバイダーから提供された場合、ルーターのインストール後は、そのソフトウェアを実行する必要がなくなります。Internet Explorer に移動し、[ツール] > [インターネットオプション] と

選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。ほかのブラウザにも類似のオプションが用意されています。

PPPoE のトラブルシューティング

PPPoE を使用している場合、インターネット接続のトラブルシューティングを試みてください。

➤ PPPoE 接続のトラブルシューティングを行うには：

1. ネットワークに接続されている PC や無線 LAN 子機でウェブブラウザを開きます。
2. 「<http://www.routerlogin.net>」または「<http://www.routerlogin.com>」と入力します。
ログイン画面が表示されます。
3. ルーターのユーザー名とパスワードを入力します。
ユーザー名は **admin** です。デフォルトのパスワードは **password** です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
NETGEAR genie の基本ホーム画面が表示されます。
4. [高度] タブをクリックします。
NETGEAR genie の高度なホーム画面が表示されます。
5. [インターネットポート] のカテゴリで、[接続ステータス] ボタンをクリックします。
[接続ステータス] 画面が表示されます。
6. [接続ステータス] 画面を調べて、PPPoE 接続が動作中であるかどうかを確認します。
ルーターが接続されていない場合は、[接続] ボタンをクリックします。
ルーターは無期限に接続を試み続けます。
7. 数分経過しても接続できない場合は、ルーターが正しくないサービス名、ユーザー名、またはパスワードで設定されているか、プロバイダーにプロビジョニングの問題がある可能性があります。

手動で接続する場合を除き、ルーターはデータがネットワークに転送されるまで、PPPoE を使用して認証を行いません。

インターネット閲覧のトラブルシューティング

ルーターが IP アドレスを取得できていても、ウェブページが表示できない場合は、以下を確認してください。

- PC がどの DNS サーバーのアドレスも認識していない可能性があります。DNS サーバーは、インターネット名（www アドレスなど）を数値の IP アドレスに変換するインターネット上のホストです。

一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1台または2台のDNSサーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中にDNSアドレスを入力した場合は、PCを再起動します。

または、お使いのPCのマニュアルを参照し、手動でDNSアドレスを指定してPCを設定できます。

- ルーターがPCのデフォルトゲートウェイとして設定されている可能性があります。
PCを再起動し、PCでルーターのアドレス（www.routerlogin.net）がデフォルトゲートウェイアドレスとして表示されることを確認します。
- 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。インターネットにログインするためのプログラム（WinPoETなど）がプロバイダーから提供された場合、ルーターのインストール後は、そのソフトウェアを実行する必要がなくなります。Internet Explorerに移動し、[ツール] > [インターネットオプション]と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。

変更が保存されない

NETGEAR genie（ルーター管理画面）で行った変更がルーターに保存されない場合は、以下を実行します。

- 設定を入力するときには、別の画面やタブに移動する前に必ず[適用] ボタンをクリックします。そうしないと変更内容が失われます。
- ウェブブラウザで[更新] ボタンまたは[再読み込み] ボタンをクリックします。変更が行われても古い設定がウェブブラウザのキャッシュに残っている可能性があります。

無線 LAN 接続

ルーターへの無線 LAN 接続に問題が発生している場合は、問題の切り分けを行います。

- 使用しているPCや無線LAN子機では、無線LANネットワークが検出されていますか？
検出されていない場合、ルーター前面の無線LAN LEDを調べてください。LEDが消灯している場合は、ルーター上の無線LAN オン/オフボタンを押し、ルーターの無線LANをオンにすることができます。

ルーターのSSIDブロードキャストを無効にした場合、無線LANネットワークは非表示になり、無線LAN子機の一覧に表示されません。（デフォルトでSSIDブロードキャストは有効になっています。）
- 無線LAN子機は、無線LANネットワークのために使用しているセキュリティ（WPAやWPA2）をサポートしていますか？
- ルーターの無線LAN設定を表示する場合は、LANケーブルを使用して、PCをルーターのLANポートに接続します。次に、ルーターにログインして、[基本] > [ワイヤレス] を選択します。

注意： 設定を変更したら必ず[適用] ボタンをクリックしてください。

無線 LAN 子機がネットワークを検出しても、信号強度が弱い場合は、以下のような状態でないか確認してください。

- ルーターが無線 LAN 子機から離れすぎている、または近すぎていることはありませんか？無線 LAN 子機はルーターの近くに配置しますが、少なくとも 1.8 メートルは離して設置し、信号強度が向上するかどうかを確認します。
- ルーターと無線 LAN 子機の間、ワイヤレス信号を遮る障害物はありませんか？

ping ユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング

ほとんどのネットワーク機器やルーターには、指定した機器にエコー要求パケットを送信する ping ユーティリティが用意されています。エコー要求が送られると、機器はエコー応答を返します。PC またはワークステーションで ping ユーティリティを使用して、簡単にネットワークのトラブルシューティングを行うことができます。

ルーターへの LAN のパスのテスト

PC からルーターに ping し、ルーターへの LAN のパスが正しく設定されていることを確認できます。

➤ Windows PC からルーターに ping する：

1. Windows ツールバーの [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 次の例に示すように、表示される欄に ping に続けて、ルーターの IP アドレスを入力します。

```
ping www.routerlogin.net
```

3. [OK] ボタンをクリックします。

次のようなメッセージが表示されます。

```
Pinging <IP address > with 32 bytes of data
```

パスが正しく機能していれば、次のようなメッセージが表示されます。

```
Reply from < IP address >: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

パスが正しく機能していない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
Request timed out
```

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が存在する可能性があります。

- ケーブルの接続に不具合がある

有線接続の場合、接続したポートの番号が付いた LAN ポート LED が点灯していることを確認してください。

使用中のネットワーク機器に対して、適切な LED が点灯していることを確認してください。ルーターと子機が個別のイーサネットスイッチに接続されている場合は、子機とルーターに接続されているスイッチポートのリンク LED が点灯していることを確認してください。

- ネットワーク設定に不具合がある

イーサネットカードのドライバーソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがどちらも子機にインストールされ、設定されていることを確認してください。

ルーターと子機の IP アドレスが正しいこと、およびアドレスが同じサブネット上にあることを確認してください。

PC からリモート機器へのパスのテスト

LAN のパスが正しく機能していることを確認した後は、PC からリモート機器へのパスをテストします。

1. Windows ツールバーの [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. Windows の [ファイル名を指定して実行] ウィンドウで、次のように入力します。

```
ping -n 10 <IP address>
```

<IP address> には、プロバイダーの DNS サーバーのようリモート機器の IP アドレスが入ります。

パスが正しく機能している場合は、166 ページの [ルーターへの LAN のパスのテスト](#) に示したようなメッセージが表示されます。

応答が受信されない場合は、以下のことを確認してください。

- ルーターの IP アドレスが PC のデフォルトゲートウェイとして表示されることを確認します。DHCP が PC の IP 設定を割り当てている場合、この情報は PC の [ネットワーク] コントロールパネルには表示されません。ルーターの IP アドレスがデフォルトゲートウェイとして表示されることを確認してください。
- PC のネットワークアドレス (サブネットマスクによって指定される IP アドレスの部分) が、リモート機器のネットワークアドレスとは異なっていることを確認します。
- ケーブルモデムまたは DSL モデムが接続されていて、機能していることを確認します。
- プロバイダーが PC にホスト名を割り当てた場合は、[インターネット設定] 画面で、そのホスト名をアカウント名として入力します。
- プロバイダーが、1 台を除くすべての PC のイーサネット MAC アドレスを拒否している可能性があります。

多くのプロバイダーは、ブロードバンドモデムの MAC アドレスからのトラフィックのみを許可することで、アクセスを制限しています。一部のプロバイダーではさらに、そのモデムに接続された 1 台の PC の MAC アドレスへのアクセスも制限されます。ご利用のプロバイダーがそうしている場合は、承認済み PC の MAC アドレスの“クローン”または“スプーフィング”を行うようにルーターを設定してください。

補足情報

A

この付録には、ルーターの技術情報を記載しています。

この付録には次の内容が含まれます。

- *工場出荷時の設定*
- *技術仕様*

工場出荷時の設定

ルーターを工場出荷時の設定に戻すことができます。ペーパークリップの端や、その他の細い物を使い、ルーター背面の [リセット] ボタンを 7 秒間以上長押しします。ルーターはリセットされ、次の表に示す工場出荷時の設定に戻ります。

表 3. 工場出荷時の初期設定

機能		初期設定の動作
ルーターログイン	ユーザーログイン URL	www.routerlogin.com または www.routerlogin.net
	ユーザー名 (大文字と小文字を区別)	admin
	ログインパスワード (大文字と小文字を区別)	password
インターネット接続	MAC アドレス	デフォルトのハードウェアアドレスを使う
	WAN MTU サイズ	1500
	ポート速度	自動検知
ローカルネットワーク (LAN)	LAN IP	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCP サーバー	有効
	DHCP 範囲	192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
	DHCP 開始 IP アドレス	192.168.1.2
	DHCP 終了 IP アドレス	192.168.1.254
	DMZ	無効
	タイムゾーン	国・地域により異なる
	タイムゾーンを夏時間に合わせて調整	無効
	SNMP	無効
Firewall	インバウンド (インターネットからの通信)	無効 (ポート 80 の HTTP ポートのトラフィックを除く)
	アウトバウンド (インターネットへの通信)	有効 (すべて)
	ソース MAC フィルタ	無効

表 3. 工場出荷時の初期設定 (continued)

機能		初期設定の動作
ワイヤレス	ワイヤレス通信	有効
	SSID 名	ルーターラベルを参照
	セキュリティ	WPA2-PSK (AES)
	ブロードキャスト SSID	有効
	転送速度	自動*
	国 / 地域	国・地域により異なる
	RF チャンネル	国・地域により異なる
	動作モード	2.4 GHz で最大 600 Mbps、5 GHz で最大 1733 Mbps

*. IEEE 標準 802.11 規格に基づく最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。

技術仕様

表 4. R7500 ルーター仕様

機能	説明
データとルーティングプロトコル	TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP、PPPoE、PPTP、Bigpond、ダイナミック DNS、UPnP、SMB
電源アダプター	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ：100～240V、50/60Hz、入力 UK、オーストラリア：100～240V、50/60Hz、入力 ヨーロッパ：100～240V、50/60 Hz、入力 すべての地域（出力）：12V/3.5A DC 出力
サイズ	285 x 184.5 x 50 mm
重量	750 g
動作温度	0～40°C
動作湿度	最大 90%、結露なきこと
取得規格	FCC Part 15 Class B VCCI Class B EN 55 022 (CISPR 22)、Class B C-Tick N10947
LAN	10BASE-T または 100BASE-TX または 1000BASE-T、RJ-45
WAN	10BASE-T または 100BASE-TX または 1000BASE-T、RJ-45
無線 LAN	最大無線 LAN 信号速度は IEEE802.11 標準に準拠。*
無線データ速度	自動速度探知
無線 LAN 規格	<ul style="list-style-type: none"> IEEE® 802.11 b/g/n 2.4 GHz–256 QAM のサポート IEEE® 802.11 a/n/ac 5.0 GHz
ワイヤレスネットワークごとの最大 PC 数	ノードごとに生成されるワイヤレスネットワークトラフィック量によって制限（通常は 50～70 ノード）。
動作周波数範囲	AC2350† ワイヤレス <ul style="list-style-type: none"> 600 Mbps @2.4GHz–256 QAM 1733 Mbps @5 GHz 11ac
802.11 セキュリティ	WPA2-PSK および WPA/WPA2

*. IEEE 標準 802.11 規格に基づく最大ワイヤレス信号速度です。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。

†. NETGEAR は、本製品と将来標準化されるいかなる規格との互換性も保証しません。11n で 256QAM 対応の製品と接続した場合に最大 600 Mbps の転送速度を実現します。最大 1733 Mbps のワイヤレス速度を実現するには、無線 LAN 子機が 802.11ac 1733 Mbps に対応している必要があります。